

密生せる山岳あり、風景の佳なる諸湖に冠たりといふ。其水流出して、ミンシオ河となり
ポー河に注げり。湖は琵琶湖より稍小なり。

トランスメナス湖 一にペルギーア湖と稱す。チペル河水源の附近にありて、長さ十哩、
深さ凡そ七米あり。中に三小島あり。而して焔火山の舊噴火口に當れるを以て、其形状楕
圓形をなせり。湖岸は、檜、松、橄欖等の繁茂せる丘陵にて圍まれ、風景絶佳なり。此湖
畔は西紀前二百十七年、カルターゴの勇將ハンニバルが、ローマ人に打ち勝ちたりし地な
るを以て史上に有名なり。

Trasimeno.
Perugis

コモ湖 アルプ山脈中にあり。長さ三十哩、幅廣き所二哩半、面積六十方哩あり。風景の佳なることマジョレ
湖に譲らずといふ。其の水アッダ河となり、遂にポー河に入る。
ボルセナ湖 トランスメナス湖の南方約四十哩にあり。湖水は舊噴火口の凹所に湛えたるものにして、内に二
小島あり。水清く魚族も多く、風景亦悪しきにあらずれども、風土稍々健康に適せざるものと云ふ。其水流出し
てマルタ河となり。地中海に注ぐ。

コモ湖

ボルセナ湖

Bolse Como

沿岸 此國の海岸線は其大陸部及び半島部のみにて、既に陸面の境界線の殆ど二倍半
の長さを有せり、而して、之に加ふるに島嶼部の沿岸線を以てする時は、合計凡そ四千哩
に對する海岸線を有し、平均面積二十七方哩につき海岸線一哩の比に當れり。而して西北

リグリア海の沿岸は、アルプ山脈の餘勢を受け、斷崖絶壁多く、中にジェノバ・スベチア及
び其他の良港あれども、東南してチレニア海岸に至れば、南部のガエタ・ナポリ及びサレル
ノ灣等を除きては、概ね單調なるものに屬せり。

又、東北アドリヤ海岸にありては、僅にヴェネチア附近に多少の出入ある外、一般に極
めて單調にして、ヴェネチア・チオッギア・アンコナ・プリンヂシ等の小港の外、良泊なし。但
し半島の東南端には、廣きタラント灣の凹入せるあり。又島嶼部には比較的多くの出入あ
り。

半島 イタリア半島の先端には更にカラブリア半島と、アプリア半島とあり。カラブリア半島は西南に突出し
て、長靴の如きイタリア半島の先端をなせり。此の地方は火山地帯に當れるを以て、古來地震・海嘯・噴火等の慘害を
來せしこと多く、最近千九百七年の如きも、殊に慘狀を極めしものありといふ。又アプリア半島は東南に伸び、兩者
の間にタラント灣を擁せり。

岬角 岬角中名あるものには、南端の左右に相對するスバルチベント及びサン・マリアの兩岬ありて、前者は半
島の最南端をなし、後者は東南端をなせり。

此他シチリア島の東南端にはパッセロ岬あり。西南端にはファロー岬、西北にはグイトー岬あり。又、サルチニア
島には南端にスパーチベント岬あり。北端にテスタ岬あり。西北にファルコーン岬、東南にカルボナラ岬あり。

海峡 東方にはアドリア海の門戸たるオトランド海峡ありて、長さ百四十哩に及び、更にイタリア半島とシチリ
ヤ半島とを隔てる。

イタリア沿岸

- Testa Farcone Carbonara Otranto
- Passero Faro vito
- Spartivento S. Maria
- Galapin Apulia
- Ancona Brindisi
- Venice Chioggia
- Genoa Specia

半島 岬角 海峡

ア島との間にはメシナ海峡あり。又、コルシカ島とサルチニア島との間には、ボニアアチオ海峡ありて、潮流頗る急なり。

メツシナ海
海峡(世界三
海峽)

メツシナ海峡(世界三海峽)

此の海峡は我鳴戸海峡及び朝鮮西南岸たる碧波亭水道と共に、世界における三奇海峽の一にして、潮流急なるが上に、一種の渦流をなし、且シルラの岩礁等ありて、古來通航最も困難として、舟乗り業者の恐怖せし所なり。幅二哩乃至十一哩、最狭の所は僅に六千〇四十七ヤードに過ぎずと云ふ。而して其の長きは凡二十哩に達し、水深約百俵を有せり。

内海及港灣

アドリア海は半島の東方オーストリアとの間に於ける一大内海にして、其北部はベネチア海をなし、南部にはマンフレドニアの小灣を形成せり。



圖地近附アチネベ

タラント灣はイオニア海に於ける一大良港にして、アブリア半島とカラブリア半島との間に四入し、灣頭に位せるタラント市の如きは、實に此國に於ける最良なる貿易港たり。而して其西なるカラブリア半島には南よりスクイレス灣、北よりニューフェミア灣相迫り、互に相反對せる方向に開き、前者は東に、後者は西に面せり。

チレニア海にはサレルノ灣・ナポリ灣・ガエタ灣等ありて、更に北に進めば地中海の北端にリグリア海あり。茲にシエノバの良港を擁けり。又

サルチニア島には、南にカグリアリ灣、北にアシナラ灣あり。
(島嶼) 此國の所領に屬する島嶼頗る多く、其最も大なるものをシチリア・サルチニアの二島とし、其他數小島あり。即ちランペツサ島・リノサ島・バンテラリア島等はシチリア島

- Ligurian
- Ganona
- Cagliari
- Asinara
- Salerno
- Naples
- Gaeta
- Taranto
- Adriatic
- Ionian
- Manfredonia
- Scylla
- Messina
- Bonifacio

の西南方に位置し、リバリ諸島は同島の東北方に位せり。而してカプリ島・イスキア島共にナポリ灣の灣口を扼して其兩側に位し、ボンチニ島・エルバ島・カブラマ島・ゴルゴナ島等は共に半島の西海岸に添ふて散在せり。

シチリア島 イタリアの西南、地中海に於ける最大島にして、メシナ海峡によりて本國と相隔て、面積凡一萬方哩、我四國の大約一倍半に似たり。人口凡を三百六十七萬あり。

本島は其形略三角狀をなし、島内山岳多く、特に其の北部には、アベニン山脈の連脈來り聳え、花崗岩・石英岩・石灰岩等より成れる地塊多く、東南には有名なるエトナの火山あり。

(山脈の記事、エトナ山の條參照) 而して本島の沿岸は其東方及び北方に於て、多少の凹凸を有し、東方にはカタニア灣及びカタニア港あり。又、南方アフリカに對するものは極めて單調にして、自然の良港と稱すべきものなし。島内鐵道よく通じ交通頗る便なり。

島内氣候溫和快適にして、高山の頂の外は雪を見ることなし。唯夏季はアフリカより來るシロココと稱する熱風あり。地味肥え、多量の果物・小麥及び大麥等を産し、又各種の礦物に富めり。硫黃・大理石等は殊に知られたり。又、此島は往古兩シチリア王國のありし所とす。

- Sicily (Sicilia)
- Caprja

サルデニア島 地中海中第二の大島にして、コルシカ島と僅に七哩を隔て、南方にあり。東西七十五哩、南北百七十哩、面積凡そ九千五百方哩、我四國より稍大なり。人口凡そ七十萬餘あり。

Sardinia

地勢一般に山岳性を帯び、平原及び豁谷は多數の小流によりて灌漑せられ、沿岸には南にカグリアリ灣ありて、其奥にカグリアリ港あり。鐵道此地より起りて北に貫き、又數條の支線を出せり。土地亦頗る肥沃にして、産物多く、又食鹽の産出及び漁業の利少からずといふ。

本島は往昔ローマとカルターゴとの戦争の際、屢々戦陣の巷となりしことあり。又、近世サルデニア王國のありたる所にして、勢頗る強大なるものありしが、千八百五十九年以來、此國の一州となれり。

エルバ島 コルシカ島とイタリア本陸との間に横はり、地中海に於ける岩石嶮々たる一小島たり。面積凡そ百六十方哩、人口凡そ二萬五千あり。

Elba

地味肥沃ならざれども、産物としては、果實葡萄酒魚類鐵礦大理石等なり。

本島は嘗てナポレオン一世が流竄せられたる所にして、千八百十四年五月三日より翌年

二月二十六日まで彼の居住せし地として有名なり。

リバリ諸島

リバリ諸島 シチリア島の北岸に近き火山列島にして、ブルカノ・リバリ・ストロンボリ・アステカ等の諸島よりなれり。何れも火山岩より成り現今二個の活火山あり。ストロンボリ及びブルカノ是れなり。而してストロンボリは略々四形の島にして、其高さ七百餘米に達し、頂上の噴火口より約五分間毎に噴火する圓錐形の活火山なりといふ。島の周圍十二哩餘、住民凡そ一千餘人あり。ブルカノはリバリ諸島中最南方に位置し、シチリア島を距る約十二哩。長さ七哩幅三哩。島の殆んど中央部に當りて、周圍半哩、深半哩許の噴火口あり。常に水蒸氣、硫化水素、炭酸瓦斯及びアムモニア瓦斯等を噴出せり。此の島の北岸に又ブルカネリロと稱する小火山島あり。一ヶの寄生火山にして其の頂上亦噴火口を有し、時々各種の瓦斯を噴出せり。

Ustica Lipari
Vulcano Stromboli

イスキア島

カプリ島

カブレラ島
とガリバル
チー

イスキア島 ナポリ灣を距る六哩の海中にあり。面積二十六方哩の小火山島にして氣候風景共によろしく、産物には果物・葡萄等あり。人口二萬餘。島の中央にサン・ニコロ山と稱する海拔二千六百呎の火山あり。強烈なる地震屢々起り、千八百十一年には二百の死者を出し、千八百八十三年には四千の死者を出したることありといふ。島の西北岸なるイスキア市を大市場とす。又、カサマツシア温泉は、夏季浴客群集せり。

Capri Casamarecchia Ischia

カプリ島 ナポリ灣口にあり。ナポリ市を距ること二十哩。ローマ帝チベリアスが其晩年の十星箱を送りし地として、又アウグスツス帝の愛好せる退隱地として有名なり。島の長さ僅に四哩半。海岸に鐘乳洞ありて、奇形を呈し、島内の風光頗る美なり。

カブレラ島とガリバルチー カブレラ島はエルバ島の北西にある一小島にして、現イタリア王國統一の殊勳者たるガリバルチー將軍の退隱せし所にて、千八百八十二年六月二日八十六歳を以て彼は此地に冥せり。

Capri

氣候

富源

此國は地勢南北に延長せる狭長の國なるを以て、各種の氣候を有せり。

イタリア氣候、富源

即ち北方大陸部は大陸性にして、寒暑共に甚しく、殊に冬期はアルプ山より吹き下す寒風極めて酷烈なり、半島部は乾燥温暖にして激變少く、頗る健康に適せり。世人がイタリアの氣候を愛するは、實に此にあり。又、島嶼部は殆んど半熱帯の氣候を有し、四時温暖にして、海風よく暑熱を和く。

氣候と地方病

氣候と地方病 此國の氣候の温暖なるは、他の諸國に比し有利なる點なりと雖も、又其の温暖なるによりて、半島の沿岸低地の大部分及び島嶼部にはマラリア熱流行する缺點あり。之れ低卑なる沼澤より發生せる蚊の一種なるアノフェーレスによりて傳染するものにして、年々夏季に至りて流行す。而して其最も猖獗なるは、ベネチアの澤湖附近アフリア、カラブリア、シチリア島の低地にして、全然此病の流行せざるは、六十九州の内、僅に六州あるのみ。シチリア島に於ては、鐵道員の三分の二は、平均一年に十一日間此病に罹るといふ。故に政府は河床の修築排水法の整備等を力め、又濠洲よりユーカリ樹を移植する等、百方此病源を除くの策を講じつゝあり。

イタリアに於ける特殊の風

イタリアに於ける特殊の風 此國にはミストニール及びボラと稱する一種の冷風あり。前者はイスパニアの沿岸より吹き來り、ジェノバ灣に至るまで、地中海を吹くものにして、氣温を氷點以下に下降せしむることあり。後者はバルカン半島の西北部よりアドリア海面を吹き渡るものにして、共に極めて乾燥せる寒冷の風とす。又、別に一種シロツコと稱する風あり。アフリカより吹き來れる熱風にして、塵埃を起し、日光を掩ひ、地盤龜裂し、木葉凋落し、若し撒播又は葡萄等の果樹の開花する季節に於て此の風の襲來を蒙る時は、其年の收穫は殆んど皆無となることありといふ。而してイタリアは此等の障害の爲め、幾多の不利を蒙ることあるは、惜むべき缺點と云ふべし。

Maralin

産物と生業

富源として擧ぐべき産物中、植物性に屬するものには、小麦・玉蜀黍等の穀物を主とし、葡萄・橄欖・無花果・柑橘類及び其他の果物最も多く、殊に桑樹・煙草等は至る所に生育せり。礦物性産物は、シチリア島の硫黄、エルバ島の鐵を重要のものとし、大理石及び他の建築用石材は、半島部の至る處に多く、殊に大理石はアペニン山脈中に採掘せらるゝもの名あり。此他金・銀等をも産すれども、獨り石炭の缺乏は、此國の一大不幸にして、産業の不振も亦之が原因たり。

動物中、野獸類はスイスと同じけれども、此國にては牛羊・山羊・家畜は主として北部地方に飼養せらるゝもの多し。又、國人は一般に古來魚肉を嗜むがゆゑに、漁業頗る發達せり。而してサルデニアの沿海には、珊瑚・牡蠣・鱈・金槍魚等を産す。

産物と生業 天産物が其地方住民の生業に大なる關係を有することは、實に明かなる事例なるが、此國の大理石の産出と大理石業との間にも亦一つの面白き關係あるを見る可し。即ち此國の大理石の年々の採掘は平均三十萬噸以上上り、各處の産地中ジェノバ灣の東岸なるカラ、附近の大理石の如きは、最も有名なるものにて、従つて此地方には大理石業者最も多く、且其の彫刻、建築等に巧みなる者多數にて、中には、外國人の依託を受けて、加工に従事するものあり。又、外國より應々大理石を此地方に輸送して、加工をなし更に其加工品を外國に輸出する等のことあり。概して各國大理石の大建築は、此國の富業附負者によりて建設せらるゝの傾向あり。南米アルヘンチナの首府リ

イタリア氣候、富源

オデジャネーロのリオデジャネーロ大劇場及び、エル、コンメルシオ新聞社、北米メキシコ市のメキシコ劇場等は、何れも當國カラ、の大理石業者の手に建築せられたる著名のものにて、又、暹羅の首府バンコック市のバゴダ及び露都ペテルブルグ市のエグリニス、ドラ、レザンクシオン（復活寺）等は、當國シエノバの大理石業者の手に成りし建築中著名のものとす。東京上野公園なる帝室博物館表慶館の大理石材亦此國の産なり。

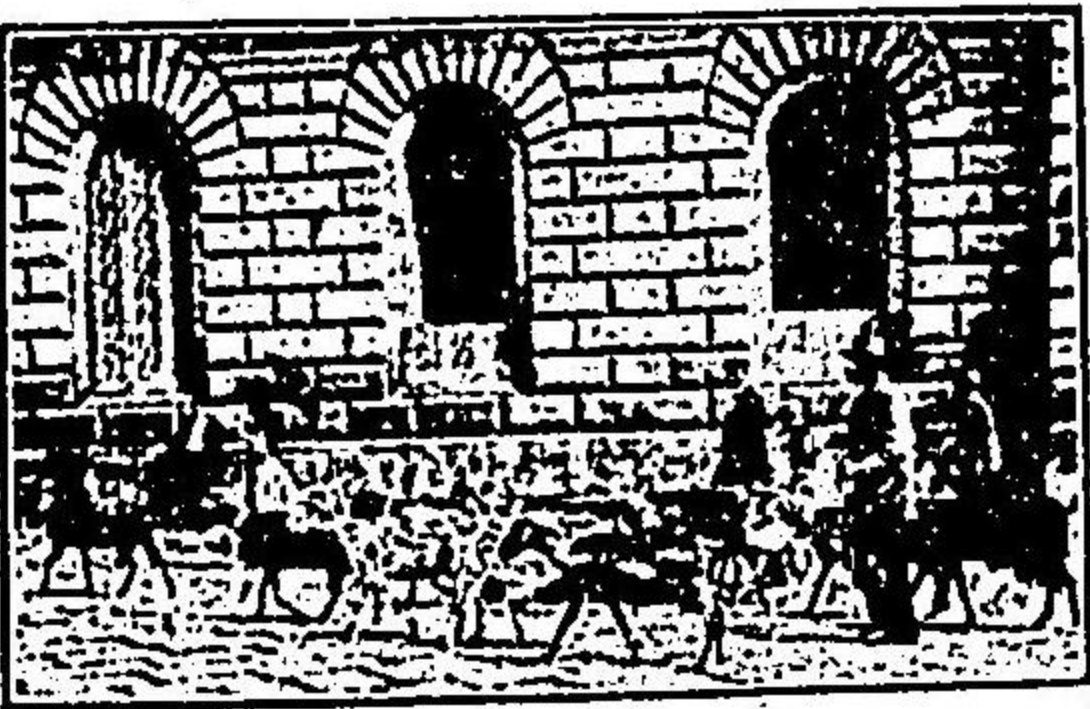
産業

此國は商工業國といはんよりは寧ろ農業國と稱すべきものにして、全國面積中、不生産地一割二分を除きて、三割七分は耕作地、六分は葡萄園、二割五分は牧場にして其

餘の二割は森林なり。而して國民中其二分の一は、農業・牧畜及び森林業等に從事せるものにして、小麥・玉蜀黍及び其他の穀類を始めとし、葡萄・橄欖・煙草並に柑橘類其他の果實等盛に栽培せられ、同時に葡萄酒・橄欖油・煙草等の製造、頗る盛なり。就中橄欖油の如きは其の品質は佛國産に及ばざれども、産額に於ては世界第一の稱あり。

牧畜には牛・羊・山羊・豚等を主とし、牛酪・乾酪・羊毛等を製出せ

り。又、養蠶業は農家の副業に過ぎざれども、北部ポー河流域の地方殊に盛にして、製絲業も亦發達し、世界各國中、僅に日本支那等に一步を譲るのみなり。



羊山の市内スルブーネ

製造工業中最も名あるものは、絹織物業にして、國産の生絲のみならず、盛んに外國生絲を輸入して、其製造をなせり。又、天鵝絨・綿布・毛織物・麻布等之に次ぎ、ロンバルデー平原地方殊に盛なり、而して、綿布製造は近來殊に盛大に向ひ、頻りに南米に輸出せり。織物業に次て盛なるは、綿絲紡績業及び、葡萄酒・橄欖油の製造とす。葡萄酒は北部及び中部地方に醸造せられ、佛國に次て世界第二位の産出あり。橄欖油の産出高は世界の首位とす。

此地の製造工業

織物業・製絲業・紡績業・醸造業等につぎて盛なるは、麥・穀類・皮革・眼鏡細工・寶石細工・珊瑚細工・家具類・自動車・化學的製品・硝子・帽子・衣類・紙等にして、他國に輸出せらるゝもの亦少からず。

伊國工業勃興の源因

此國工業の從來不振なりしは、資本の缺乏、石炭の缺乏、工業的智識の缺乏等のためなりしが、近來國民の發展と財政の整理等によりて、資本も漸く増加し、外國資本家も亦安んじて投資するの傾向を生じたと、工業教育の進歩と共に、工業的智識發達して、優秀なる技術家を出すに至りたと、又一方に於ては石炭の缺乏を補ふに足るべき、水力電氣業の勃興したる等によりて、大に工業界の面目を改め、各種の工業漸く隆盛に向ひ、將に一新面目を開かんとするに至れり。

鑛業

鑛業は比較的盛大ならざれども、大理石はアペニン山の各地より産出し、其名世界に噴々たり。又、硫黄はヨーロッパに於て唯一の産出地として名高く、其採掘量も亦頗る多し。而して之が主産地はシチリア島とす。石炭の埋藏は極めて少く、近年漸く輸入増加の傾向あるに至れり。エルバ島の鐵。アルプ山中の黄金、サルヂニア島の銀

イタリア産業

等亦名あり。

漁業は重要な生業の一にして、沿海の漁夫概ね之に従事し、特にアドリア海に於ける漁獲頗る多し。收獲の魚類は主として内地に消費せらるれども、鯷魚等は輸出せらるること少からず。此他珊瑚・海綿等の採取も亦頗る多く、珊瑚は此國の一名産とす。大小の漁船二萬六七千隻、漁夫約十一萬を算す。

文化 此國は近年までは、教育不進にして、人民の多數は無學なりと評せられしが、今や政府は強制就學制度を採用し、公立學校の設置頗る多きに至れり。然れども不學の徒今尙少からず。學校の種類は初等教育を授くるもの、中等普通教育を授くるもの、中等の専門教育を授くるもの、高等の教育を授くるものとあり。

全國に於ける公私立小學校數は凡そ六萬二千校にして、其他高等女學校・師範學校・中學校・技藝學校・商船學校等凡そ千二百校あり。又、大學は官立十七校、私立四校ありて、學生凡そ二萬四五千人に達せり。

美術と文學 イタリア人は其の氣候風土等の影響を蒙りて、古來文學及び美術に嗜好を有し、上流社會にありては、殊に其高等教育を欲せり。其の最も進歩せしは、即ち中古時代にして、彼のラファエルのミケランジェロ・ダント・ボツカチオ等の大家を出したるも、皆其頭であり。現今尙多數の精巧なる古代美術品を有し。世界の技術家の模範とすべきものに富み、従て一般に美術・文學は大に尊重せられ、音樂・繪畫・彫刻・建築等に關する各種専門學校も悉く完備して、猶古代の盛名を保持し、世界各國の技術家をして、此國崇拜の念を起すを得ざらしむ。されば年

々當國に來遊する外國人の消費金は莫大なる金額に達し、此國の移住民の回送し來れる収益金と相俟ちて本國金融上に至大なる關係を有せり。

宗教は羅馬加特力教を以て此國の國教となしたりといへども、今は有名無實となりて、孰れの宗教を信ずるも可なり。蓋し此國は王政の創建以來、殊に法王の權勢に抑壓せられし以來、立法部の法令は、凡て羅馬加特力教及び僧侶の威權を全く王國政府の下に服従せしめ、諸宗教信徒の信仰を容認し、其の自由を與へたり。然れども此の國は元來羅馬加特力教（舊教）の淵源地たるのみならず、其の教長たる羅馬法王は、常に羅馬に在りて、國民信仰界の儀表たるの有様なるを以て、他教の信徒は其の數極めて少數にして、新教徒六萬、猶太教四萬に過ぎずといふ。

羅馬法王と教會 王國基本法の第一章には羅馬加特力教を以て王國唯一の宗教とすと規定し、又千八百七十年即明治三年の勅令には、ローマ法王を以て羅馬加特力教の最上主となし、全國土の支配權を廢止し、單に宗教上の監督權を保有せしむることとし、大教長管區五十、教長管區二百十六、其他ローマ附近のカルデナル、ビショップ區六を管轄せしめ、内七十四區を法王の直轄となせり。

民情 氣候の溫和、山水の明媚なるは、此國々民の思想上に巨大なる感化を惹起し、古來美術思想に富み、其弊や延いて奢侈輕薄に流れ、富力は他諸國と比するなく、國民に貧者多く、又竊盜犯及び乞食等頗る多し。されど一般に懇切丁寧を旨とし、愛嬌に富み、禮容に熱せるは、其美點とする所たり。世人此の國民を以て、結合力に富み、愛

國心強く、自衛對外の氣力も充分なるが如く思惟するもの多しと雖も、未だ決して安心すべき域に達せるものにあらず。之れ蓋し古來此國の各都邑等互に獨立して、各々其の勢力を争ひ、眼中都邑ありて、邦國なきの有様なりし餘弊の致す所なるべきなり。

又、此國の商店にては、旅客は勿論、平常の得意客に對しても、尙一割若しくは、五割位までの掛直をなすを通例とせるの惡習あり。又、甚しきは鐵道吏員にして往々旅客の行李を開きて物品を劫取する等の事あり。要するに伊國人中には性質卑劣なるもの多く、中等以上の人にも、人無きの地に旅客に逢へば手を出して、錢を乞ひ括として耻ぢざるが如き風あり。

南人北人及び出稼人 伊國南部の人民は性頗る懦弱にして、只一日の安を偷むが如き風あるも、北部の人民は頗る活潑にして、有爲の元氣あることは、市街を巡遊して、推知し得らるゝ所なりと云ふ。さればローマ・ナポリ等を見たる眼にて、ジェノバ、ミラノ等に至れば、恰かも他國の人民に逢ひたるが如き感ありて、北人は南人よりも活氣に富めるを覺ゆと云ふ。又、此の國の出稼人の多數なるは、既に住民の條下にも述べたる如くなるが、其の収益の年々本國に輸送せらるゝ金額は、平均二億圓に上り。當國の財政經濟上に至大の關係を及ぼせり。

政局 **國防** 立憲君主制にして、現今の憲法は、千八百四十八年にサルデニアに於て制定せる民主的憲法を、千八百六十一年以來全イタリアに採用せるものとす。而して行政の全權は國王に屬し、責任内閣員十一名をして之を施行せしむ。而して全國を六十九州の行政区とせり。又、立法權は國王と國會とに歸し、國會は兩院に分れ、上院を元老院といひ、下院を代議院と稱す。

國會

國會 元老院は成年以上の王族及び四十歳以上の勅選議員より成り、定員なし。代議院は一般人民の選出にて、全國を分ちて五百八の選挙區とし、一區一人づゝの割合なり。而して議員の年齢は三十歳以上にして、一定の資格を有するものに限れり。

國防に關し、國境アルプス山脈中の主要なる通路には、保砦を配置して防禦に備へ、ポールの流域にも亦要所に保砦を設けて之を守備せり。又、海岸及び島嶼にも數多の保砦を設け、殊にローマは増壁並に諸砲臺を以て守備せり。

陸軍は千八百九十七年の法律により、常備軍後備軍及び國民軍を編成し、凡そ兵役に堪ゆべき壯丁は一般に滿二十歳より三十九歳までは、就役の義務あるものとせり。而して毎年の徴兵は之を三種に區別し、常備豫備國民等の服役年限に於て多少の差異あり。全國を分ちて十二師團とし、常備軍の將校一萬三千六百餘人あり。而して最近調査によれば、常備軍凡そ二十六萬五千人、歸休兵凡そ五十萬人、豫備兵凡そ三十萬人、國民軍凡そ二百二十三萬人なりといふ。

海軍は將校凡そ千八百人、下士官水兵砲手機關手等二萬六千餘人なり。

艦種 此國海軍の既成、造船中又は計劃中のもの次の如し。

イタリヤ 政局、國防

艦種

艦種	既成	進水せしもの	造船或は計画中	艦種	既成	進水せしもの	造船或は計画中
新式戦闘艦	六	二	三	驅逐艦	三	四	二
舊式戦闘艦	六	一	一	新式水雷艇	七	一	二
装甲巡洋艦	六	四	一	潛航艇	六	七	二
防禦巡洋艦	一	一	一	舊式艦	六	七	二
水雷砲艦	一	一	一		六	七	二

保岩

此國首要の保岩にして、陸境にあるものは、カセル・ピアセンツァ・ペローナ・マンチア・ベネチア・アレツ・サンドリア等とし、海岸及び島嶼にあるものは、マド・ゼノバ・スベジヤ・モンテ・アーゼンタロー・ガエタ・メシナ海峽・タラント等とす。

海軍區

分ちて三海軍管區とし、第一スベジヤ、第二ナポリ、第三ベネチアをそれ／＼の軍港とせり。而して千八百九十三年の勅令により、イタリア海軍の船艦を三軍港及びタラント間に平等に分配し、水雷艇碇泊所を海岸の諸處に設けられ、之が本部をスベジヤ・マダレナ・ガエタ・メシナ・ゼノバ・アンコナ及びベネチア等に設けたり。

最近伊土事件

伊太利國勢の近時漸く發達するや、ツリポリ及びキレナイカ等の伊國人の土國人に壓迫せらるゝに乘じ、此等の土耳其領を奪はんと欲し、遂に地中海における政治上の均勢を保たんと爲め、並びに、此等の地方を變夷の状態より救ひ出して伊國政治の下に文明に導かんが爲めには、土耳其の惡政の下に置くべからずと提稱し、明治四十四年九月廿九日を以て兩國々交の斷絶を宣言し、直に交戦状態に入れり。爾來あまり花々しき活動なまず、時々ツリポリを攻撃したる位にて。全年十一月五日勅令を發布して、ツリポリ及びキレナイカを伊國主權の下に置く旨を宣し。依然攻勢を繼續し、遂に今四十五年二月二十二日を以て、國會に於て右勅令を法律と爲すの議決をな

すに至れり。外交家等多くは伊國を以て暴となせるものゝ如し。

交通

商業

内國の交通貿易のために布設せられたる鐵路は延長一萬哩以上にしてロンバルデア平原には殊によく普及し、トリノ・ミラノ・ペローナ等は鐵道網の中心をなせり。軌道の幅員四呎八吋半に當れり。又、外國との交通貿易に關しては、此國が三面海洋に臨み、且つ比較的良好なる港灣に富めるを以て、海運上實に好位置にありと稱すべく、商船の數多大なるべき筈なれども、現今五千六百餘隻、百五萬噸にすぎざるは惜むべし。而して此他アルプス山脈を貫通せるモンヌ、ニサン、ゴタルド及びシンブロン等の大隧道によりて、ヨーロッパの諸大國と交通貿易を完ふすることを得。又、スエズ運河の開鑿によりて、大に其利便を増し、アブリア半島頸部の東岸なるプリンデシは、僅に一小港市に過ぎずと雖も、而も南西歐羅巴より、南亞細亞及び濠洲方面に向ふ郵便物の水陸聯絡地にして、又伯林・巴里・維納等に至る直通列車の發着地たり。

外國貿易中、輸出品の重なるものは、硫黃・皮革・大理石・生絲・絹織物・木綿・麥稈・眞田・葡萄酒・酪・橄欖油等にして、其總額凡そ五億六千萬圓以上に達せり。又、輸入品の重なるものは、棉花・石炭・生絲・穀類・木材・金屬機械等にして、其額凡そ六億萬圓に達せり。而して

之が取引先は、主としてフランス・スイス・ドイツ・イギリス・オーストリア・北米合衆國等なりとす。

我國との貿易

我國より此國へ輸出するものは一ヶ年凡そ三百萬圓にして、生絲を重なるものとし、此國より我國へ輸入するものは、葡萄酒・帽子・コンデンスミルク・イタリアネル其他にして凡そ三四十萬圓あるのみ。

都會

此國には比較的都會多く、十萬以上の人口を有するもの十二、七萬以上の人口を有するもの五、二萬五千以上のもの約九十を數ふ。而もあまり大なる都會に乏しく、國中第一の大都たるナポリ府も人口六十萬を越えず。されど全住民の約四分の一は、都會生活を爲すものなりとす。

（ローマ）（羅馬） 此國の首府にしてチベル河に跨り、數個の丘陵の間に立てり。西紀前七百五十二年ロムラスの創建に係れり。此府始めは一小地方なる古代イタリア王國の首府たりしが、紀元前五百年より三十年までは強大なる共和國の首府となり、後數百年間は廣大なるローマ帝國の首都たり。更に中世紀には、耶蘇教國の宗教的首府となり、後法王領の首都と變じ、千八百七十一年即ち明治四年以來は即ち、現伊太利王國の首府となりたるものなり。人口約五十萬に近く、我大阪の半に似たり。

Roma

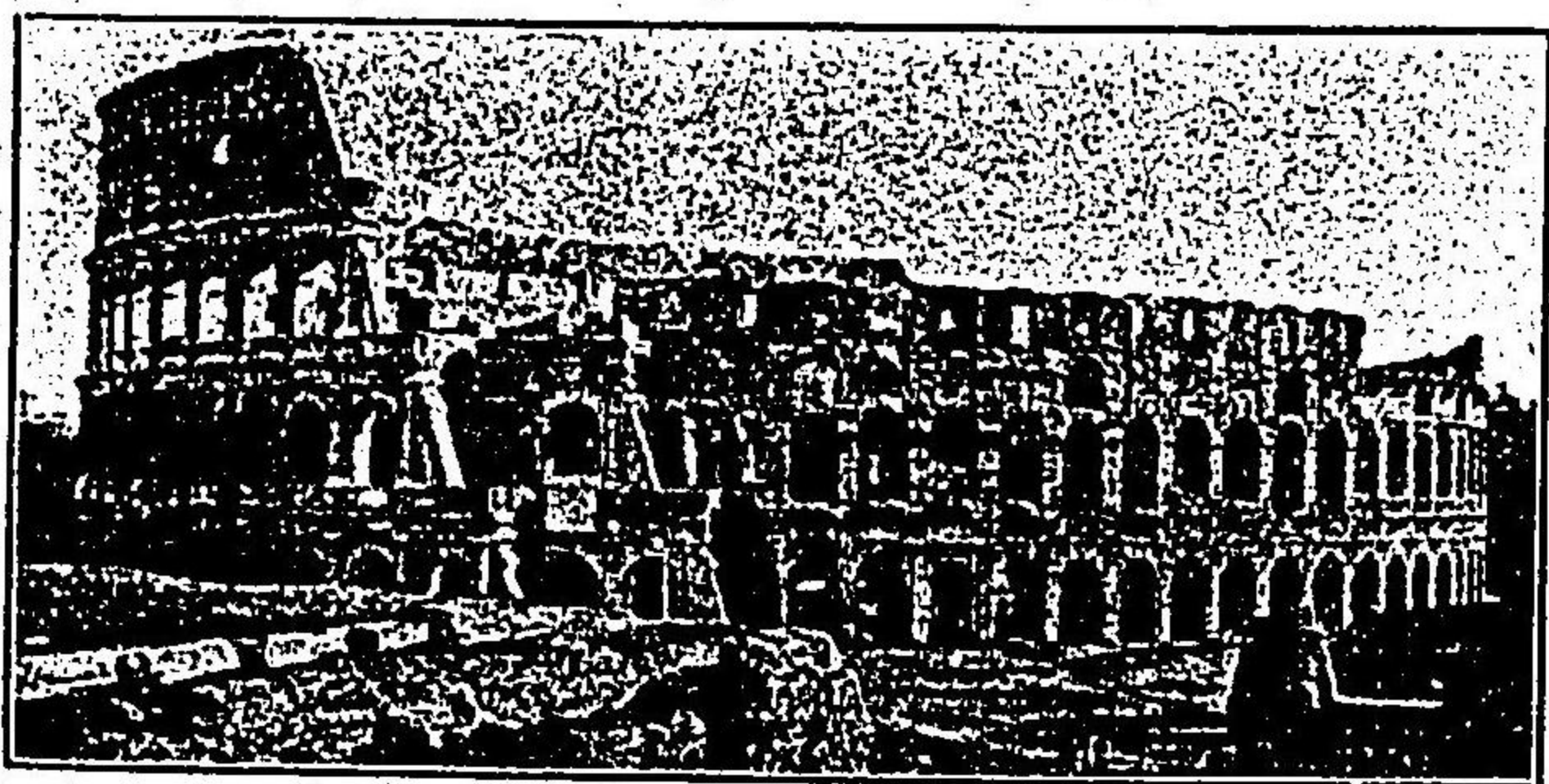
重なる建築物

此府は實に世界中美術上の大都府にして、繪畫彫刻建築等、各種の美術的製作品に富み、博物館及び各時代に於ける美術品蒐集所の多きこと、

數ふるに暇あらず。其寺院禮拜堂の如き、恰も一種の繪畫展覽會を觀るの感ありといふ。之れ蓋し往古に於て、久しく羅馬大帝國の首都たりしのみならず、又長く羅馬加特利教主たるローマ法王の居所たりしに由る。

重なる建築物

古代ローマの舊城壁は周圍十五哩餘ありて、今猶其面影を認むるを得べしと雖も、現在のローマ府は僅に其一部分たるに過ぎずして、大部分は荒廢たる原野と化し、廢棄せる故址遺迹を存有し、轉た昔時の壯觀を想はしむ。就中、コロッセウム・セント・ペテロ寺・パチカノ宮殿・フォラム等を主要なるものとす。コロッセウムは、其の面積方六エーカーに跨り、内に八萬五千人を容るべき楕圓形の大大理石造の大建物にして、ローマ人が決闘及び勇士と野獸の格闘とを觀覽せんが爲めに建てたるものなり。今より千八百三十餘年前の建築にして、全體楕圓形をなし、長經百餘間、短經八十餘間、高約二十七間、内部は凡て四階段をなせり。



羅馬市コロッセウムの廢墟

セント、ペテロ寺院

セント、ペテロ寺院

は世界の最大華麗なる禮拜堂を有し、姿を毀すもの千二百萬磅、敷地一萬五千餘平方米

イタリア都會

あり。西紀三百二十六年コンスタンチヌス帝が、殉教者のために立てたる寺院にして、現時の大伽藍は千六百六年に落成式をあげたるものにして、最初より約千三百年の長年月を費して完成せるものなりと云ふ。世界最大の寺院にして、一時に五萬四千の禮拜者を容るべく、塔上に飾られたる十字架は地上實に四百七十呎の高所にありて、我東京の陵雲閣頂の約二倍餘の高きにあり。

パチカノ宮殿

パチカノ宮殿 は、ローマ法王の住居にして、其室数の多きこと四千四百二十二と稱し、各室凡て貴重なる繪畫、彫刻等の美術品を以て充たされ、且五十萬卷の書冊を蔵する圖書館の設備等々へありて、古代美術の世界的大寶藏とす。第十六世紀以後瑞西よりの雇兵一百名、ローマ貴族より取りたる士官二十名、市民兵五十名を以て護衛せり。伊國政府は、千七百七十一年三月十三日を以て、ローマ法王に特権を與ふるの詔を發し、此の宮殿と、ギオマンニ寺と、サビニー山なる法王の夏の宮殿との三ヶ所を法王に授與し、何等の課税をも賦せざることとなせり。然るに法王は之を侮りて認めず。イタリア王を以て賊となし、此等の宮殿は元來法王の所有物たるものなりと稱し、法王と國王とは絶えず相嫉視せり。又、テオーフムはコロッセウムと略同時代の建築物にして、市場公會場・裁判所等を兼ねたるものなり。

ローマと遊覽客

ローマと遊覽客 ローマ府には太古よりの遺物遺迹甚だ多く、且美術的遺品に富めるを以て、終歲遊覽客の跡を絶たず、眼を是等の由緒深き遺址、壯麗なる宮殿、寺院、凱旋門、方尖柱等に奪はれて、近世の建設にかゝれる大學、新王宮等は殆んど觀光客の顧みる所とならずと云ふ。

キビタヴェキア ローマの北西四十哩にあり。ローマの輸出入港として重要な地なり。

○ローマ懐古の情

歐の山、米の水、今日文化の燦然たるものあるは、何れも其源は希臘・ローマの文明に基いたものだ。支流を経て源

Civita Vecchia

キビタ・ヴェキア

ポエニ戦争

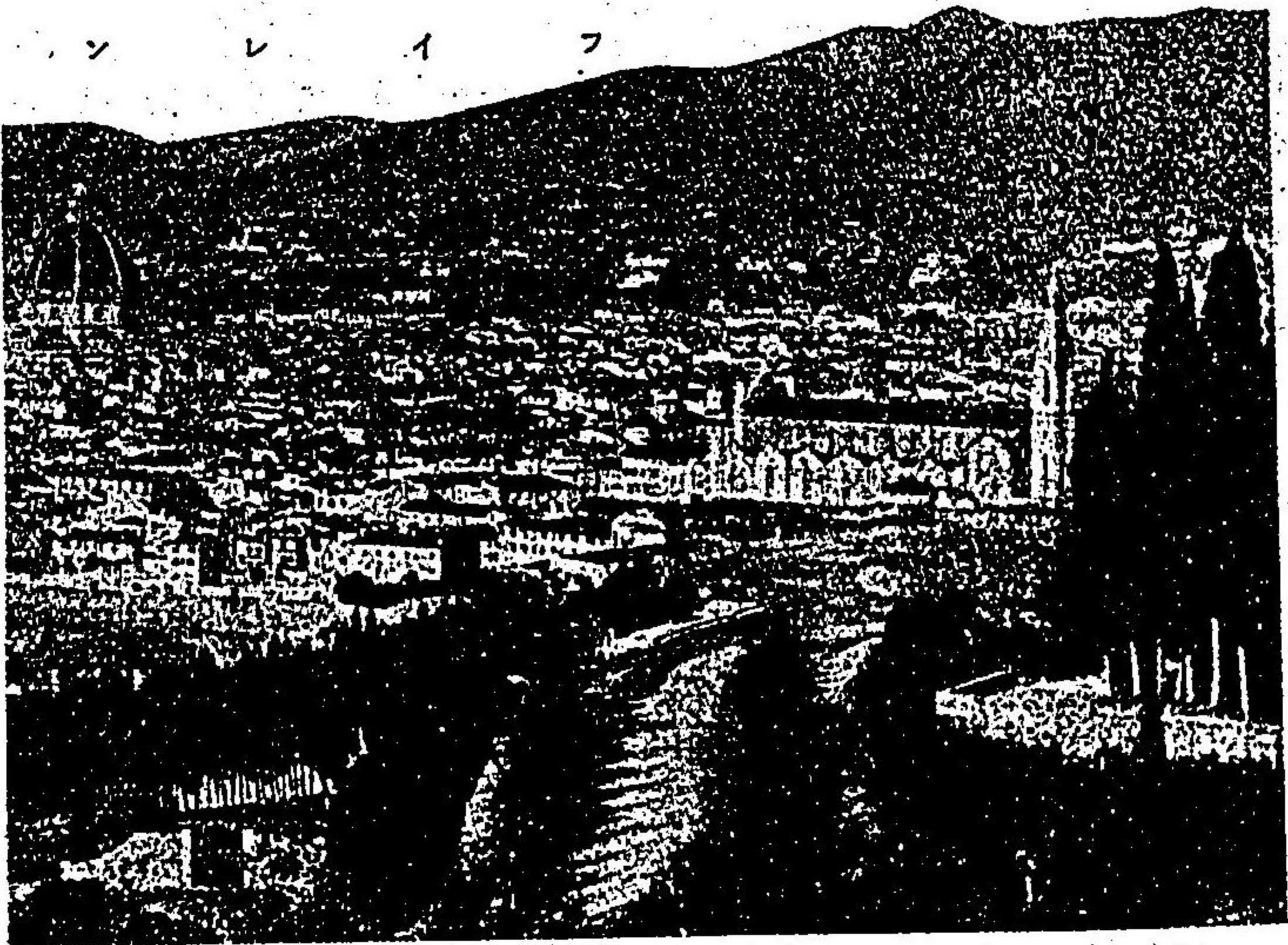
流に溯り、之を味ふは先づ旅行の要を得たものである。抑ミローマ府は紀元前七百四十年に創立せられ、其全盛時代は府の廣表四里四方に亘り、東西南北に城壁を設け、城門十六を造り之を固め、人口四百萬を有して居た。獨り繪畫・彫刻・演劇の類が其美を盡し、其盛を極めた許でなく、水道下水などの事までよく備はり市街の諸處に噴水が設けられて居た。宮殿劇場浴場公會堂の廢址を始め、パチカノ法王宮・セント・ポール大寺院など見るにつけ、昔日の繁盛を想像し、タイバー河の流は盡きざれど、今は昔の面影もなきに、懐古の思に堪へなかつた。(歐米遊記)

ポエニ戦争 一にピエニク戦争ともいふ。ローマとカルタゴとの兩國、互に雄を争ひしものにして、其第一回戦争は西紀前二百六十四年、シチリアに開かれて、ローマの勝利となり、第二回は西紀前二百十八年に開かれ、カルタゴの名將ハンニバル破竹の勢を以て、イタリアに攻め入りしも終に一致を缺きて敗れ、カルタゴはイスパニアを割讓し、償金を出して和を耐ふ。第三回は其後カルタゴ國勢を恢復し、また隆盛なるに及んで、ローマ人之を忌み西紀前百四十九年より衝突ありて、同百四十六年に至れり。其間互に勝敗ありしも、結局カルタゴの全滅に歸せり。(アフリカ洲カルタゴの部参照)

《ライレンツェ》 タスカニー州の首府にして、アルノ河の中流に跨り、周圍には丘陵を以て廻らし、風景頗る佳なり。此府は市街最も整正美麗にして、人口二十餘萬あり。絳寶石及び美術的細工品を製出するを以て名あり。又、美術の淵藪として名畫の多きこと、建築彫刻等の本場として、新舊の絶品多きこと、何れも歐洲第一に位せり。離宮、サン、ロレンツォ寺・ドネーモ寺・美術館・博物館・市會議事院等は共に壯大なる建築物にして、伊太利美術の精巧を示せり。

Florence (Firenze)

イタリア都會



此府は西紀前シルラの軍人等によりて創建せられたる所と稱す。紀元後八百年の頃にカロ、大帝の修築を受け、其の後第十二世紀の終りより、しばらく此の地方の共和國の首府たりき。此地の有名なる大學は千二百五十八年に建設せらる、其後幾度か變遷を経て近世に至り、千八百六十四年より同七十一年（明治四年）まで、現伊太利王國の首府たりしが、ローマに首都を選すに及びて、此の都は其の光榮を奪はれたり。

本府出身の偉人 此府は古來偉人傑士の誕生地若くは住所として最も有名なり。其最も著名なるは詩人ダンテ・彫刻家ミケランジェロ・航海家アメリカゴ、ベスブツチ・天文學者ガリレー及び宗教家サボナローラ・政論家マキアベリイ等とす。

本府出身の偉人

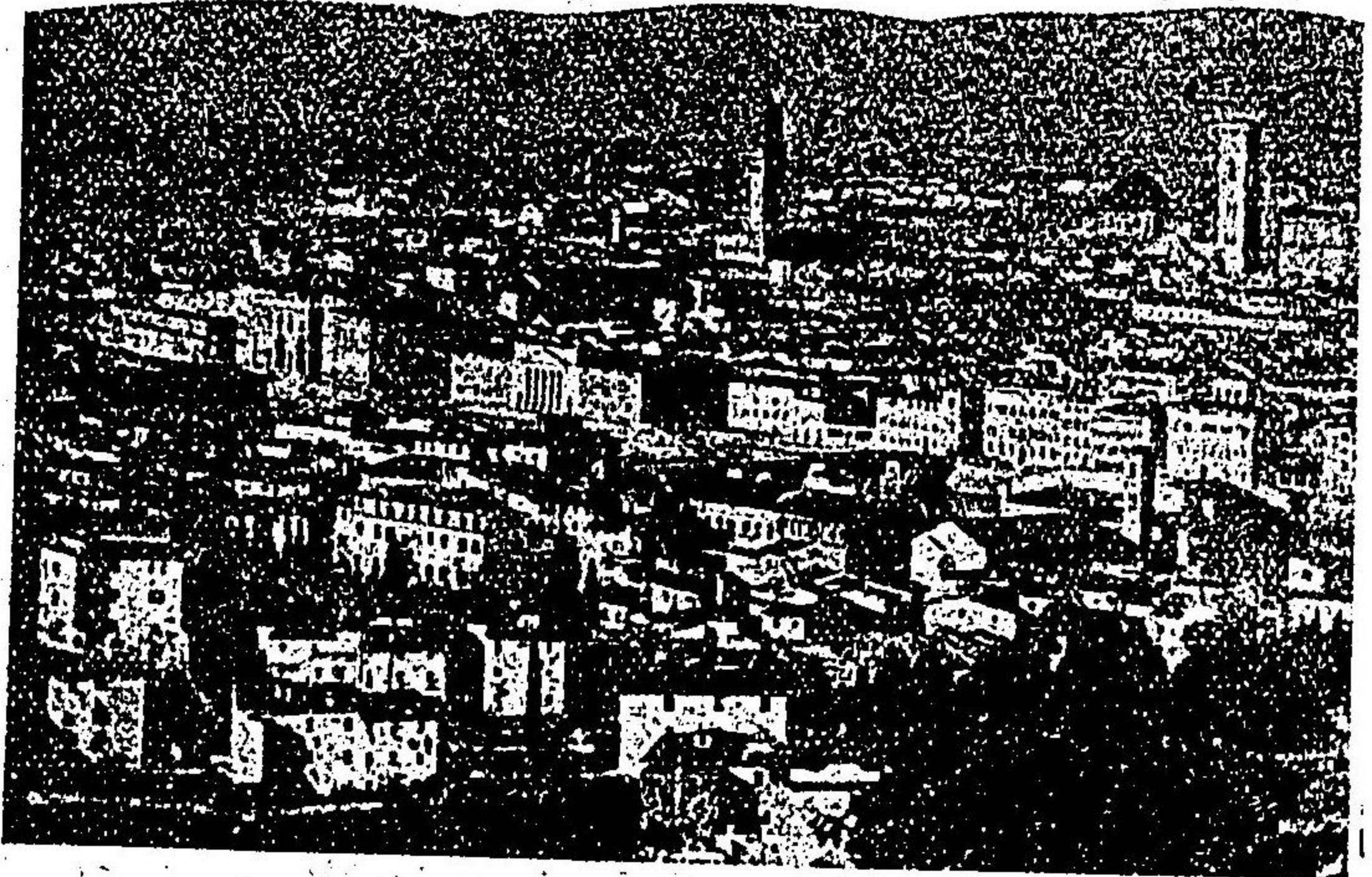
ン レ イ フ

ダンテ

ミケランジェロ

アメリカゴ、ベスブツチ

観 大 街 市 エ ッ



イタリア都會

ダンテ 千二百六十五年、此の地に生れたるイタリアの大詩人なり。三十五歳にしてフィレンツェ共和國政府の立法官の職を占め居たりしが、十歳の時可憐なる一美女を見しに千二百九十年、其女天死して、彼の失望、極まれり。然るに氏は其の戀愛を理想化して詩想頓に發展し、アヴァインコメデイを著し、伊太利文學の開祖と稱せらる、千三百二十一年歿せり。パンテオン寺に其の墓あり。

ミケランジェロ 千四百七十四年、トスカナ州のカプリネに生る。有名なる美術彫刻家にして、又畫をよくし。美術中興の祖と稱せらる。八年間苦心の後、最後の審といふ有名なる繪畫を畫けり。千四百九十七年ローマに行きて、ピエトルの作を出し、翫きてダビデの像を彫み、千五百四十二年セント、ペテロ寺の建設を命ぜられ、其設計によりて漸く成功せりといふ。千五百六十四年歿せり。市内に氏の住居せし家屋あり。今は氏の製作せる美術品の陳列所たり。

アメリカゴ、ベスブツチ フィレンツェ出身の航海者にして、千四百五十一年に生る。始はイスパニア、後

Amerigo Vespuce

Michelangelo

Dante

ガリレ

にはポルトガルの保護を受けて、四度新世界に航したり。彼の航海は千四百九十九年より千五百五年に渉れるが故にコロンブスの発見より後なること明なり。然るに最初の製圖師は誤て彼の名により、新大陸をアメリカと名けたり。

Galilei

マキアベリ

マキアベリ 千四百六十九年を以て此の地に生れ、全五百年有名なる國君論を著し、伊國統一の策を講じ、歐洲の韓非子とも稱すべき偉人にして、列國割據互に呑噬を事とする時に當りては、詐偽も陰謀も暗殺も辭すべきにあらず要は究竟の目的を達するにありて、其の手段の如何等は意とするに足らずと論じ、歐洲における外交術の端緒を開けり。其の墓はダンテ・ミケランゼロ等と共にパンテオン寺にあり。

Genova

（ゼノバ）ゼノバ州の首府にして、ゼノバ灣頭に位し、イタリアに於ける重要なる貿易港兼軍港なり。人口凡そ二十七萬餘あり。イタリアに於ける海外貿易の大門戸にして其の貿易額の約六分の一は、此港に集中し、且つ世界の重なる各港と定期汽船の往復あるを以て殊に繁盛を極む。されば我國も此地に名譽領事を置けり。又、鐵道は此府を中心として北西はフランスに、北はスイス・ドイツ等に通じ、南は半島の南部に通じ、水陸兩路交通の要衝に當り、殊に瑞西・南獨逸に入るの最捷路に立てり。

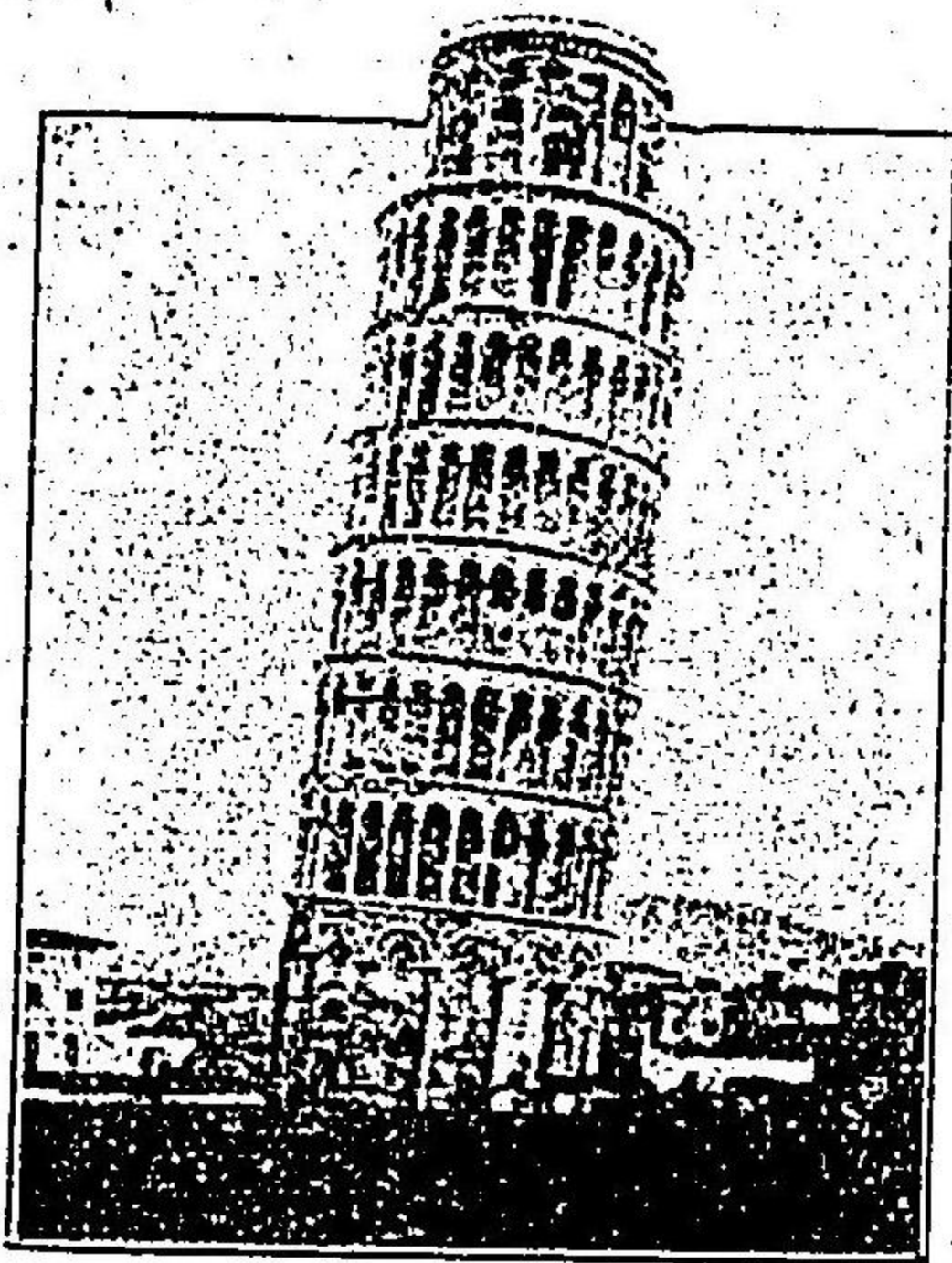
市街は整然として頗る壯麗に、殊に海上よりの眺望最も佳なり。府内に於ける中央禮拜

コロンブス

堂大理石造の宮殿等は天下に比類なきものとして有名なり。又、此地の墓場の壯嚴なるは歐洲第一の稱ありて、何れも大理石にて固め、死者の肖像又は神女の像などを飾れり。此の地造船業頗る盛んなり。航海家コロンブスは此地に生れたる人なり。往古ゼノバ共和國の首府として、地中海上に其勢威を張りし地なり。

コロンブス 千四百三十八年ゼノバに生る。父は航海業に従事せしを以て、幼より海事思想に富み、常に聞へらく、是より西に航せば、必ず印度に達すべしと。遂にイスパニア王フェルデナンド及び其皇后イサベラの贊助を得、印度及び日本に達せんとし、千四百九十二年、大西洋を西航し、キューバ・ハイチ諸島を発見せり。後三回の航海によりジャマイカ・カリビアン島等を発見せり。千五百六年死す。氏が銅像今此地の海岸に立てり。

Columbus
(Colombo, Colon Christopher)



ピザの斜塔

（ピザ）フィレンツェの西方四十九哩、イタリアに於ける舊都會の一なり。市内には古代の壯麗なる建築物軒を並べ、寶物多く藏せらる。其大學は千三百四十三年の建築なり。人口六萬餘にして、絹リボン・珊瑚細工等の裝飾品を出せり。有名なる斜塔（偏倚塔）は高さ百八十八呎に達し、鉛直線より傾けると十六呎なり。千百

Pisa

イタリア都會

五十四年の建立にして、大理石八階造とす。此地に生れたる天文學者ガリレー(傳記前にあり)は、千六百三十五年此塔上に於て、地球引力に基づける加速度の試験を行へり。

斜塔

斜塔 一に偏倚塔とも云ふべく、イタリア人は之をカンパニイルと呼べり。元來寺院の鐘樓として建立せられたるものにて、悉く白大理石を用ひ、圓柱を組み立て建設せり。其の傾斜せる原因につきては、或者は最初より、折る設計に出でたるものなりと唱へ、又、或者は建築後偶然なる出来事によりたりたるものならんと説き、判明ならず。リボルノ ビザの南方海岸、フィレンツェを距る六十哩の西にあり。トスカナ州の要港にして、フィレンツェの外港とも見るべく、街路廣く、且清潔にして運河を通じ、交通の便頗る佳なり。葡萄酒・生糸・石油・大理石・麥科帽子等を輸出し。又盛に珊瑚の裝飾品を製す。人口十萬餘。我名譽領事館あり。

リボルノ

カララ

カララ リボルノの西北三十哩にありてゼノバ・ミラノ等への交通の要衝に當れり。人口四萬餘の小都會なれども、附近の山地に良質の大理石を産出し、其の集散地として名高く、優秀なる大理石彫造家多く、カララ、大理石の名歐洲に高し。

スベジア

スベジア ゼノバの東南に位し、伊國地中海艦隊の根據地たり。人口約六萬五千。
《トリノ》 ゼノバの北西八十哩ポー河の上流左岸に臨む。ロンバルディア平原の西端、アルプス山の麓に位し、鐵道網の一大中心にして、西の方、モン・セニ隧道(長さ約三里)を越ゆればフランスに入る可し。人口凡そ三十七萬餘。絹毛布及び綿布の製造盛なり。又武器及びプエルムツト酒の製出多し。市街整然道路廣潤にして公園・宮殿・城廓・大學及圖書館等

Campanile

Lieghorn (Livorno)

Carrara

Spezia

Turin (Torino)

プエルムツト
史上の事蹟

あり。現伊太利の初皇ビクトル、エマヌエロ、及び其の功臣カブールの誕生地たり。又府内にはカブールの紀念碑あり。又統一當時開かれたる國會の跡も其儘に保存せられ、重なる人々の坐席には、今尙其當時掛けたりし、姓名札を存し、人をして轉た追慕の念に堪えざらしむ。

プエルムツト 一種の白葡萄酒にして、食慾を進むるに適す。葡萄酒に陳皮、肉豆蔻・肉桂等を加へたるものにて、イタリア及びフランスより多く産出す。

Vermonts

史上の事蹟

紀元前二百十八年ハンニバルのローマ帝國に侵入するや、此の市は直に其陥る所となり。後七世紀の頃サボヤ公の領地となり、十六世紀の初にはフランスの有に歸し、千五百六十二年、再びサボヤ公の領となり其後復フランスに歸し、屢次の變遷を経て千八百五十九年より千八百六十五年まではイタリアの首府たりき。今や市街は甚盤の如く正しく、其の大街ヴィクトル、エマヌエロ街の一路は、兩側相對して、軒下に廊下を設け、雨天と雖も傘を用ひずして自由に歩行し商店を巡見するを得べからしむ。

カブール 千八百十年トリノに生る。幼にして英敏、戲謔の際にも衆童と異れり。千八百五十二年國會議長となり、遂に歐洲大政治家の一人となれり。サルヂニア王エマヌエロを授けてイタリアの統一を計りたる其功は最も大なり。

カブール 千八百十年トリノに生る。幼にして英敏、戲謔の際にも衆童と異れり。千八百五十二年國會議長となり、遂に歐洲大政治家の一人となれり。サルヂニア王エマヌエロを授けてイタリアの統一を計りたる其功は最も大なり。

Cavour

アレクサン
ドリヤ

アレクサンドリヤ トリノの東南、ポー河の一支流タナロ河に臨み、繁華なる市街にして、八個の鐵道線路の中心たり。人口八萬餘、堅固なる要塞の設あり。

Alessandria Tanaro

マレン
ゴ

マレンゴ アレクサンドリヤの南東にある一村にして、千八百零六年六月十四日、ナポレオンがオーストリア軍を

Marengo

イタリア都會

敗りし地なり。

《ミラノ》 ロンバルディア平原の中央、オロナ河の右岸にあり。運河及び鐵道の中心に當り、北イタリア平原の重要な都會にして當國第二に位す。人口凡そ五十八萬。商工業の中心地にして絹織綿織・煙草毛布手袋馬車機械等の製造盛にして、商業活潑なり。我名譽領事館あり。府内に有名なる建築物多けれども、就中白大理石のゴシック式の寺塔は、最も著名なり。世界屈指の大教堂にして、四萬人の禮拜者を容るゝに足る。其の屋上には幾多の尖塔群がり立ちて、遠望すれば恰も鎗の山を見るに似たり。又此の上に登りて見ればアルプ連嶺の全景一眸に集まり、壯觀言はん方なしと云ふ。此府は往時北部イタリアのオーストリア領たりし時、其首府たりしを以て殊に知られたり。

パヴィア

パヴィア ミラノの南方二十哩、チノ河の沿岸にあり。人口三萬餘。ロンバルディア王の古城及び、大學・圖書館・博物館・植物園等あり。此府は千七百九十六年、ナポレオンの侵入を蒙り、千八百十四年以後、千八百五十九年イタリアに合さるゝまで、オーストリアの領有たりし所なり。

ピアチェンツァ パヴィアの下流三十哩、ポー河に沿へる古き都會にして、軍事上重要な城砦あり。人口三萬七千餘にして製造盛なり。

此府は紀元前二百十九年、ローマ人之に殖民し、同二百年頃ガリア人のために、殆んど亡されしが千五百四十五年バルマと合併せりといふ。

Milano

Pavia

Piacenza

バルマ

ピアチェンツァ

モデナ

フェルララ

ファエンツァ
ラベンナ

バルマ ピアチェンツァの東南六十哩、ポー河の右岸の平野にあり。アペニン山脈を越えて南伊太利に入るの要路に立てり。人口約六萬餘、絹・大理石・葡萄等の取引盛なり。府は圓形の城壁を以て圍まれ、ローマ古代の骨像建築等見るべきもの多しといふ。此地は即ち古代のバルマ公園の首府なり。

《ボロニア》 ボロニア州の首府にして、アペニン山脈とロンバルディア平原との接合點に位し、海拔五十米。北イタリア鐵道と南イタリアとの鐵道の交叉點にあつ。市内には美麗なる建築物あり。絹及び其他の工業品を産し商業盛なり。古來學藝の中心地にして、當國最古の大學あり。西紀千二百年の創設とす。人口十六萬餘我長崎市の人口に似たり。

モデナ モデナ州の首府にして、ボロニアの西北四十哩にありて、人口三萬餘。商業盛なり。昔時のモデナ公國の首府なり。

フェルララ フェルララ州の首府にして、ポー河の下流に近邊す。人口三萬餘。古は周圍に城廓を圍らせしが、今や其趾を存するなし。

ファエンツァ ボロニアの南東六十哩にあり。市内には古代の寺院多し。

ラベンナ ファエンツァの東北二十哩、アドリア海岸より内地に入る五哩の所にあり。西紀五世紀の頃、一時西ローマ帝國の首府たりしが、中世には此の地方共和國の首都となり、十九世紀の中頃までは法王領たり。人口二萬餘に過ぎざれども、絹・麻及び紙等の製造盛なり。

市内には耶蘇時代の文學藝術に關する建物及び紀念碑あり。

《ペロナ》 ペロナ州の首府にして、アデデ河の中流、アルプ山脈の麓に位し、埃匈國の通

イタリア都會

Verona Ravenna Faenza Ferrara Modena Bologna Parma

路に當れり。府の周圍には堅固の城壁を設け、又府内には奇異の建築物及びローマ古代の遺迹等あり。又城砦は有名なる四邊形保砦の一たり。近年水力電氣を利用して、各種の工業を始めし新興の製造地たり。綿布・天鵝絨・毛皮等の製造盛なり。

ブレシア

ブレシア ミラノの東五十哩、ベロナ及ミラノの中央に位す。人口凡そ五萬、古物の博物館あり。羊毛・革・絹糸・酒等を産す。

マントバ

マントバ ベロナの南方三十哩に位し、人口三萬餘。千七百九十七年及び全九十九年に於て、佛埃兩軍の激戦せし所たり。

ベスキエラ

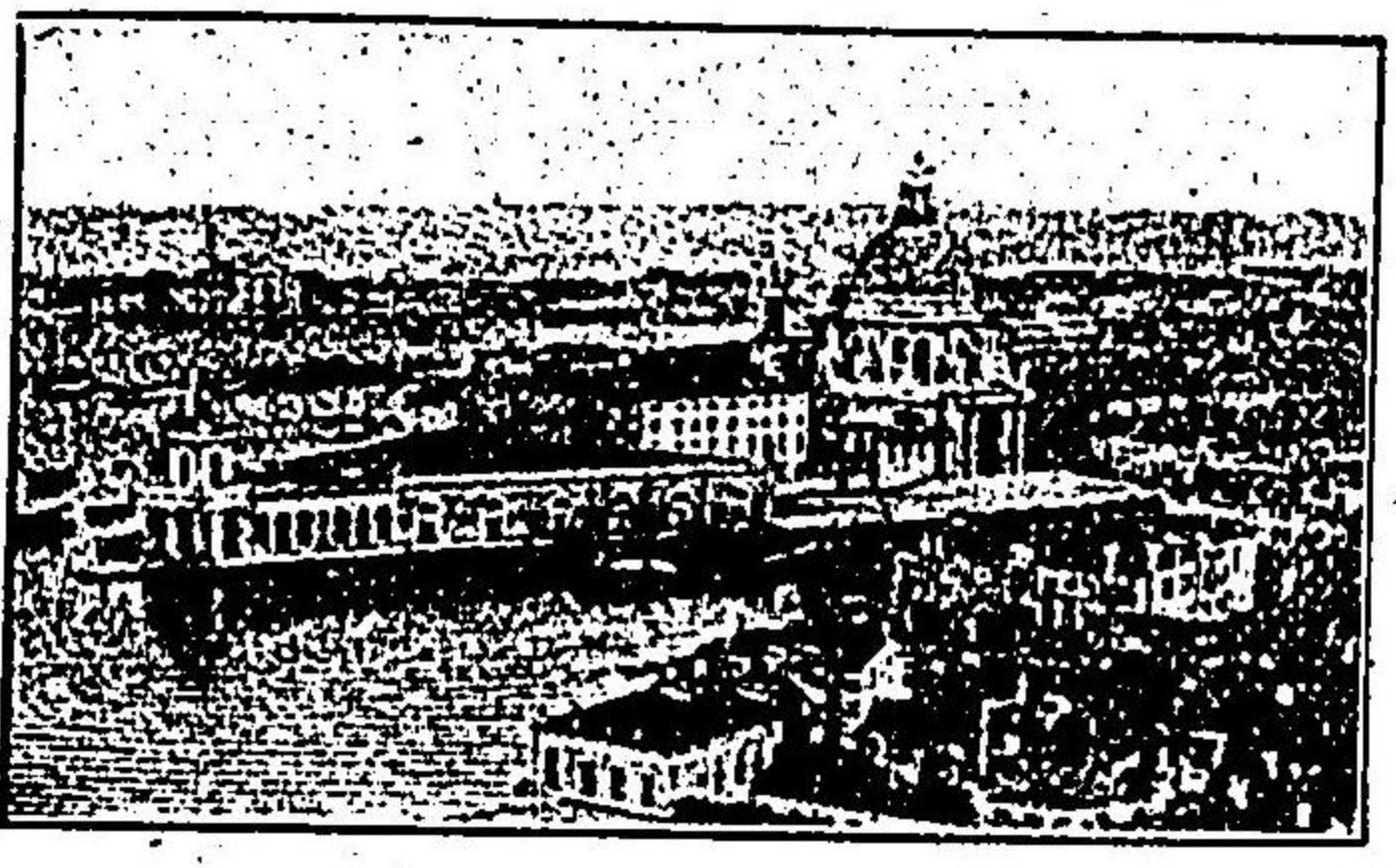
ベスキエラ ベロナの西方十五哩、ガータ湖の流出口に位す。人口僅に千七百に過ぎざる小村落なれども、四邊形要塞所在地の一として有名なり。

〔ヴェネチア〕 アドリア灣頭、澤沼中七十二個の島嶼上に跨れり。府は運河縦横に疏通し、街衢は悉く水路にて、ゴンドラと稱する長さ約四間、幅五六尺の小舟にて、幌もて掩ひ、中に小室を設けたる者にて往來せり。外観全く水上に浮べるが如し。人口凡そ十五萬餘。玻璃・鏡及び寶玉の製造を以て名あり。又大なる造船所あり。鐵道はロンバルディア平原の各都府に通じ、南はローマ及びナポリに通じ、海陸の貿易頗る盛なり。

此地は紀元四百五十二年頃の創建に係り、始めはフン人の攻撃を避くる所たりしが、九世紀の始には獨立共和國の首府となり、十世紀には、東洋諸國との貿易の一大中心地とな

Venice Peschiera Mantua Brescia (Venezia)

ヴェネチアと日本使節



ベネチアの市の一

り、後アフリカ廻航の水路發見せらるゝに及びて一時衰へしが、更にスエズ運河の開通するに及び、再び市況を回復するに至れり。古の大統領の宮殿（ジユカレ宮殿）及びサン、マルコ寺、歎息橋等の名所多し。

ヴェネチアと日本使節 足利時代の末世にキリシタンの我國に傳來するや、九州地方は忽にして其の流傳する所となり、遂に、大友・有馬・大村の三侯はローマに使節を派遣するに決し、伊東義賢と千々岩清左衛門とを正使となし。彼國に遣したり。二人は天正十年一月を以て長崎を出發し、マカオ・ゴア・喜望峯等を経て葡國の首府リスボンに着し、更に西國の首都マドリッドに入り、國王フィリッポ二世に謁し、次にローマに往きて法王グレゴリオ十三世に面謁し、尙ヴェネチアに至り、ヴェネチア共和國大統領の宮殿なるヂユカレ宮に入り、西紀千五百八十五年七月大統領ニコロ、ダ、ボンテと其の謁見室にて謁見を遂げたり。而して今日尙、其事を其當時記したる刻文、當市内サン、マルコ寺に残存せり。珍とすべし。

日本の紹介者

日本の紹介者 マルコ、ポーロは、千二百五十七年を以てベネチアに生れ、十五才にして父と共に陸路東亞に來り、支那に留ること十九年、元の忽必烈に信任せられ。後歸國して、其の紀行文を公にし、始めて東亞の事情を歐洲に傳へたり。我日本を始めて歐洲人に紹介したる者は、實に此の人なりとす。千三百二十五年を以て歿せり。

パドバ

七九三

Padua (Padova)

ビチエンツ

工藝品に最も名高し。又歐洲最古の植物園を有せり。
ビチエンツア ベネチアの西方四十三哩にあり。商業盛にして、絹を製造すること多し。府内には美麗なる宮殿及び千五百八十年に、フアラヂオの築きし一大劇場あり。天正年間我九州の三侯より送りし伊東千々岩等の隠行使節が千五百八十五年七月此の劇場に招待せられ、其の有様壁畫に描かれて今尙存在せり。此他第十三世紀の構造に係る寺院等あり。人口四萬餘。

日本人の子孫

日本人の子孫 ビチエンツアに日本人の子孫と稱する軍人の家あり。西紀千二百五十年頃我九州の一士族が流れて支那に至り、更に支那印度間の絹商の奴隷に買はれ、後、印度にて伊太利ビチエンツアより來れる商人に購はれて遂に伊國に至り、忠勤を勵みて後其の女と婚することとなり、此の地に落ち着き、其子孫今に至りて軍人となり、現にコネグリアナの聯隊長キノト大佐は其の子孫にして、此の事實は今日尙同家に言ひ傳へ居る所なりと云ふ。

ウヂネ

ウヂネ 此國の北東隅、ウヂネ州の首府にして、オーストリアの國境に近し。人口三萬餘。商業稍振へり。

アンナコ

アンナコ アドリア海に於けるベネチアに次げる良港にして、人口五萬餘、太古シラクサー人の始めて建てたるものなりといふ。
アンナコナ アドリア海に於けるベネチアに次げる良港にして、人口五萬餘、太古シラクサー人の始めて建てたるものなりといふ。

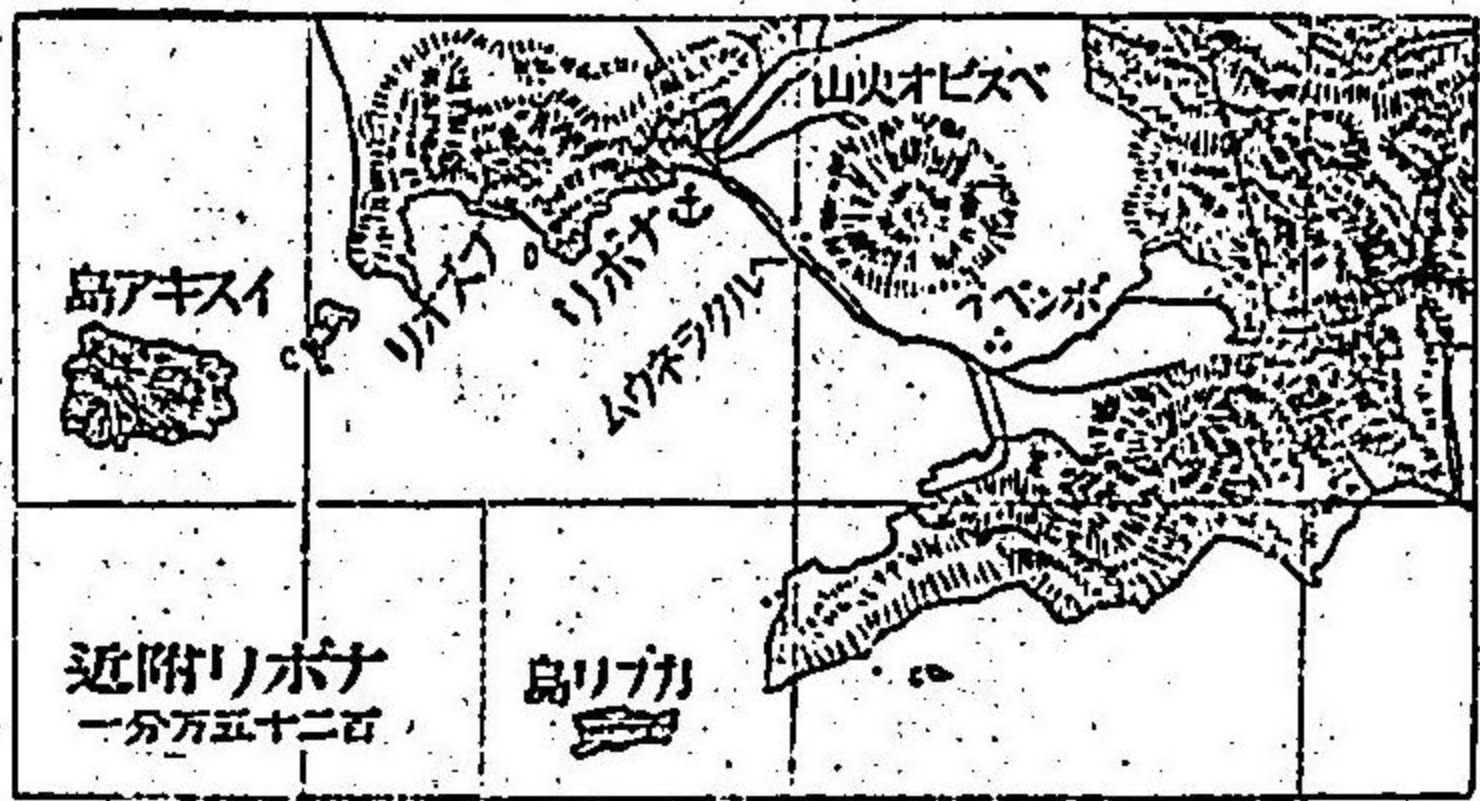
アンナコ

アンナコナ アドリア海に於けるベネチアに次げる良港にして、人口五萬餘、太古シラクサー人の始めて建てたるものなりといふ。
アンナコナ アドリア海に於けるベネチアに次げる良港にして、人口五萬餘、太古シラクサー人の始めて建てたるものなりといふ。

Naples Ancona (Napoli)

Rimini Udine

Vicenza



ナポリ附近略地圖

リア第一の大都會たり。人口約六十萬、商業盛に行はれ、葡萄酒油器械等の製造多く、我名譽領事館を設置せり。又此府はイタリアの重要な海軍根據地にして、兵營あり。博物館は、ボムペーの遺物を收め、大學には五萬卷の書冊を藏せりといふ。又動物學者間に有名なる臨海實驗所あり。地形、青山を負ひ碧海に臨み、東南郊外にはベスビオの活火山を控へ、山水の風光明媚秀麗にして、加ふるに氣候温暖、最も快適なれば、歐人中には「ナポリを見て然る後死せよ」との俚諺行はれ、遊覽客の多きことローマと共にイタリア屈指の地方とす。

ボムペー 山岳の部、ベスビオ火山の肥事併説せり、参照すべし。

○ボムペーの遺跡

前略詳細は英人リットン卿の著作「ボムペーの最終日」を見れば分る。今爰に遺市の現況一二を述べやう。道路は一面に石を敷き詰め人道、車道の區別があつて、車道の方は兩側の人道の方よりは少し低く出來て、雨天の時などは、

其處を水が流れるものと見え、一町毎に飛石が並べてある。又敷積せる煉瓦、又は石造の家屋、公會堂、劇場、浴場などを見ると、建築術の進んで居たことが分るばかりでなく、鉛管を用いた水道、蒸気を應用した風呂、大理石の彫刻、巧妙なる銅像、鐘、螺貝等の附屬せるものにして、生活上の狀態を始め、風俗上の事項までも凡て想像が出来る。

(歐米遊記)

サレルノ

サレルノ ナポリの東南三十三哩にあり。全名の灣頭に位し、人口二萬餘。綿絲紡績等の業最も盛なり。

アマルフイ

アマルフイ サレルノ灣の北方にある港にして、中世紀にありては重要な都市なりしが、今は不振の、狀態にあり。航海用磁針の發明者フラヴィオ、ジオーヤは、此地の人なり。

羅針盤の創作者

羅針盤の創作者 フラヴィオ、ジオーヤ氏は磁針を自由に回轉し得べからしむるよう工夫し、所謂羅針盤なるものを創作せりと稱せらる、磁針は元來上古支那等にて、既に使用せられたりしも、其應用未だ充分ならざりしを、千三百二年頃に至り、デオアの工夫によりて其の應用大に開け、遂に航海探検の大發達を促し、遂に新大陸發見をも誘致するに至りしものとす。

ガエタ

ガエタ ナポリの北西にありて、ガエタ灣に臨み。堅固なる堡塞の設あり。

〔タレントム〕 同名の灣頭に位せる、一軍港にして堅固なる砲臺の設あり。紀元前七百五年スバルタ人の殖民によりて建てたる都市にして、ギリシア國の隆盛時には、最も繁盛を極め、殷富と繁華とを以て有名なりしが、今は僅に人口二萬五千餘を有する一都邑たるに過ぎず。されども古代及び中古の建築物並に其他の遺物存在して、旅客をして永なへに古代の盛時を偲ばしむ。

Tarentum Gnetu Flavio Gioia Amalfi Salerno (Taranto)

ブリンヂシ

オトラント

レッジオ

ブリンヂシ アドリア海に面し、長靴形の半島の踵に當れる所にあり。此地は始めスバルタ人の殖民せし地にして古代に於て有名なりし一都市たり。中古時代に於ても、東洋との貿易盛なりし時は、極めて繁盛なりしが、アフリカ周航行はるゝに及び、一時衰へ、スエズ運河の開くるに及び、稍衰時に復せり。今や人口約二萬を有し、東洋並に歐洲、西歐間の旅客及び郵便物運送の最捷路に當るを以て、漸次繁盛を回復するの勢あり。(交通の部参照)

Brindisi

オトラント ブリンヂシの南方五十二哩にあり。古代ギリシア人の殖民地にして、當時はギリシアとの通商盛なりしが、今は大に衰微して、人口僅に二千に過ぎざる小邑となれり。

Utranto

レッジオ カラブリア半島レッジオ州の首府にして、メッシナ海峽に面し、眺望頗る佳なり。香油香水絹等の製造盛にして、果實の貿易亦頗る多し。人口四萬五千を有す。

Reggio

元來カラブリア半島は地震多き地方にして、千七百八十三年の大地震には、殆んど全市破壊せられたることあり。又近くは千九百八年十二月廿八日の大地震にて、殆ど剩す所なく、破壊せられ、死傷萬を超えたりといふ。

〔メッシナ〕 シチリア島の東端に位し、メッシナ海峽を隔て、レッジオと相對す。此地は同島鐵道線の起點にして、半島鐵道線の終點レッジオとの間には連絡汽船の往復あり。果物、橄欖油、硫黄等を輸出し、商業盛なり。又軍港を兼ね人口十五萬に近し。イタリアに於ける舊都會の一とす。

Messina

此地は古來、海賊及び震災の禍を蒙りしこと多く千七百八十三年の大地震にも大慘害を蒙りしが、後再建し、更に千九百八年即明治四十一年の火山地震の爲めに、全市又殆んど

イタリア都會

破壊せられたりといふ。

カタニア

カタニア エトナ火山の南端に位せる古き市街にして、硫黄・穀物・果物を輸出す。此府はエトナ火山の爲め、屢慘害を蒙りしことあり。

シラクーサ

シラクーサ カタニアの南三十哩にある一良港にして、果物・橄欖油・葡萄酒の製造及び貿易盛なり。紀元前七百三十三年頃、ギリシア人の殖民したる地にして、古代史上に著名なり。

《パレルモ》

シチリア島の首府にして、島の北岸に位し、人口凡三十餘萬。市街美麗にして果實・葡萄酒・硫黄及び穀物等を輸出す。メッシナ市と共に大學の所在地にして、機械業頗る盛なり。又メッシナ市と同じく我國の名譽領事館あり。氣候溫暖にして健康に佳なり。

沿革

沿革 此の市は上古にはパノルムスと稱せられしが、西紀前四百十五年にカルタゴ人に占領せられ、同二百五十四年には、ローマ人の治むる所となり。紀元後八百三十二年にはサラセン人の據る所となり、又千〇七十二年には、ノルマン人の治下に歸し、千二百八十二年には有名なる佛人虐殺を演出し、其の後幾變遷、千八百六十年ガリメルチーの攻撃する所となり、其の後現伊太利に歸服するに至りしものとす。

シチリアン、ベスパース

シチリアン、ベスパース 此は、千二百八十二年三月三十日耶蘇昇天祭日に當りて、シチリア島民が當時此の島を占領せし佛蘭西人を虐殺せしを謂ふものにて、實にパレルモ市に於て、演出せられたる慘事なりとす。抑々此の虐殺の始めたるや、島人常に佛人の専横を憤りしが、會々ヤソ昇天祭日に當り、一人の盛裝せるシチリアの花嫁が、市内を通行せしに、會々亂暴なる佛人近より來りて其の腕を捕へ、何處へか連れ行かんとせしかば、若きシチリア男子一名走り來りて、其の佛人を殺せしが、此の騒動に乗じて、幾多のシチリア人群起して立所に二百の佛人を刺

Sycilian Vespers

リリベウム

し、次で『佛人を皆殺しにせよ』との叫び聲は四方に傳へられ、遂に島内に居住せる佛人の殆んど全部約八千人を虐殺し盡せり。島國人の氣性の狹隘にして、且激烈なるを何ふに足る。

リリベウム シチリア島の西端海岸にあり。太古カルタゴ人の創建したる地にして、今はマルサラといひ、葡萄酒の販賣盛なり。

ジェルジエンチ

ジェルジエンチ シチリア島の南部にあり。古き市街にして、古昔はアグリジエンツムといひ、一時甚だ振ひしが、今は更に昔時の面影を存せずといふ。

《カリアリ》

サルデニア島の首府にして、國名の灣頭にある、一要港なり。古昔カルタゴ人の建てたる商業市にして、今尙市況頗る盛にして、食鹽を重要な輸出品とせり。人口四萬五千餘大學の設あり。本島の縦貫鐵道は此府を基點として、北の方サスサリに通ぜり。

サスサリ

サスサリ 島の西北端なる繁盛なる一都會にして、人口四萬餘。鐵道は南方カリアリに通し、近海は食鹽の製造盛なり。此地亦大學の設あり。

サン、マリノ

サン、マリノ イタリアの面積中に包含せらる、サン、マリノ共和國は、ヨーロッパに於て最も古き小國にして、行政權は六十名より成れる參事會に委ね、其二名を毎六ヶ月に選舉し行政を掌らしむ。又別に十二名を以て組織せる小參事會あり。面積凡そ三十八方哩、人口凡そ一萬千五百あり。重要輸出品は葡萄酒・家畜及び石材等にして、イタリア王國とは

San-Marino Sussari

Cagliari Girgenti Lilybaeum (Agrigentun) (Marsala)

イタリア都會

Palermo Syracuse Catania (Panormos) (Siracusa)

殊に親密なる條約を締結せり。而して陸軍將校四十人、卒凡そ千人あり。

國名解

サン、マリノなる名稱は、西紀第五世紀の頃に此の所に居住せし、ヤソ教師セント、マリノスの名より出たるものなり。

伊太利の特

伊太利の特徴 (一)歐洲諸國中英國を除きては、此國を以て最も我國に似たる點多しとす。即海岸に居めること、國の境域長く連れる事、火山、温泉、地震等多きこと、氣候温暖にして、風光明媚なること、等之れなり。(二)此國は歐洲中美術に關して最も進歩せし國なること。(三)用稼き人多きこと。(四)乞食多きこと。(五)史蹟に富み、歐洲文明の搖籃と稱せらるること。(六)マラリア熱の流行烈しきこと。(七)イタリア人のイタリア島又はローマ島と稱せらるる特相を有すること等は此の國の特徴の内に數ふるを得べきものとす。

マルタ諸島 Malta

本島はもとフェニキア人によりて始めて殖民せられ、其後ギリシア人・カルターゴ人・ローマ人等相繼ぎて之を占領し、第九世紀に於ては、サラセン人の手に移り、幾許もなくしてイスパニアに屬せり。斯くて千五百六十年、イスパニアのカロ、五世は之を其部下のナイト、ホスピタラーズに與へたり。爾來千七百九十八年、其のナイトがナポレオンのために生擒せらるゝに至るまでは、其領有に屬せしが、後二年を経て、英人ヒゴット之を攻陥し、千八百十四年パリの條約によりて、英國の所有權確定するに至りぬ。

位置

イタリアの南方、シチリア島とアフリカの北海岸との間なる地中海上に横はり、シチリア島より約五十八哩の南にして、ロンドンより約八日にて達すべし。マルタ・ゴツ

Gozo

Knight Hospitallers

オ・コミノ及びコミノットの四島よりなり、面積凡そ百十七方哩、略我隱岐島に似たり。人口凡そ二十萬あり。其内マルタ島最も大にして、九十五方哩、ゴツ島之に次ぎて二十方哩あり。

Comino
Cominotte

住民 島内人口の五分の四はマルタ人即ちアラビヤ人とイタリア人との混合種族にして、最も勤勉而約の性に富めりといふ。

地相 マルタ島は其内部山岳性を有し、土地頗る礫礫なれども、氣候温暖にして、住民よく耕作に力むるがゆゑに、棉花を始めとし、穀類、馬鈴薯、果物其他一般の植物に富めり。

氣候 氣候、暖熱にして降雨少しといへども、生活上困難なるものを見ず、故に若し必要なる衛生上の改良を施さば、避寒地として最も適當なるに至らん。

富源 産物の重なるものは、棉花・馬鈴薯・橙・無花果・葡萄・蜂蜜等なり。又製造品としては、綿布・マッチ・金銀糸細工等あり。而して牧畜業も頗る發達し、山羊・馬・牛等の飼育行はる。

貿易 本島の貿易は概ね通過貿易に屬し、一ヶ年の輸出入總額凡そ百十萬磅に達し、内輸入百四萬磅、輸出七萬磅なり。又通過貿易は、輸出入共に千三百萬磅以上に達すといふ。

政治 主として代議制によることとし、本國より派遣せる知事は、二十名の議員より成れる政法會議と、行政會議とによりて補翼せらる。又人民の宗教は概ね舊教に屬せり。

マルタ諸島 位置、住民、地相、氣候、富源

貿易 政治

都會 バレツタは即ち此國の首府にして、人口凡そ六萬餘、軍港と商港とを兼ねたる良好なる港灣をなし、堅牢無比なる堡塞の設けと、廣大なる造兵廠並に造船所、船渠等あり。而して軍略上極めて重要な地點にして、イギリス國に於ける地中海艦隊の司令部は即ち茲にあり。又大學の所在地なり。

此地市街は島の東岸なる山脊上に位し、其兩側に各一港あり。北なるをクオランチン港といひ、南なるをバレツタ港といふ。而して單に軍事上の要害たるのみならず、又、商業上に關しても頗る重要な地點に位せるものにして、イギリス國がシブラルタルを占領し、又、キプラス島を占領し、更に本島を領有せるに因りて、地中海は全くイギリス國の一湖水と見ることを得べし。

二、バルカン半島 *Balkan Peninsula*

本半島は從來舉げてオトマン帝國の所領にして、「スルタン」の威權の下に屈服せしが、第十九世紀に至りて、ギリシア・トルコ・ブルガリア等の政治的區分を見るに至りしなり。「スルタン」はアラビア語「權力」の義にして轉じて權力者の名稱となる。ハリフ帝國の末年にあたり、其領土の各地方に割據して政權を握りしもの、皆此稱を用ひたるが今日は主として土耳其帝國の主權者に用ふ。

Sultan

位置 ヨーロッパ洲に於ける南部三大半島中最も東方に位せるものにして、アドリア海とエーゲ海及び黒海との間に突出し、小アジアと狹隘なる海峡を隔て、相對す。而してローマニア一國は地理學上本半島中に入らざるを普通とすれども、史上の關係により、殊に其一部とせり。面積凡そ二十餘萬方哩、我本州の二倍餘にして、人口凡そ二千三百萬あり。

住民 バルカン半島は人種及政治上の關係甚複雑したる地方なり。古代に於てはイタリア人・トラキア人・マケドニア人・ギリシア人等居住し、バルカン山脈の北にありしものは羅馬化し、其南にありしものは希臘化せるが獨西部にありしイタリア人永く其原狀を維持したり。後スラフ人(セルビア人・ブルガリア人)も入り來りしが之等は更に後に來れるトルコ人に征服せられたり。現時に於て半島にある主要なる種族は、トルコ人・ギリシア人・ブルガリア人・ロマニア人・セルビア人・アルバニア人(イタリア人の後)アルメニア人、其他ユダヤ人・イタリア人等なり。

地相 半島内には山地多くして平地少く、到る處山岳丘陵蟠嶺し、山脈の趨勢の如きも極めて錯綜せるあり。其内主要なるものを擧ぐれば、チナル、アルプ山脈とバルカン山脈となり。而して前者はアルプ山脈の東端に起り、バルカン半島の西岸に沿ふて南走せるものにして、南方ギリシアに入りピンドス山脈となり、其餘脈はモレア半島に至り、タイゲトス山脈となるものなり。又、後者はカルパチア山脈が西に屈曲して作れる、トラン

バルカン半島位置、住民、地相

Pindos Taygetus Dinaric Alps Balkan Pange

シルバニアアルプ山脈の延長にして、セルビアの東北端に起り、更に轉じて東南に走れるものなり。此等兩山脈の間には、所謂トラキア、マケドニアの高地あり。

バルカン山脈 鐵門よりドナウ支流イスカール河に至る間を西バルカン山脈といふ。イスカール河以東はバルカン山脈にして、高峯エムムクトシャール山(二三七五米)は其中に聳ゆ。其東は有名なるシブカ越なり。此邊は山脈の北は傾斜緩にして南は急なり。バルカン山脈は東は二分して黒海に終る、其中南なるエミネバルカンはエミネ岬を形り北なるものはシムムラ台地をなす。

バルカン山脈は若干の支脈を有す、其中著しきものは次の如し。
其一は東南に向ひマリツア、カラス兩河の間に連亘するものにしてロトベ山脈(チヌボト、ダグ)といふ。其二はブルガスの西方五十哩より、東南コンスタンチノーブルの附近に達するものなり。其三は西に延びてシアールダク峯に於てチナルアルプ山脈に連なる。

チナルアルプ山脈中の高峯 山脈中の北部にはチナラ及びトログラーフありて、前者は千八百三十米、後者は千九百十餘米あり。又南方にはドルミートル・コム及びシヤル、ダグ等ありて、前二者は其高さ二千四百米に過ぎざるも、後者は二千米以上に達せり。

オリンプス山 マケドニアの南部、北緯四十度、東經二十二度附近に立てる、山岳にして、標高九千七百尺、ホーマー其他の詩人によりて識はれたる、神話古跡にして頗る著名なり。

〔河流〕 半島に於ける主要なる河流は黒海及びエーゲ海に入る。其分水界はバルカン山脈及びラキア、マケドニア高地にして、北流するものはドナウ河に合して、黒海に入り、南

Thrac-Macedonian Highlands

Dinara
Dormitor
Shar Dag

Olympus

流するものはエーゲ海に注げり。而してドナウ支流中有名なるものは、サベ河・ドリナ河・モラバ河・チモク河・イスカール河・ヤントラ河等にして、エーゲ海に注ぐものには、マリツア河・カラス(メスタ)河・ストルマ河及びブルダル河等なり。此他アドリア海及びイオニア海等に注ぐものあれども、皆短小にして稱するに足らざるなり。(河流の細説は各國の記事を見るべし)

湖沼 湖沼の重なるものはモンテネグロの南境に於けるスクタリ湖を始めとし、マケドニアに於けるオクリダ湖・プレスバ湖・タチノ湖等あれども、何れも巨大なるものにあらざるなり。

沿岸 一般に屈曲出入に富み、半島島嶼の所々に突出散布せるもの多し。則ち海灣に就きては黒海にブルガス灣あり。エーゲ海にゼロス灣・エノス灣・オルファニ灣・サロニキ灣・ボロス灣・エギナ灣及びアルゴリス灣等あり。又イオニア海にはラコニア灣・メッセニア灣・コリント灣・バトラス灣・アルタ灣あり。アドリア海には著しきものなし。

半島 半島の重なるものは、ガリポリ半島・カルキス半島及びモレア半島等なり。
岬角 岬角の名あるものは、コロナダ岬・マタパン岬等なり。

海峡 海峡の重なるものはボスボロス海峡・ダルダネル海峡・アトランテ海峡・エブリッポス海峡・レバント海峡・コルフ海峡及びオトランド海峡等なり。

バルカン半島沿岸

Gallipoli
Chalkis
Morea
Colonnas
Matapan
Bosphorus
Dardanelles
Atlanti

Evripas
Lepants
Korfu
Ottaranto
Laconia
Corinth
Arta
Messenia
Patbras
Saloniki
Volos
Aegina
Argolis
Burgas
Xeros
Enos
Orfau
Sentari
Ochrida
Bresba
Tachino
Kara-su
Alata
Struma
Wardar
Timok
Isker
Jantra
Muritza
Drina
Marava

半島
岬角
海峡

湖沼

オリンプス山

チナルアルプ山脈中の高峯

バルカン山脈

島嶼 沿岸島嶼は其數極めて多けれども、其内主要なるものをあげれば、インプロス島・サモトラキ島・レムノス島・タンス島・北スボラデス群島・エウボイア島・キクラデス諸島・クレテ島(カンジア島)・セリゴ島・イオニア諸島等なり。キクラデス諸島のデロス島は小なれども、一時デロス同盟の本據たりし所として希臘史上に有名なり。

氣候 氣候は勿論一樣なる能はず、西部は地中海氣候にして暖かく、雨量は多けれども夏期は雨少く、半島の東岸は、エーゲ海北岸に比してやゝ涼しく且乾燥す。内地は一般に中央歐羅巴的にして、四時雨多く且冬は頗る寒し。ブルガリアの平野にありては、寒暑の差甚しく、高山秀嶺の地にありては、冬季頗る嚴寒を覺ゆ。

地内	海		年平均
	一月氣温	七月氣温	
ラグサ	八	二五、二	一八、六
サロニキ	四、六	二六、八	一五、九
コンスタンチノープル	四、八	二三、一	一三、八
チエチエ	零下、一、四	二二、六	一一、〇
ソフィア	零下、二、一	二二、九	一〇、三

富源として注目すべき産物の重なるものは、地中海沿岸に於ける橄欖・無花果・橙等を産し、南部中部には中央ヨーロッパ的果實を産す。更に東部に至ればアジア的植物を出す。動物も亦之に全しく、アジアヨーロッパ地中海的特性を有するものを出せり。而も一般

Krete
Corigo
Ionian
Thasos
North Sporades
Euboin
Kyklades
Impros
Samothraci
Lemnos

に山岳丘陵多く、且文化の程度も稍低きを以て、富源の開発未だ十分ならず。

文化 バルカン半島は、歐亞兩大陸の間に蟠まれることとして、古來黃白幾多の諸人種の集まり來りし處にして、往昔東ローマ帝國時代及び土耳其帝國全盛の時代に在りては、其の文明は夙に附近の諸國を凌駕せしが、今や往時の勢力なく、却て後進諸強國の翻弄する所となり、爲めに屢々國際問題を惹起し、西歐外交家の所謂『近東の病者』となり、若しくは『外交界の噴火山』と稱せらるゝに至り、歐洲大陸中常に暗雲の横はれる地方とす。從て人文發達せず、交通開けず、産業は振はず、住民は増殖せず、天然の遺利は尙到る所に放棄せられ、其の人民は歐洲諸國至る所、猶太人に次て輕蔑せらるゝの狀況にあり。而して其の大原因は、文化の不進と、爲政者の劃策宜を得ざりしとにありとす可し。

區劃 バルカン半島内に於ける諸國を擧ぐる時は次の如し。而して其内稍々名あるものは、ヨーロッパトルコ及びギリシアの二國とす。

國名	面積	人口
ヨーロッパトルコ	六、三〇〇、〇〇〇	一、六〇〇、〇〇〇
ギリシア	三、三〇〇、〇〇〇	二、八〇〇、〇〇〇
ローマニア	四、〇〇〇、〇〇〇	六、七〇〇、〇〇〇
バルカン半島文化區劃		八〇七

European-Turkey
Greece
Roumania

第拾貳篇 南部ヨーロッパ

ブルガリア	4,000,000	808
セルビア	1,600,000	
モンテネグロ	400,000	

此他オーストリアに属せるものにダルマチア及びボスニア・ヘルゼゴビナ等あり此等は本國の部に於て記述せり。

トルコ (土耳其) Turkey (Devlet-i Osmaniyye)

名稱解

トルコの名稱は韃靼人種の一派なるトルコマンより來り、其の兜製造に巧なりしによりて、兜作りの人即ちテルク(兜)の人と稱せられしを、何時しか轉訛してトルコとなりたりと云ふ。一説には流民の義なりとも云へり。

此國は一にオトマン帝國と稱してセルジウク 土耳其と區別す。ヨーロッパ・アジア・アフリカの三州に跨れる廣大なる回教國にして、現今分れてアジアトルコとヨーロッパトルコとの二大部となれり。

此國は西紀千四百五十三年コンスタンチノール府を陥れて、東ローマ帝國に代りてより一時頗る繁盛を極めたる國にして、第十七世紀までは、勢強大に、黒海の沿岸よりハンガリアの過半を領有したりしが後次第に衰へて、ハンガリアはオーストリアのために蝕食せられ、更に黒海の北部はロシアに奪はれ、ギリシアは獨立し、續きてローマニア・モンテネグロ・セルビア・ブルガリア等又獨立し、最近に於てボスニア・ヘルゼゴビナ二國は全く埃國領となり國土日々に縮まり、今は僅に當年の四分の一にすぎずといふ。

位置 此國はヨーロッパとアジアとの交通の要衝に當り、極めて重要な地點に位せり。

Bosnia
Dalmatia
Herzegovina

Bulgaria
Servia
Montenegro

面積及人口

而して北はブルガリア・セルビア及びボスニア等に接し、西はモンテネグロに境し、アドリア海及びイオニア海に面し、南はギリシアに連り、エーゲ海に臨み、東南マルマラ海及びダルダネル・ボスポロス兩海峡を隔て、此國のアジア領と相對し、東は黒海に瀕せり。面積凡そ六萬五千三百五十方哩、我北海道の約二倍とす。人口凡そ六百二十萬餘なり。

住民 歐羅巴土耳其の住民の七割一分はトルコ人・ギリシア人・アルバニア人にして、其の他はブルガリア人・セルビア人・ローマニア人・アルメニア人・マジャール人・ユダヤ人・チアシ人等にして人種の關係は甚複雑なり。而して土地の所有と政事上の權力とは、比較的少數なるトルコ人の手にあり。蓋しトルコ人は一般にアジアトルコに多くしてヨーロッパトルコに少く、ギリシア人は海岸の地及びクリト島等に多しといふ、而して此の如く住民の種類複雑にして、從て宗教・言語・風俗・習慣・思想・感情等一ならず。爲に國民の團結薄弱にして、延て國勢の不振を來せしなり。

面積及人口 此國の面積及人口は、名義上の屬國までも之を推算する時は、大略次の如し。但しトリポリは今やイタリアと開戦のため、既に大半はイタリア陸軍に占領せられたり。

縣 及 州	面積	人口	縣 及 州	面積	人口
コンスタンチノール	1,500,000	1,100,000	ツ		
チャタルジア	700,000	600,000	コ		
アドリアノール	1,400,000	1,000,000	ソ		
サロニカ	1,200,000	1,000,000	バ		
モナスチル	1,100,000	800,000	ス		
			タ		
			リ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		
			メ		
			ニ		
			ヤ		
			シ		
			ア		
			ル		

ア	メソポタミア	1,200,000	1,200,000	カリ	トリポリ	1,200,000	1,200,000
ジ	シリア	1,200,000	1,200,000	メ	メンサツ	1,200,000	1,200,000
ア	アラビア	1,200,000	1,200,000	合	計	1,200,000	1,200,000
合	計	3,600,000	3,600,000	總	計	1,200,000	1,200,000

此他サモス島は自治制にして、イギリス・フランス・ロシアの保護を受け、ボスニア・ヘルゼゴビナは近年オーストリアに合併せられ、クレタ島はイギリス・フランス・ロシア・イタリアの保護の下に立てり。而してエチオピアは名義上此國に属すれども、實権はイギリスにあり。

地相 国内山岳に富めども、又肥沃なる平野なきにしもあらず。而して山脈の重なるものはバルカン山脈、アルプ山脈及びピンドス山脈等なりとす。

バルカン山脈 バルカン半島總論に詳説せり。就て見るべし。

デナル、アルプ山脈 アドリア海の東濱に沿ふて走り、モンテネグロの東北部に於てバルカン山脈の支脈に連接す。数條の並行山脈より成り、其の大部分は石灰岩にして、所々に二千米以上の高峯を起し、南北に至れる齟齬の發達著しく、地味は所謂カルストと稱する不良の所多く、生産上の價值少し。(バルカン半島總論の部参照)

ピンドス山脈 デナル、アルプ山脈は延びてピンドス山脈となり、エーゲ海とアドリア海との分水界をなし、其餘派モレア半島に入りてタイゲトス山脈となる。而してギリシアの國境に近きオリンパス山は、凡そ二千九百八十五米に聳え、希臘の神話に有名にして、住民の畏敬する所の靈山たり。

ベネ、プレーン(準平原) マルマラ海を挾める土耳其領の地方は、所謂ベネ、プレーンと稱せらるゝ地形を

Dinaric Alps
Pindos
Olympus Karst

バルカン山脈
デナル、アルプ山脈
ピンドス山脈
ベネ、プレーン

なし、地學上注意すべき一例とす。ベネ、プレーンとは低原と高原との間に加ふべき、稍凸凹を有せる緩傾斜の平原にして、高度あまり高からざる準平原を云ひ、此の地方は其の模式的のものなりと稱せらる。

河流 河流の主なるものは、エーゲ海に注ぐものと、アドリア海に注げるものとす。

前者は即ちマリツア河・ストルマ河・ワルダル河等にして、後者はカラマ河・ドリン河・ボニザ河等なり。されど何れも比較的短小細流にして、稱するに足らず。

マリツア河 源をデスポト、ダグ(一名ロドベ)山に發し、流程凡三百二十哩、流域一万七千五百方哩を灌溉して、エーゲ海に注ぐ。河口より上流、アドリアアノールまで百餘哩ありて舟楫の利多し。其齟齬は歐亞を運ぬる鐵道幹線の走れる所なり。又支流エルゲーン河の流域は土地平かにして住民多し。

ワルダル河 源をシャル、ダグ山脈に發し、サロニカ灣に注ぐ。此河はマリツア河と共に此國に於ては重要な河流にして、流域廣く、又交通上重要なものにして、此河の流域に添ふて走れる鐵路は、セルビヤを過ぎて匈牙利に連れり。

沿岸 海岸線は其延長凡そ一千五百哩に達し、面積八十六哩毎に一哩の割合なり。

岬角の重なるものは、エーゲ海に於て、モンテサント岬あり。アドリア海に於てリンドッタ岬(グロッサ岬)等あり。又、灣澳の大なるものは、エーゲ海に於て、ザロス・レンヂナ・モンテ・サント・カツサンドラ・サロニカ等あり。アドリア海に於てアルタ灣あり。而して海峡の重なるものは、黒海とマルモラ海との間にボスボロス海峡、マルモラ海とエーゲ

Salonica
Arta
Xeros
Rendina
Monte-Santo
Cassandra

Ergana Maritza
Drin Kalama
Voyussa Pene-plain

海との間にダルダネル海峡あり。



ボスボロス海峡

ボスボロス海峡 一にコンスタンチノール海峡ともいふ。ボス、ボロスとは、牛(ボス)渡る(ボロス)海の義なりと。長さ十九哩、幅概ね五町より廿八町にして、肉眼にて對岸に歩行せる人物を認むるを得べし。水深凡三十尋に達し、堅固なる要塞を以て固められ、以て通航の船舶を監視す。首府コンスタンチノールは海峡の南口にあり。

マルモラ海 地殻の陥落によりて成れる海にして、水深凡一千二百米。海中にマルモル島あり、大理石の産出を以て名あり。大理石をマーブルと稱するは、此の島の名に出でたるものにて、

恰かも、支那雲南省の大理府より産するがために、大理石の名を得たるに同じ。

ダルダネル海峡 エーゲ海とマルモラ海との間にあり。昔時はヘレスポンドと稱せられ、兩岸には堅固の砲臺あり。

此地は紀元前四百八十年、ベルシア王クセルクスが、アテネ征伐の時、大軍を帥ひて俄造りの船橋を渡り、マケドニアに向ひし所にして、ギリシア史上に著名なる所とす。

海峡通過とロシヤ 黒海よりマルモラ海に通ずる所はボスボロス海峡にして、マルモラ海より更にエーゲ海に通ずるもの、之れダルダネル海峡たり。此の二海峡は、千八百四十一年(天保十二年)の倫敦條約を始め、千八百五十六年の巴里條約、同七十一年の倫敦條約、同七十八年(明治十一年)の伯林條約等によりて、一般商船の外各國

Bosporus

Marmora

ボスボロス海峡

マルモラ海

ダルダネル海峡

海峡通過とロシヤ

アリストテレスの生地

島嶼

ボラ

軍艦の通航を禁止し以て今日に至れり。而してロシヤの強大暴行を以てすら、尙且自由に此等海峡を通過し得ざる所以のものは、トルコの背後に、ヨーロッパ諸國の後援ありて、之を拒絶せるによる。

アリストテレスの生地 ギリシアの大聖アリストテレスは、マケドニア王の侍醫の子として西紀前三百八十四年、レンヂナ海岸なるスタギラに生れたり。(其の略傳はギリシアのアテネの條下に附説せり)

島嶼 沿岸に於ける島嶼は其數頗る多けれども、其内エーゲ海の東部に於けるものは主として此國に屬し、西部に於けるものはギリシアに屬せり。而して東部に於ける諸島中、地理學上アジアトルコに屬するものは、既に其部に説明せり。

サントリー島はトルコの南岸海中に位して、面積凡そ八十五方哩あり。

氣候

富源

北方内地は大陸的氣候を有すれども、南方に至るに従ひ、漸次海洋の影響を受け、氣候溫和快適なり。雨量亦一體に少からず。

ボラ トルコの北西部に於ては、ボラと稱する一種の地方風あり。オーストリアの海港トリエスタ附近より、アルマニアに至るまで吹き渡るものにして、性質乾燥寒冷、常に晴天を伴ふこと多し。之れ蓋し、アドリア海の沿岸平地は、日中絶えず熱を受くるがゆゑに、四近の空氣稀薄となれるに、獨りチナルアルプスの高峯は、周邊の空氣をして寒冷稠密ならしむるを以てなり。故に理論上、一年間此風の起り得べからざる日とはなき筈なれども、最も烈しきは、冬季の終りより春季の始めに亘りて著しとす。

産物は植物性のもの殊に豊富にして、葡萄・無花果・橄欖・橙・佛手柑・桃・梅・珈琲・阿片等の果樹能く繁茂せり。一般にバルカン山脈の南面及び西面には、常緑樹多く、平地には煙草・穀

Bora

Sothos

トルコ氣候、富源

物・野菜・棉花等盛に耕作せらる。養蠶・牧羊又稱盛なり。礦物は頗る豊富にして、鐵・石炭及び其他の諸礦を埋藏すること多しといへども、採掘盛ならざるを以て著はれず。

産業 産業の重なるものは農業にして國民の四分の三は、之に従事すれども耕作法は發達せず。此國は元來其土地分れて四種となり、其一是ミリと稱し官有地にして、皇帝の直轄に屬し、其二是バコーフと稱して寺院に屬し、其三是下賜地、其四是民有地なり。而して此等官有地は、殆ど全邦の過半を占むるがゆゑに、土地制度極めて不完全に、且、道路運輸の不便なると、諸産物に課税せらるゝことにより、農民の耕作に勉むること極めて不熱心なり。之れ此國が農業不發達の大原因なりとす。

然れども平地は地味概豊饒なるを以て、産物の種類・産額頗る多く、煙草を第一とし、穀類・棉花・無花果・葡萄・橄欖等を産出し。又、珈琲・黄根・阿片・護謨等の輸出少からず。牧畜は羊及び山羊を最とし、トルコ羊毛の名世に高く、其他製造品には、モロッコ革・氈絨・毛布・葡萄酒・薔薇油等の製あり。又、養蠶業行はれ生糸を出す。

製造業 製造業中名あるものは、葡萄酒・橄欖油・生糸・玻璃・製紙・織物等にして、毛氈は輸出品中、最も有望のものなり。

概ね手織に屬し、珍らしき細工を施せり。其他、家具に供すべき青銅を以て作れる施整細工及び、銅器細工等又稱名あり。

漁業

漁業 漁業も亦重要なるものにして、ボスボラスの海岸のみにも、漁獲約二十五萬磅の多きに達し、地中海の沿岸にては、優良なる海鮪、紅海にては雲丹、波斯灣にては眞珠を産せり。

文化 此國の教育はコーラン（回教經典）及びムールテッカ經典の奨励により、比較的早くより發達し、全國の都市には公立學校の設備あり。而して初等教育は名義上、干涉教育法を採り、男は六歳より十一歳まで、女は六歳より十歳まで就學せしむることとせり。最近調査によれば各種學校總計三萬六千餘校、生徒數凡百三十四萬あり。之を文明諸國に比するに決して盛なりと云ふべからず。

宗教は回々教を主とすれども、實際はアジャトルコに其多數を占むるのみにして、ヨーロッパにありては、全人口の半に出でず。而して皇帝は即ち宗教上の首長にして、サルタンと尊稱し、政教一致し、僧侶の權力頗る盛なり。其經典コーランは即ち國法の基礎にして、從來は苟も其教理に背かざる限りは、サルタンの意志を以て法律となせしが、近年憲法を再興したり。然れども惡政猶改まらず。

回教以外の宗教



コルト貴婦人の出外

回教以外の宗教 國教回教以外のものにして、トルコ政府に承認せられたるもの凡九種あり。即ち其一是ラチン(フランス)教とも加特力教ともいふ)教にして、セノバ及びベネチア人の移住せしもの之を奉じ、其二是ギリシア教、其三是伯爾加里教、其四是アルメニア教、其五是シリア教及びユニナイテッド、チャルヂアン教、其六はマロナイト教、其七は新教、其八は猶太教、其九はネストリア教(アッシリア教)是れなり。而して是等九種の教主は各自の教法に従ひ、萬事を處理し得るの特権あり。

國民の五割は回教を信じ、四割二分は希臘正教を信じ、五分は舊教にして其他の宗教は三分を占む、從來回教徒以外の國民は政治上の権力少なく、外交上の諸問題之より生ぜしもの多し。

政局

國防

政體の基本は回教の經典、コランの教理に依つて創められたるものにして、此教理に乖戾せざる限りに於て、帝意は絶対無限なりき。此他ムールテッカと稱する法律あり。之れマホメットの聖言、並に其他の教旨より成立せるものにして、君民共に之を遵奉したりしが、近年立憲國の伍伴に列せり。土耳其の憲法は、一八七六年露土戦争に先ち、外交政略上急に制定發布せるに基づく。故に直に廢棄せられしが、一九〇八年の内亂に際して再び恢復せられ、以て今日に及べるも、未だ其運用になれず。中央政

府には、スルタンの下に大宰相・各大臣及宗務總長(回教長老)ありて政務を統一す。議會は元老院、代議院より成り、内閣は、首相以下外務・司法・陸軍・海軍・文部・内務・大藏・商工・鑛林農等の諸大臣にて組織せらるれども、爭亂絶えず、國威揚らず。

軍備に關しては、此國は回教徒たるものは、何人を問はず、滿二十歳に達すれば、兵役に徴集せらるゝものとし、應募以後二十ヶ年間は、其束縛を脱する能はざるの制にして、非回教徒は其義務を有せずといへども、之がため免役税を徴せらるゝものとす。兵役の種類は分ちて常備軍・豫備軍・後備軍等とし、其の服役年限に多少の差異あり。最近調査によれば、全國を七軍團とし、各ホルトユスと稱する長官を置きて之を統治す。而して常備兵凡そ四十二萬、有事の日には約百五十萬の兵員を得べしと云ふ。何れも獨逸式の訓練を受けたるものにして、各兵卒の戦闘力は列強の兵士に比して甚しき遜色なしと云ふ。

海軍は其勢力甚だ微弱なるものにして、有効軍艦は僅に數隻あるのみ。而して海兵は徴兵と志願兵との二種あり。現今將校八百餘人、水兵凡そ三萬人ありといふ。

此國は、明治四十四年よりトリポリ問題にてイタリア王國と開戦し、陸軍はトリポリに於て破られ、海軍も亦イタリアに敵すを得ず、形勢非なれども、最近に於て歐洲強國の仲

裁説現はるゝに至れり。

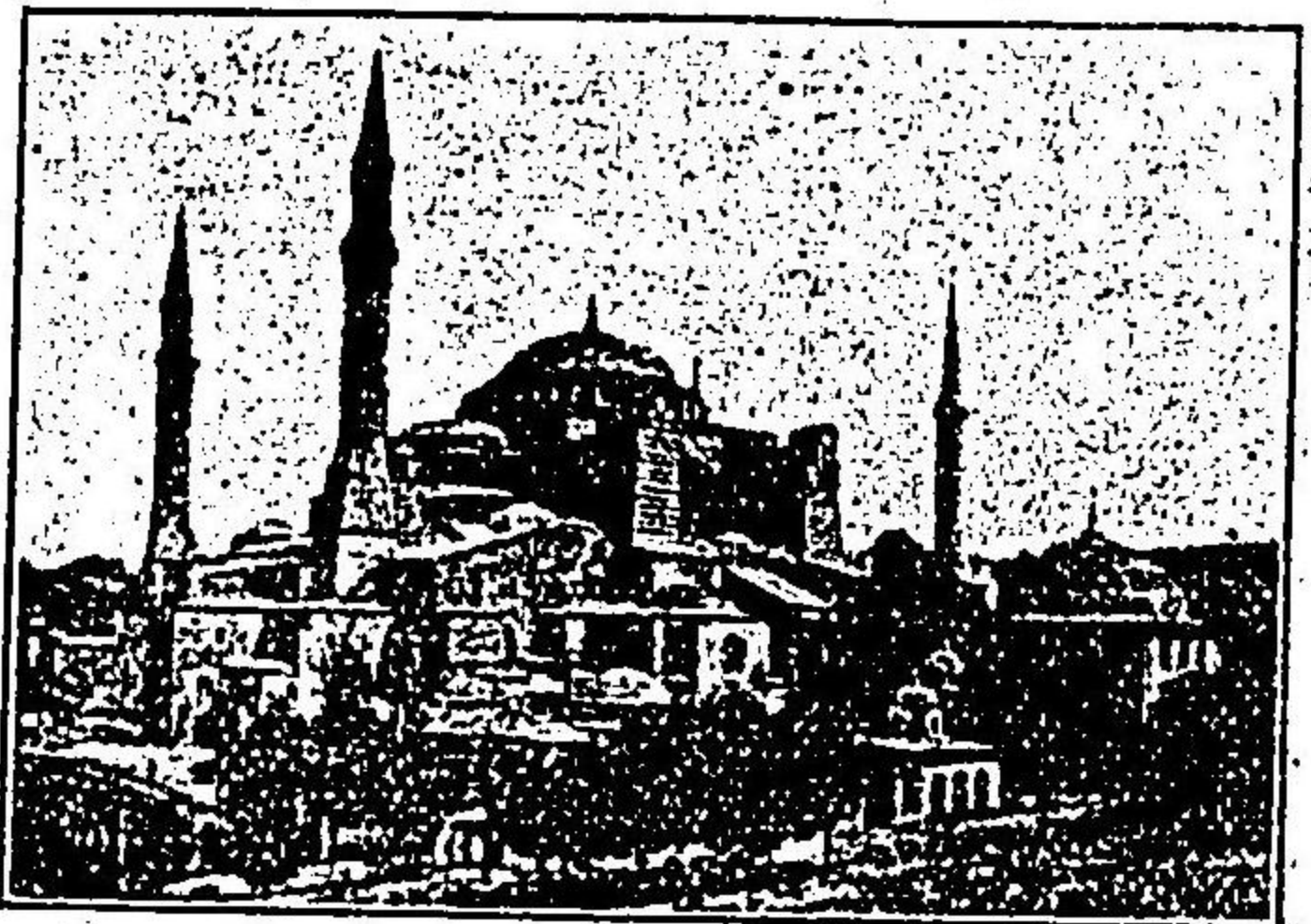
交通 **商港** 交通機關の發達は頗る幼稚なるものにして、内國交通の主要なる鐵道の如きも、ヨーロッパ中には僅に千二百五十哩にすぎず。船舶の如きも甚だ少數にして、汽船風帆船合せて八九百隻、噸數二十五萬噸内外にあり。

外國貿易は比較的巨額に達し、其多くはイギリス・オーストリア・フランス・ロシア・イタリア等二十餘國の間に行はれ、主としてギリシア人・アルメニア人・イギリス人等之に従事す。而して輸出品の重なるものは、葡萄・無花果を始めとし、小麥及び其他の穀類・橄欖油・山羊毛・珈琲・阿片並に生絲・繭等にして、一ケ年凡そ千五百萬磅に達せり。又、輸入品の重なるものは、綿布・砂糖・衣服・穀類及び穀粉・毛織物・米・石油等にして一ケ年凡そ二千四百萬磅に達すといふ。

都會 都邑中名あるものは、首府コンスタンチノブルを始めとし、サロニキ・アドリアノブル・モナスチル・スクタリ等なり。

コンスタンチノブル (君士坦丁堡) 土人古人は之れをスタムブルと稱す。此國の首府にして、ボスポロス海峡の咽喉を扼し、マルモラ海の岸に臨めり。南歐第一の大都にして

Constantinople
Stambul



寺大アイフソトシのルプーノチンダスコ
(りな院寺の教トツメホマ)

人口凡そ百二十萬。各國各地の諸人種相集まり、從て其の容貌服裝等極めて雜多なり。府の周圍は景色頗る明媚にして、皇帝の宮殿は海峡に臨み、自然の美と人工の美と相俟ちて壯觀を極むといへども、市街は廢類して頗る不潔なり。歐洲諸國の大都會中にて、電話、電車、水道等の設備なきは唯此の市ののみ。街路狹隘にして頗る雜踏せり。

此地はヨーロッパアジアの咽喉を扼して、大陸交通の要衝に當れるがゆゑに、商業上・軍事上最も重要視せらるる所にして、列國權力平均上必要なる地點なりといふ。

沿革 此地は西紀前七世紀の頃ギリシア人の建てたるものにして、初めは之をビサンチオンと稱せり。紀元三百二十三年、ローマ帝コンスタンチヌスが帝國を統一して、帝都を此地に移し、コンスタンチノブルと改稱せり。斯くて東ローマ帝國の首府として、幾多の星霜を経たりしが、千四百五十五年五月二十九日、ムハメット二世が指揮の下に、トルコ軍隊の水陸兩面よりの攻撃の結果、遂に陥落し、トルコ人は此處に首府を建設し、セント・ソフィア寺院の屋上には三日月の國旗を翻したりといふ。

Byzance

トルコ 交通、商業、都會

金角港 ボスボラス海峡の南口より西北に角の如く尖りて、コンスタンチノブルに灣入せる入江をいふ。之は全市を分ちて二部となせり。港内水深くして、長さ五哩、幅半哩餘。灣に架せる二大橋は時々閉閉して船艦を通じ、トルコ艦隊は深く港内に碇泊せり。而して橋の南方は即ち舊市街にして、之をスタンブル區といふ、純粹の土耳其市街にして、セントソフイア寺をはじめ多くの寺院の尖塔聳え、風景美しけれども街路不潔にして、大甚多し。其東端に王宮あり、金角港を隔て、マガラタ、ペラの二區あり、前者は銀行汽船會社多く、後者は各國の居留地とす。ボスボラス海峡の東なるスタタリは、行政上、本市に包含せられ、其外廓をなし土耳其人の墓地多し。

セント、ソフイア寺 セント、ソフイア寺院は西方ローマのセント、ピーター寺院と相並びて、東方の大本山たりしものなり。ビザンチオン式の建築中、最大最美のものにして、四隅には四基のミナレット聳え、内部の裝飾は金碧燦爛入目を眩すと云ふ。土耳其人其外部を改築して回教の寺院としたり。此外市中に約三百八十の大寺院あり。

○宗教中毒の國民

此國の國教たる回教では、國王自身が其管長で、寺院に本尊なく、唯宗祖のモハメット一世の墓が、遠くアラビアのメッカにあるので、何れの寺院でも、其中で東方に向つて禮拜式を行ふのみ。其寺院は市中に移しく、到る處鍋を伏せたる様な圓い屋根と、軍艦の橋の様な太い塔とが立つのは、皆回教の寺院で、其中に最も大なるがセントソフイアである。是は東ローマ帝國のコンスタンチン帝の頃に出來たる基督教の大本山であつたのを、アジア洲からトルコ人がモハメット二世に率ゐられ、深夜にボスボラス海峡を越えて、暮地にコンスタンチノブルに進撃して、忽ち之を占領し、爾來其處をトルコの王都としたので、基督教の寺院も屋上の金の十字架を取り毀ちて、其儘回教の本山に改めたのだ。て此寺院は此地第一の大觀であるが、正面が東の方宗祖モハメットの墳墓に向はぬので、微しく斜に席を敷き、教徒は其寺院内に入ると、皆跣足で地上に踞き、正面より稍横向きになつて、三拜し且臥膝して居る。

下略(世界漫遊案内)

《アドリアノブル》 マリツア河の中流にそひコンスタンチノブルの西北、鐵路百九十八哩にあり。此の國第三の大都にして、人口凡そ八萬餘。我岡山市に似たり。オーストリアへの交通上の要衝に當り、商業稍々盛んなり。特に香水の原料たる薔薇油の集散地として有名なり。

此府は其の創建者アドリアン皇帝の名によりて命名したるものにして、紀元千三百六十六年より千四百五十二年まで、此國の首府たりし所なり。而して千八百二十九年には、アドリアノブルの條約を締結し、ギリシア獨立戰爭の局を告げたる所なるを以て史上に有名なり。また交通上及び軍事上重要な地點なれば古來屢々激戰の要にあたり、千八百二十九年露軍に占領せられしことあり。

ギリシアの獨立 千八百二十一年、ギリシア人叛旗を擧げ、トルコの支配を脱して獨立せんことを圖る。エヂプトのイブラヒム、パシヤ、此國皇帝の命を受け、ギリシアを征して其南部を侵略す。遂にイギリス・フランス・ロシアの三國共にギリシアに應援せしかば千八百二十七年、ナポリンに於て、大にトルコの艦隊を破れり。加之ロシアは別に軍をバルカン半島に出し、首府コンスタンチノブルに迫りしが、千八百二十九年、遂にアドリアノブルに於て和議を結び、ギリシアの獨立を承認せしめ、又海峡の自由通航權を得せしめたり。

トルコ 都會

サンステフ
アノ

露土戦争

サンステフアノ コンスタンチノブルの西方敵愾にあるトルコの一僻邑にして、紀元千八百七十八年、露土戦争の條約を締結せし地なり。

露土戦争 紀元千八百五十五年、露帝アレキサンデル二世即位す。クリム戦争の結果によりて、其南下の途大に塞りたりと雖も、トルコ侵略の念は毫も弛まず。斯くてドイツと提携して、全力を盡してバルカン政策に力む。時にトルコ政府の財政紊亂を極め、人民重税に困み、千八百七十五年遂に叛旗を擧げたるに乗じ、ドイツ・オーストリア・ロシアの三國同盟してトルコに迫り、財政の改革を促す。トルコ之を聽かず。ロシア乃ち其宗教及び人民を保護するを名とし、ドイツ・オーストリアの同意を得て、トルコを討たんとし、之をイギリスに謀る。イギリス聽かず。依てコンスタンチノブルを占領せざるを誓約し、漸く其同意を得、千八百七十八年、兵を率ゐてバルカン半島に入る。トルコの將オスマン、パシヤ能く防げども、遂に敗れてアドリアノブルを占領せられ、首府甚だ危し。次で千八百七十八年、サンステフアノに講和條約を締結せり。

(サロニキ) サロニキ灣の灣頭にあり。人口約十七萬、其の二分の一はユダヤ教徒なり。此の國第二の都會とす。穀類綿羊毛等を輸出し、商業上重要な都會たり。

此府は紀元前百三十五年頃の創設にして、聖書中にテッサロニケといふは即ち此の地なり。サロニキは一にサロニカともいふ。

モナスチル
スクタリ

モナスチル バイダー河支流の上流にあり、モロッコ革の製造及び果物の貿易等盛に行はる。人口大約五萬にして、一にビトリアともいふ。

Skutari Monastir

Saloniki

San Stefano

土耳其帝國
の特徵

ア海に出づるを得べく、穀物羊毛果物の貿易盛なり。人口大約三萬あり。

土耳其帝國の特徵 一、ヨーロッパ諸國中最もアジア的大國なること。二、ヨーロッパ諸大國中最も貧弱なる國家なること。三、ヨーロッパ諸大國中最も開化の程度低き國なること。四、歐洲諸國中、人種・言語・風俗等の最も雜然たる國なること。五、世界に於てマホメット教を國教とせる唯一の大國なること。六、歐洲に於て、政教上最も多く國際問題を誘起せる國なること等は此の國の特徵と認むるを得べし。

クレタ島 Crete or Candia

此國は太古、フェニキア及びエジプト等の文化を歐洲に輸入せし仲繼地にして、文化史上注目すべき要地たり。今や表面上土耳其の管轄に屬すと雖も、しばしば外交問題を惹き起し、其結果英・佛・以・露國保護の下に自治制を探るに至れり。

位置 一にカンチア島ともいふ。エーゲ海の南に横はれる細長なる島にして、面積凡そ三千三百餘方哩、我四國の半なり。人口三十萬餘あり。概ねギリシア人にして、ギリシア正教を奉ずるもの八十七パーセントありて、回々教徒は僅に十一パーセントに過ぎずといふ。而して本島は比較的其面積の廣大なると、良好なる港灣に富めると、人口の稠密なると、土地の豊饒なるとを以て附近諸島中殊に著名なるものとす。

地相

富源

長さ百六十哩、幅五哩乃至二十五哩の境域中、一般に山多く山脈は其南

クレタ島 位置、地相、富源

岸に沿ふて東西に連亘し、脈中テオドロ山及びイダ山の高峰ありて、高さ各二千四百五十
十米に達し、殊に後者は鐘乳石を以て名あり。氣候は概して温暖にして、雨量も亦少から
ず。

富源としてあぐべき産物は穀類、橄欖油、葡萄酒、果實等を始めとし、山間には森林よく繁

茂して狼野猪等の動物多く、牧畜亦頗る盛にして、羊、山羊、豚、牛、馬、驢等を飼養せり。

本島の構造

本島の構造 此の島はバルカン半島の西邊を東南に走れるチナルアルプ山系の一部分と考ふべきものにして
地形上一見して、本島とチナルアルプとの間に密接の關係あるを得べく、又其の地質につきて見れば、兩者共
に石灰岩を主とする地體にして、全く同一性質のものなるを知るべし。

都會 其内名あるものは、首府カネア及びカンディアの二にして、何れも人口二萬三四
千にすぎず。

Canen
Candia

政局

本島は元來イギリス・フランス・ロシア・イタリアの保護により、トルコ帝國の主權の下に自治を許さるゝ
ものなれども、島民は常にギリシア王國に合併せられんことを希望し、種々の運動を起せるも成功せず、土耳其の内
亂に乗じて、千九百八年クレタ島議會は、ギリシア王國への合併を決議せしが、其保護者たる諸強國の承認なきを以
て、中止の姿にあり。而して現今行政上の長官は、ギリシア王の第二王子ジョルシ殿下たり。

イダ山の洞穴

山中鐘乳石の洞穴あり。世呼んでゼウス神の創めし所なりと稱せり。

此地は千八百二十二年、ギリシアの基督教徒がトルコ人の迫害にあひ、洞穴中に逃避し、遂にトルコ人の焚殺を被

Zeus(Jupiter)

イダ山の洞
穴

りたる慘事あり。而してギリシアはトルコに對して、本島のキリスト教徒を保護せざりしを名とし、宣戰を布告した
りしも其結果敗北に歸せり。

ギリシア(希臘) Greece

國名

國名 ギリシアなる名は、太古此の地方に住居せしヘルラス人の稱へたる名稱より起れるものにして、舊族若
しくは貴族と云へる義なり。蓋し彼等自からを尊びて名づけたるものなりしが、後世地名に轉じたるものとす。希臘
なる文字は、支那音ヘラ(或はシラ)にして、ヘルラスのヌを略して、音譯したるものなり。

Hellas

此國は三千餘年前に於て、夙に文化の域に達したる古國にして、後ローマの領土となり、更にトルコの領地と變ぜ
しが、當時トルコは、其勢力頗る強大にして、ヨーロッパ・アジア及びアフリカに跨れる廣大なる版圖を所有せり。然
るに其後國力漸く疲弊して、次第にヨーロッパ諸強國の蚕食する所となりたれば、ギリシア人は千八百二十一年を以
て反旗を翻し、遂に全二十九年に至り、獨立の承認を得るに至れり。斯くてパルリアのオットー迎へられて王位に上
り。千八百六十二年に更に革命ありて、丁抹の王子入りて國王となり以て現代に至れり。

位置

バルカン半島の西南隅より、エーゲ海とイオニア海との中間に突出せる一半島
にして、南ヨーロッパに於ける三大半島の一なり。而して北はヨーロッパトルコに接し、
西はイオニア海、南は地中海に、東はエーゲ海に臨めり。東西凡そ六十哩、南北二百哩、
面積凡そ二萬五千方哩にして、我臺灣の二倍より稍小なり。人口凡そ二百六十三萬餘あ

クレタ島 都會、政局、ギリシア位置

り。密度は一方里六百餘人に過ぎず。頗る稀薄なり。

住民 住民全人口の大部分は古代ギリシア人の子孫にして、其の他はアルバニア人リラキア人アルメニア人トルコ人とす。而して其中最も純粹なるギリシア人は、島嶼生活を營めるものに多しといふ。而してギリシア人の特徴と認むべきは、鼻梁のよく發達して、所謂鼻筋のよく通れるギリシア鼻を有せるにあり。其の最も著しきものありては、前額の下部より鼻頂に一直線を設くるに、此の直線と鼻梁との間、殆んど空隙を存せざるものありと云ふ。又頭は所謂圓頭にして、長廣なる額を有し、皮膚は稍黒色を帯び、性美術心に富めりと稱せらる。

區劃 全部分れて明瞭なる三個の地方となれり、北部を北ギリシア、南を南ギリシア即ちモレア半島といひ、其近傍なる諸島を島嶼ギリシアと稱す。而して通例次の地方別によるもの多し。

地方	面積	人口	地方別	面積	人口
北部ギリシア	七、三三三	一、〇〇〇、〇〇〇	テッサリ	五、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
エペイロス	一、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇	總計	二、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇
諸島	一、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇			

地相 全國一般に山岳性を帯び、サレムブリア河及びアプロボタム河の外は殆ど稱すべきものなし。而して國の脊梁とも稱すべきものは、北方トルコより來り、北部ギリシアの分水界をなし、更に南進してモレア半島を中斷し、地中海に入りてクレタ島となるものにして、之をビンドス山脈とす。高さ凡そ二千七百餘米に達せり。ビンドス山脈は多島海の諸島によりて小亞細亞の山脈に連なる。而して多くの島嶼は多島海の陥没に際し残れる

断片なり。

エリアス山 ビントス山脈の餘派にして、モレア半島の南部に位し、古の所謂タイゲトス山脈たり。古典に有名なる山脈とす。

テルモビレー ビンドス山脈の一支山脈は東に延びて海岸に迫る。附近に有名なる間道テルモビレーあり。我が兵庫縣一の谷の隘路に似たり。此地は紀元前四百八十年、スパルタ王レオニダスが、三百の兵を率ゐて、ペルシア王クセルクセスが率ゐたる雲霞の如き大軍を防止せんとして、壯烈なる最後を遂げたる古戰場として史上に最も有名なる所たり。而して後人の建てたる鐵製の獅子像は、長へに其勇名を後世に傳ふ。碑銘に曰く。

「遂行く人よ願くは此事をラケデモーンの人に告げよ、命を守りて我等は此處に燃れたり。」と。ラケデモーンとは即ちスパルタの別名なり。

河流

河流 河流は皆山間の小流たるに過ぎずして、其内稍名あるものは、北部にサラムブリア河とアスプロボタム河あり。サレムブリア河はアスプロボタム河と全くと、源をビンドス山に發し、東流してテッサリーの平原を流れ、サロニキ海に注ぐ。アスプロボタム河は西南に流れ縦谷を成して、コリント灣口に放射せり。又、南方モレア半島にはイリス河及びカストウン河あり。イリス河は一にアシロ河と稱し、半島の中央部より發し、美事なる縦谷をなしてスパルタの傍を過ぎ、ラコニア灣に入る。カストウン河亦半島の中部に發源して北西に流下し、アイカチア灣に注げり。

五石原 沿岸は三面共に海に面し、無數の内海出入して、其狀恰も五指を開きたるが如く、殊にモレア半島の如きは、幾多の内海深く陸地に侵入し、更に數多の小半島に分裂せ

ギリシア住民、區劃、地相、沿岸

エリアス山
テルモビレ

Iris(Vasilo) Salamvria Thygetus
Gastouni Aspropotamo Thermopylae

り。
海岸線は其延長二千哩以上に達し、面積凡そ十方萬哩に對し、海岸線一哩の割合に當れり。世界諸國中最も海岸線に富める地方の一とす。之れ此國が過去に於て、最先文明國として世に知られたる一原因なり。然れども岸は峭壁多く良港は割合に少なし。

半島 半島中最も大なるものは、コリントの大灣と、エギナ灣とによりて成りたるモレア半島なりしが、千八百九十三年、福四哩のコリント地峽の開鑿せられ、コリント運河の成りし以來、兩灣の連絡を圖り、半島は全く島嶼となれり。

アツチカ半島はモレア半島の東にありて、北ギリシアの南端をなせり。

ペロポネソス戦争 ペロポネソスはモレアの古名なり。西紀前四百三十一年より四百四年に至るまで繼續したるアテネ・スパルタ兩國の戦争にして、スパルタ國の勝利を以て戦局を結べり。ペロポネソス半島の戦亂なりしがために此の名あり。

岬角 マタパン岬はモレア半島の最南端に突出せるものにして、其東方にマリア岬あり。西方にガルロ岬あり。其他コロンナ岬はアツチカ島の南端に位せり。

内海及港灣 内海及び港灣の屈曲出入せるもの極めて夥しく、西海岸にはアータ灣・パトラス灣・コリント灣等あり。南海岸にはコロン灣・ラコニア灣・ノーブリア灣(又アルゴス灣)・エーギナ灣等あり。又東海岸にはボロス灣あり。

サラミス灣 サラミス島とアチカ半島との間にある海峽にして、紀元前四百八十年九月テミストクレスの指

- | | | | | |
|--------------------|---------|---------|--------|---------|
| Laconia or Marazon | Arta | Matapan | Attica | Corinth |
| Nauplia | Patorus | Malia | | Agina |
| Volos | Koron | Gallo | | |
| Salamis | Corinth | Colonna | | |

半島
ペロポネソス戦争
岬角
内海及港灣
サラミス灣

抑せし希臘軍が、ベルシア王クセルクスの海軍を撃破したる有名なる古戰場なり。

《島嶼》 近海には島嶼殊に多く、東方エーゲ海の如きは、多島海の稱ある、實に偶然にあらざるなり。而して其内最も名あるものを、ネグロポント島・スポラデス島・キクラデス諸島及びイオニア諸島の四群とす。

ネグロポント島 一にエウボイア島といふ。ギリシア諸島中の最大なるものにして、長さ百哩餘あり。島内人口約八千餘。近年大理石の良坑、鐵及び銅等の諸礦物發見せられたり。

首府をカルキスといひ、タランタ海峽に臨み、本陸と通するには、橋梁によりて連絡すといふ。橋の長凡そ四十ヤード餘あり。

スポラデス諸島 ネグロポント島の東北にある諸島にして、諸島中の最大島をミチレイ島とし、其他スキロ島・ケリズロミ島等あり。

キクラデス諸島 ネグロポント島の南に散布せる諸島にして、アンドロス島・チノス島・メキシア島及びサン

トリン島を其重なるものとし、其形状も泉水に飛石を並べたるが如し。サントリン島は、クイタ島の北にある火山島にして、有史以前の遺跡に富むこと夥しい。又、デロス島は小れども希臘史に有名なり。

デロス同盟 西紀前四百七十七年に、ギリシアの諸國が互に聯合して、ベルシヤに對抗せんが爲めに同盟を結

ギリシア沿岸

- | | | | | |
|----------|----------|----------|---------|-----------|
| Andros | Cyclades | Sporades | Chalkis | Negropont |
| Tinos | | | | Eupuboin |
| Maxia | | | | |
| Santorin | | | | |

スポラデス諸島
キクラデス諸島
デロス同盟

びしが、其の同盟の資庫をテロス島に設けしかば、此の同盟を名けてテロス同盟と云へり。蓋しテロス島にはギリシア人の崇拜甚からざりし、アポロの神殿ありしがため、同盟國の資庫をも此の地に設けたるなり。當時ベルシヤの勢盛にして、屢々西方小亞細亞及びギリシア等に侵入したりしかば、此等の諸國一致協力して、ベルシヤの軍に當り、遂に之を破るを得たり。而して當時アテネは諸國中、最も強盛なりしかば、之が盟主となりき。

イオニア諸島

イオニア諸島 ギリシアの南方及び西方に連れる諸島にして、コルフ島、レウカス島、イタカ島、ケファロニア島、ザンテ島等殊に著名なるものなり。

諸島率ね岩石磊々として、火山性の山岳も亦少なからず、氣候溫和にして、コリント葡萄と稱する一種の葡萄及び橄欖等を産す。

氣候

富源

全國半島若くは島嶼なれば、海風の調和により、氣候頗る溫和にして、平地に雪を見ること少く、降雨は冬季に多く夏季



夫農のアシリギ

に於ては甚しく乾燥し、小河流は率ね涸れ果て、一水を餘さざることすらありといふ。一般に雨量は西岸に多く東岸に少し。首府アテネの氣温は年平均十七度三分、一月平均八度二分、七月平均二十七度なり。之を我東京市の年平均十三度餘、一月平均二度餘、七月平均二十五度に比すれば、頗る溫暖なりとす。

Kephalonia Ionian Islands.
Zante or Zakynthos Corfu
Ithaka
Leucas or Santa Maura.

産物は土地概ね瘠薄なれども、氣候、溫和なるが故に、麥類、煙草、葡萄、橄欖、檸檬、佛手柑、無花果等の果實に富み、又桑樹、綿、茜根等は原野に生ずるもの少からず。殊にアツチカ地方の蜂蜜は古來有名なり。牛、羊、馬の飼育盛にして、橄欖油の製造は國內屈指の工業とす。

此他鑛物の埋藏豐なれども、多くは鑛石のまゝにて輸出せり。特に大理石及び建築用材は其名高く、就中バロス島より出づるものは、肖像彫刻用に適せり。是れ古代に於て此國が彫刻技術進歩せし一原因なりといふ。

文化

普通教育は總て強行就學制をとり、兒童の五歳より十二歳に至るまでのものは就學すべきの制なれども、實際に普及するなし。最近調査によれば、小學校三千二百六十餘校、中學校五十餘校、希臘學校三百餘校、其他商業、農業、商工等に關する中等學校並に師範學校等あれども、何れも其數少し。又、大學はアテネ大學と稱し、學生凡そ二千五百人を收容せり。

宗教は國民の大部分は希臘正教徒にして、其數凡そ百九十萬以上に達し、其他羅馬加特力教凡そ一萬五千人、猶太教六千人、回々教徒二萬五千人、其他の教徒凡そ七八百人なり。

時代と文化

といふ。而して希臘教を以て國教となせども、信教の自由は之を許せり。
時代と文化 太古のギリシア人は所謂歐洲文化の創始者にして、西紀前約一千年の頃より同百四十年の頃迄、凡九百餘年の間は、實に歐洲における文化の中心として、文學・美術等の淵源たりき。然るに其後ローマ人に支配せられ、或は又土耳其人の配下に屬し、種々の壓迫を蒙りて大に衰へ、今や獨立の一國となりたりと雖も、其の文化は、新進諸國の下位に降り、國民の多数は航海貿易に従事して、僅に東部地中海上に餘命を存せるのみ。

民情

民情 國民は一般に伶俐敏捷にして、しかも敢爲の氣象に富み、學術に對する熱心と、航海業に對する努力とは夙に世界の認むる所なり。而して一旦トルコの羈絆を脱するや、國運俄に長足の進歩をなし、諸般の制度漸く備はりて、教育又昔日の比にあらざるに至れり。

ギリシア人の長所

ギリシア人の長所 ギリシア人の、概して愛國心に富めるは事實にして、其の原因は、主として古代希臘盛時の歴史研究に由れりと云ふ。而して其の住所の、國の内なる外たるを問はず、よく本國を愛し、學校・病院・寺院等に、匿名の寄附金をなすもの等頗る多し。此他又ギリシア人の長所として注目すべき所は、文學・商業政治等の才に富めることにして、土國のコンスタンチノープル・スミルナ・埃及のアレキサンドリア及びカイロ等にて大事業を営めるものは多く此の國の人なりとす。唯忍耐に關しては聊か缺くるものゝ如し。

政治

國防

此國は西紀前百四十六年にローマ領となり、千四百五十三年よりトルコの屬國となりしが、千八百二十一年、更に獨立の反旗を翻し、千八百三十年、天保元年漸く其の目的を達して獨立國となり、以て立憲王國を組織せり。斯くて憲法は千八百四十六年の制定に係り、立法權は任期四年の代議士三百三十五名より成れる國民議會に委任せ

り。國王は行政權を握り、首相兼軍務外務内務大藏司法文部農商務の七大臣之を補佐せり。

國防に關しては、國民皆兵の主義にして、二十一歳以上の壯丁は軍役に服すべき義務あり。通例服役年限は現役二年、豫備役十年、國民役八年にして、現今陸軍將校凡そ千九百人、下士卒凡そ二百餘人にして、戦時には十一萬五千人を召集し得べしといふ。

海軍は小戰艦三隻、水雷艇九十隻、其他數隻ありて、兵員は將校下士卒を合せ、凡そ四千人なりといふ。

交通

商業

内國交通に便する鐵道は其延長僅に九百餘哩に過ぎずして、其他工事計劃中のものを加ふるも固より多大なりといふべからず。然れども此國は三面悉く海に瀕し、且つ國民一般が航海術に熟達せるを以て、船舶の航行し得べきもの頗る多く、コリント運河の如きは最も運輸の便を資くといふ。

此國商船の總噸數は、風帆船並に汽船を合せて、總計千三百七十餘隻、四十三萬餘噸に當れり。

商業は航海業の進歩と共に比較的發達し、輸入額一ヶ年凡そ四百五十萬磅に達し、織

物・穀物・砂糖・家畜等を其重要なるものとす。又、輸出品の重なるものは乾葡萄・橄欖油・無花果・蜂蜜・亜鉛・鑽石・家畜等にして、一ヶ年凡そ三百數十萬噸に達せり。

産業 産業の重なるものは、農業及び牧畜の二にして、製造工業としては橄欖油製造の外に未だ見るべきものなし。農産物中名あるものは、麥類・木綿・煙草・葡萄・カラント・橄欖・無花果及び其他の果實等あり。然れども農民の耕作法は極めて幼稚にして、其耕地は全國の二割にすぎず、未だ開墾せられざる地至る所に多し。又、牧畜は馬十萬頭、牛三十六萬頭、羊三百萬頭等あり。

製造工業 製造工業は頗る幼稚にして、稱するに足るものなし。其内稍名あるものは橄欖油製造の外、織物・紙・船舶機械・玻璃・皮革・穀粉・酒精等の製造にして、其他火薬・ダイナマイト・石鹼等の製造あり。工業の中心はピレウスとす。

鑛物 鑛物中名あるものはローリアム・鐵山より出づる 滿鐵鑛・赤鐵鑛・亜鉛鑛・鉛鑛及びユーピア・鐵山より出づる 磁鐵鑛其他所々より採掘せる大理石の石材とす。

都會 國民の多數は小村落に住居するを以て、十萬以上の都會は、唯首府アテネあるのみ。而して一萬以上のものといへども、僅に十餘個に過ぎず。

アテネ アツチカ半島の西側に位し、此國の首府にして、ピレウス港を距ること五哩の

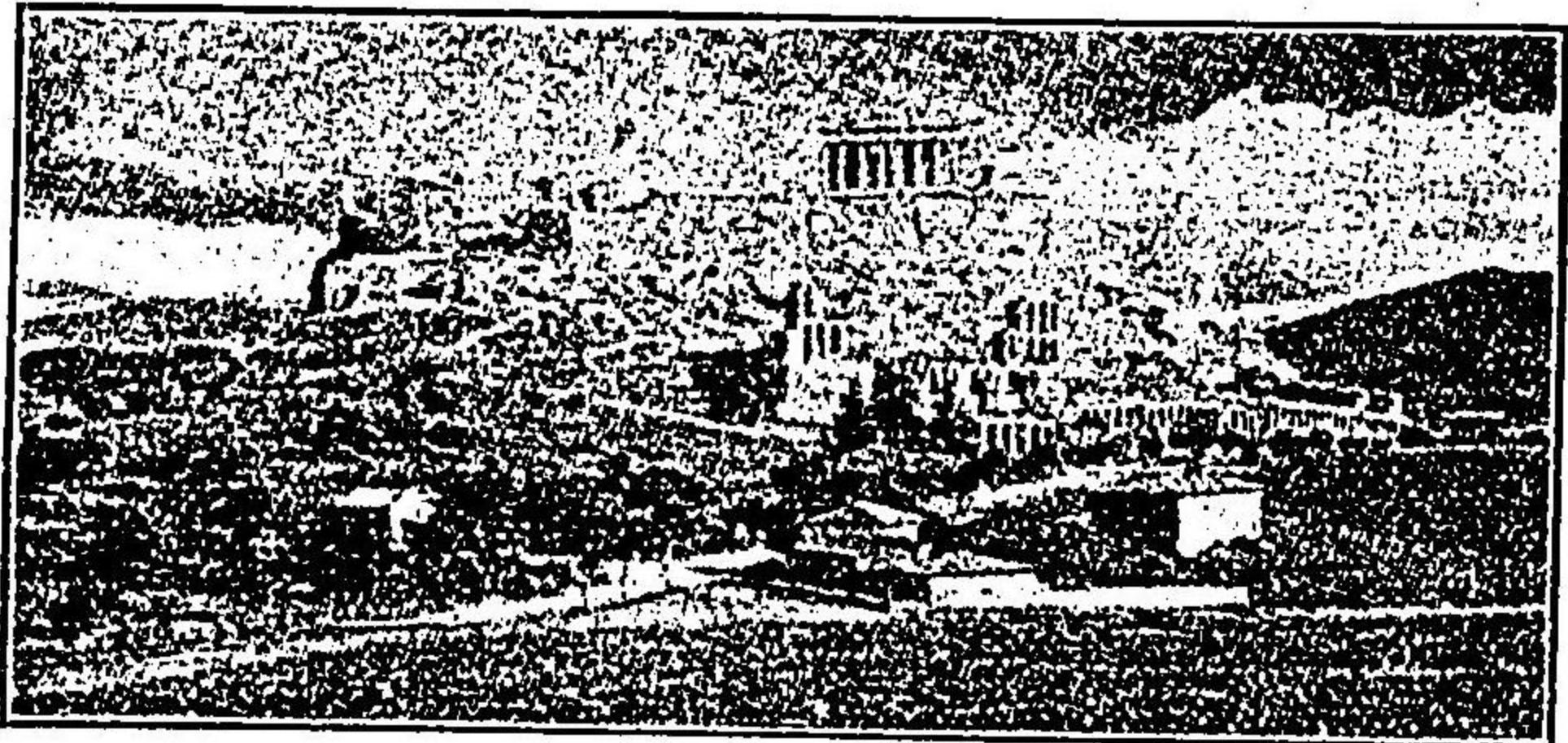
Athens (Athenni)

カラントは
製盆子の種
類なり

製造工業

鑛物

アテネの史
實と遺蹟



アテネ市のアクロポリス

地にあり。丘陵を負ひ、平地に渡り街衢整然として區劃せられ、人口十七萬餘。ギリシア第一の都會たり。

此地往時は單にギリシア樞要の地たるのみならず、ヨーロッパに於ける文藝の要地にして、著名の學者・技術家輩出し、文學美術に於て實に世界に冠たりき。今は壯麗なる王宮・官衙・大學・博物館等あり。有名なるアクロポリスの丘は府の南隅にあり。バルテノンの神殿は大破して觀光の客をして感慨の情に堪へざらしむ。

アテネの史實と遺蹟 此地はもとペラスギイ人住居して、堡砦を設けし所なりしが、後イオニア人侵入して遂に取て是に代れり。其後次第に發達して繁榮を加へ、ペルシアとの交戦中デロス同盟成りし後は、其の盟主となり、各種の神殿を始め幾多の紀念建築を爲し、所謂アテネの『黄金時代』を現出せしが、ペロポネサス戦役後は大に衰頹に歸せり。然るに近世ギリシアの獨立と共に再び新市街の發展を見、市區改正施行せられて面目を一新せり。而して幾多の遺蹟中最も著名なるは、古城砦なるアクロポリス・アテネの神殿なるオリンピオン・其他劇場・演藝場・紀念門等にして、何れも大理

ギリシア 産業、都會

ギリシア古建築の特徴

石を主材料として建築せるものとす。

ギリシア古建築の特徴　ギリシアは歐大陸中の古國たるがため、幾多の古建築を有せり。今其特徴をあげれば、第一に柱を以て建築を表現せんとせしこと之れなり。第二に大理石を主材とせしこと之れなり。而して大理石を主材とせしは、たゞ各地に良質の大理石産地ありしが爲めにして、アテネの附近には、有名なるペンテリコン山及びパロス山の二大産地あり。又柱によりて建築美を表現せんと力めし結果。遂にドリア式、イオニア式、コリント式の三様式おこるに至れり。

ソクラテス　ギリシアの大聖人にして紀元前四百六十九年アテネに生れ、孔夫子と略同時代とす。一生涯アテネの外に出でず。短優、醜面なりしも性極めて賢良なり。其質朴と剛直とは、死を以て通るも動かす能はず。當時論辯學派隆盛にして、巧に辯を弄して世道人心を亂すを見、之を救済せんとして市街に出て、道を説き、官達の怒にふれて死刑に處せられぬ。プラトンは其弟子なり。『汝自身を知れ』とはソクラテスの一命言とす。

プラトン　ギリシアの大哲學者にして、ペリクレスの死したる年、アテネに生る。貴族の出にして、二十歳の時出てソクラテスの弟子となり、八年間其門下にあき。斯くて三十歳の時アテネを去り、諸國を周遊して。ピタゴラスの弟子となり、大に得る所あり。四十歳にしてアテネに歸り、學校を開く、アリストテレスも亦其門下生の一なり。生涯獨身を以て終りしが、思想を繼續せし門生は極めて多数なり。今世に行はる、プラトン全集は其の著を輯成したるものなり。子思と略同時代の人とす。

アリストテレス　父はマケドニア王の侍醫たり。今の土耳其の南岸レナナ海に臨めるスタギラに生る。幼にして孤となり。十七歳の時出て、プラトンの弟子となれり。之に接すること二十年、後マケドニア王フィリッポスに其子亞歷山大王の教育を托せられたり。實に古今獨歩の大哲學者にして、其智識極めて該博深遠、後世諸學の祖と敬

Aristoteles Stagira
Platons
Socrates
"Know thyself"

稱せり。月蝕を觀測して地球球體説を唱へたるが如きは氏の一卓見とす。晩年不遇にして西紀前三百二十二年エウボイア島のカルキスに客死せり。支那の曾子と相近き時代の人とす。

（ヒレウス）アテネの外港にして、相距ること西南僅に五哩、彼のテミスト、クレス及びペリクレスの創設經營せし所にして、其當時は實に世界無比の軍港たりき。又、其長城はアテネと續きをりしが、ペロポネソス戰の終に、スパルタ人に破壊せられ、港も亦西紀前八十六年ローマの將スルラの爲めに破壊せられしが、千八百三十五年再建せられたるものなりといふ。人口凡そ七萬。國中工業最盛なる所にして、又此國第一の貿易港として、當國貿易の大部分は此港に行はる。東北西の三面は陸地を以て圍まれ、南に向て開口せり。地形優秀の良港なり。

馬拉トン　アテネの東北凡そ三十二哩、アツチカの一村なり。西紀前四百九十年九月十三日、ミルチアデスの督せしアテネ軍僅に一萬人及び、プラターエー軍一千人が、ダチズ及びアルタフェルネスの指揮せし、ペルシア軍十一萬の大兵を撃破し得たる古戰場にして、希臘人の勇敢なるを證すべき地たり。此の役アテネの戦死者僅に二百。ペルシア兵の死傷實に六千の多きに及べりといふ。アテネ戦役者の古塚今猶存せりと。

馬拉トン競走　馬拉トンに於て、アテネ軍の奇勝を傳するや、ミルチアデスは兼て、健脚疾驅を以て國內に勇名を轟せるフィッピアデスを召し、其の勝利をアテネに報せしめんとせり。フィッピアデス命を蒙りて勇躍直にアテネに向ひ、飛鳥の如く電の如く二十餘哩の山河を疾驅し、勝敗如何と氣遣ひ居たりしアテネに至り、『我軍勝てり』

ギリシア都會

Marathon

馬拉トン競走

と報告するや、奮むべし勇士は力盡きて其儘命を絶てり。後世其の忠勇を記念せんがために、長距離競走を行ひ、之をマラトン競走と稱せり。

サラミス アツチカの西北に當り、エーチナ海中の一島嶼たり。本島と大陸との間にある海峡は紀元前四百八十年、ペルシヤ王クセルクセスの海軍がアテネ、スパルタ・コリントの聯合軍のために、撃破せられたる有名古戰場なり。

Salamis

《コリント》 コリント海峡のコリント灣頭にありて人口僅に二萬餘。其の西十二三哩に舊コリントあり。古代に最も繁榮せる商業地たりしが、今僅に其遺迹を存するのみ。

Corinth (Korinthos)

コリントの海峡は長さ三哩半、深さ二十六呎の運河を開鑿して之を横斷せるを以て、航海の船舶はモレア半島を迂迴するの不便なく、直にエーゲ海よりイオニア海に通ずるを得べし。

Argos

アルゴス

アルゴス コリントの西南二十五哩、アルゴリス州の首府にして、ギリシアの歴史に於て有名なる地なりしがスパルタの爲めに漸次衰亡に陥られ、今は人口僅に九千餘を有するのみ。

Patras

《パトラス》 モレア半島の西北隅パトラス灣岸に位する良港にして、人口凡そ四萬あり。コリント灣の西口を扼し、舟行便にして橄欖油・乾葡萄酒・石炭・葡萄酒等の輸出多し。市は近世紀再興せられたるものにして美麗なり。

ノトブリア パトラスと共に、モレア半島に於ける良港にして、此國商業上の一大重要地なりとす。

ミノロンギ パトラス灣の北岸に臨める港にして、詩人バイロンの逝去地として有名なり。

ノトブリア
ミノロンギ

バイロン

バイロン イギリスの大詩人なり。素行修らざして人望を失ひしが、極めて熱情の人なりき。始めギリシア・アトルコ・イタリヤ等を旅行し、後千八百二十三年、ギリシア獨立戦争の起るや、歐洲文明の擁護たりし、ギリシアの一大事を、傍觀するに忍びずとなし、筆を投じて鋳を携へ奮て其軍に投じ、翌年病を得て遂にミノロンギに死せり。チルデハロルド以下名著頗る多し。

Byron

《スパルタ》 一にラケデモンといふ。ペロポネッス半島のイリス河(又ヴシロ河)の上流地方に位し、ラコニア州の首府たり。

Sparta

此地海をさること二十哩、周圍に城壁なく、常に市民の勇氣によりて護衛せられたり。

此市の傳説上の建設者は、ラケデモンといひ、彼は其妻の名によりて、スパルタと名けしといふ。ヘレンの夫メネロースは最初の王なり。リコルゴスなるもの新定の法律を建て、侵略を以て其政策とし、ペロポネッス戦争の終に至るまで、其勢力漸次増加し、一時は全半島に覇を稱したりしが、僅に三十餘年にしてマケドニアのために征服せられたり。

Lykourgos

新舊スパルタ

新舊スパルタ 現今のスパルタは、西紀千八百三十四年に建置せしものにして、イリス河上流の右岸にて、史上に有名なるタイゲトス山の東北平地にあり。舊スパルタも亦此の地に在りしものにて、其の規模新スパルタよりも遙に廣大なるものなりき。市の北側にはスパルタの勇將レオニダスの墓あり。千九百六年英國の史家等舊スパルタ研究の爲め、此の地を發掘せしが其の事迹未だ明かならず。

リコルゴスの新法 リコルゴスは紀元前九世紀の頃に出たる、大政治家なりと稱せらる、神話的人物なり

ギリシア都

リコルゴスの新法

リ。傳ふる所によれば、彼は王族の家に生れ、クレテ島及び埃及等に至りて各種の制度を研究し、後歸國して、大に國王を輔佐し、極端なる勤儉尙武主義の制度を立て、國人の教育は凡て國家の手にて行ふこととし、所謂スパルタの武斷教育を實施し、其の結果遂に精銳無比の軍國を現出し、ペロポネッス半島の覇權を掌握するに至れり。

デルファイ

デルファイ コリント灣の北岸なるサロナ灣斜面の内地にある小邑なれども、アポロの神殿ありてギリシア屈指の聖地として崇拜せられ、古來神事に關して、歴史上並に文學上最も著名の地とす。

〔ラリッサ〕 北ギリシアに於けるテッサリー州の首府にして、サラングリア河の下流、右岸にあり。全市砂土より成る。農産地の中心市場にして、穀物・橄欖・葡萄の取引盛なり。人口凡そ一萬八千。ギリシア大僧正の居る所なり。

ファルサル

ファルサルス テッサリー州の舊都會にして、ラリッサの南二十三哩にあり。

附近には紀元前四十八年八月九日、ケーザルが歩兵二萬二千及び、騎兵一千を以て、ポンハイウスの歩兵四萬五千及び、騎兵七千を撃破せし有名なる古戰場なり。

Pharsilus

Larissa Delphi

ギリシアの特點

- 一、世界諸國中最も海岸線に富める邦國の一なること。
- 二、歐洲大陸の南端國にして、歐洲中氣候最も溫暖なること。
- 三、歐洲中最も古く開けたる國にして、而かも今のギリシア帝國は比較的近代に於て成立せし國なること。
- 四、國民伶俐にして、愛國心に富み、且文學、美術等に長ぜざること。歐洲諸國中屈指の國民なること。
- 五、ギリシア人のギリシア鼻は、人種學上おもしろき現象なること。等は此國の特點として算ふるを得べし。

ローマニア (羅馬尼) Roumania

此國は十九世紀以前に於ては、古代のモルダビア・ワラキアの二州にして、トルコの管轄に屬したりしが、千八百五十九年相合して一主權の下に服し、千八百六十一年侯國となり、遂ぎて千八百七十七年露土戦争の時全然獨立を宣告し、翌千八百七十八年明治十一年の、ベルリン條約第四十三條によりて其獨立を確認せられ、同八十一年に至りて王國となりて今日に至れり。

〔位置〕 ヨーロッパの東南に於ける一立憲王國にして、東は黒海に臨み西はハンガリアに接し、東北はドナウの一支流アルト河によりてロシアに連り、南はドナウの本流によりてブルガリア及びセルビアと境せり。國の輪廓は恰かも琴柱を倒したるに似たり。面積凡そ五萬餘方哩、我朝鮮の半より稍大なり人口凡そ六百八十萬にして一方里約八百十餘人の密度を有せり。

〔住民〕 人口六百八十萬中二割五分の非ローマニア人を除く外、皆古代ローマ殖民の後裔なるローマニア人なり。ローマニア人は各種族の混血族にして、皮膚薄黒く、毛髮、眼睛亦黒し、體軀長大にして、態度頗る優雅なり。概して佛國風を好み、一般に農業に従事し、婦女は大膽的にして男子よりも勤勉なり。非ローマニア人中の著しきものは、ユダヤ人二十七萬、ジブシー人二十萬、スラブ人八萬五千、ドイツ人四萬、ハンガリア人三萬等なり。

ジブシー人

ジブシー人 アジア西部より歐羅巴・南北亞米利加・澳洲等に散在せる、由來不明なる一種の漂泊種族にして、

ローマニア 位置、住民

Gypsies

ローマニアに最多し。ドナウの下流に旅行せるものはローマニアの諸港に之を見るべし。ツプシー人は馬車を家とし一所に永く止まるを欲せず、好んで各地を彷徨せり。性音楽を好み之に巧なるもの多し。ジプシーなる語はエヂプチアンスなる語の頭字を省きたるもの訛音なりとす。是れ彼等は、元、エジプト人なりとの俗傳に基けるものなり。

地相 國の西方ホンガリアの境には、カルパチア山脈及びトランシルヴァニアアルプ山脈あり。又、東岸黒海の沿岸にはドブルツチアの高臺地あり。而して其中間にはモルダウイアの黒土臺地と、ワラキアの平地とありて、ドナウ河は之が大動脈をなせり。即ちワラキアにはトランシルヴァニアアルプ山脈より流出する數多の支流あり、モルダウイアにはセント及びブルートの二支流ありて、地味は一般に肥沃にして耕作に適せり。

ドナウ河(多瑙河) 源をドイツなる黒森に發し、オーストリア、ホンガリアの平原を浸し、其諸水を集めてトランシルヴァニアアルプ山脈を横斷し、有名なる鐵門を過ぎて此國に入り、ブルガリアとの境を東流し、更にドブルチア高原の爲めに其方向を轉じて北に屈曲し、セント河及びブルート河の水を呑み、再び東流して黒海に注ぐ、水源より流程凡そ一千八百哩、灌溉交通共に其利甚だ多く、南歐羅巴中最も重要なる河流にして、北歐のライン河と相對して南北の巨流たり。

ドナウ河口

ドナウ河口 ドナウ河口は沼澤多き三角洲の間に入り、幾多の腕となりて黒海に注げり。其の主なるもの三

Danube
Wallachia
Sulina
Pruth
Dobruja
Moldavia
Egyptians

ドナウ河と諸條規

あり。即ち北支をキリアロと稱し、全水量の二十七分の十七、中支をスリナロと稱し、全水量の二十七分の二、南支をキドリリスロ又はセントゼオルヂロと稱し、全水量の二十七分の八を排泄す。而して中央は其水量の點に於ては最も小なれども、航通の上に於ては最も便利多しといふ。

ドナウ河と諸條規 ドナウは千八百五十六年巴里會議の結果、其支流と共に自由航行を許され、英佛露獨逸伊土等七國の委任せる國際委員會の管轄に屬し、又千八百七十八年の伯林會議によりて鐵門以下を中立地とし、一切の武備を撤し軍艦の航行を禁止せり。而して此の河を通行する船舶より徵收する税額は、年々六萬磅以上に達すといふ。此等は皆上記の委員會の收入となるなり。

支流 此國に屬するドナウ河支流の重なるものは、アルト河、ゾンホブイッア河、ナロミツツア河、セント河、ブルート河等にして灌溉の利又少からずといふ。抑此の河の支流は總計約四百條に及び、其四分の一は何れも舟を通ずるを得べく、今や鐵門の險と雖も、吃水九呎の船舶は自由に上下するを得るの改修を加へたり。

氣候 氣候は大陸性を帯び、寒暑共に激烈なり。之れバルカン半島の南部は、

海洋の影響を受け、溫和なるべき筈なれども、本國は南にバルカン山脈ありて、海を渡り來る氣流を遮斷するによるものなり。而して西部地方は一般に樹木よく繁茂し、平原は牧場若くは耕作に適し、地味の肥沃なること、歐洲の第一位にありといふ。

産物には各種の穀類、殊に小麥稗麥・大麥燕麥・玉蜀黍等多く、又、葡萄・梅等の果物及び煙草等にも富めり。牧畜には牛羊馬等ありて肥沃なる牧場に飼育せらる。食鹽及び石

Pruth
Alto
Dambovitsa
Yalomitsa
Sereth

Kilia
Sulina
St. George.

イマニアに最多し。ドナウの下流に旅行せるものはローマニアの諸港に之を見るべし。ツプシー人は馬車を家とし一所に永く止まるを欲せず、好んで各地を彷徨せり。性音楽を好み之に巧なるもの多し。ジプシーなる語はエヂプチアンスなる語の頭字を省きたるもの訛音なりとす。是れ彼等は、元、エジプト人なりとの俗傳に基けるものなり。

地理

國の西方ホンガリアの境には、カルパチア山脈及びトランシルヴァニアアルプ山脈あり。又、東岸黒海の沿岸にはドブルツチアの高臺地あり。而して其中間にはモルダウイアの黒土臺地と、ワラキアの平地とありて、ドナウ河は之が大動脈をなせり。即ちワラキアにはトランシルヴァニアアルプ山脈より流出する數多の支流あり、モルダウイアにはセルト及びブルートの二支流ありて、地味は一般に肥沃にして耕作に適せり。

ドナウ河(多瑙河) 源をドイツなる黒森に發し、オーストリア、ホンガリアの平原を浸し、其諸水を集めてトランシルヴァニアアルプ山脈を横斷し、有名なる鐵門を過ぎて此國に入り、ブルガリアとの境を東流し、更にドブルチア高原の爲めに其方向を轉じて北に屈曲し、セント河及びブルート河の水を吞み、再び東流して黒海に注ぐ、水源より流程凡そ一千八百哩、灌溉交通共に其利甚だ多く、南歐羅巴中最も重要なる河流にして、北歐のライン河と相對して南北の巨流たり。

ドナウ河口

ドナウ河口は沼澤多き三角洲の間に入り、幾多の腕となりて黒海に注げり。其の主なるもの三

Danube
Wallachia
Seleth
Prnth
Dobrudja
Moldavia
Egyptians

ドナウ河と諸條規

あり。即ち北支をキリアロと稱し、全水量の二十七分の十七、中支をスリナロと稱し、全水量の二十七分の二、南支をキドリリス口又はセントゼオルチロと稱し、全水量の二十七分の八を排泄す。而して中央は其水量の點に於ては最も小なれども、航通の上に於ては最も便利多しといふ。

ドナウ河と諸條規 ドナウは千八百五十六年巴里會議の結果、其支流と共に自由航行を許され、英佛露獨埃伊士等七國の選任せる國際委員會の管轄に屬し、又千八百七十八年の伯林會議によりて鐵門以下を中立地とし、一切の武備を撤し軍艦の航行を禁止せり。而して此の河を通行する船舶より徵收する税額は、年々六萬磅以上に達すといふ。此等は皆上記の委員會の收入となるなり。

支流 此國に屬するドナウ河支流の重なるものは、アルト河・ツンホプイア河・ヤロミツツア河・セント河・ブルート河等にして灌溉の利又少からずといふ。抑此の河の支流は總計約四百條に及び、其四分の一は何れも舟を通ずるを得べく、今や鐵門の險と雖も、吃水九呎の船舶は自由に上下するを得るの改修を加へたり。

氣候

氣候は大陸性を帯び、寒暑共に激烈なり。之れバルカン半島の南部は、海洋の影響を受け、溫和なるべき筈なれども、本國は南にバルカン山脈ありて、海を渡り來る氣流を遮斷するによるものなり。而して西部地方は一般に樹木よく繁茂し、平原は牧場若くは耕作に適し、地味の肥沃なること、歐洲の第一位にありといふ。

産物には各種の穀類、殊に小麥稗麥大麥燕麥玉蜀黍等多く、又、葡萄梅等の果物及び煙草等にも富めり。牧畜には牛・羊・馬等ありて肥沃なる牧場に飼育せらる。食鹽及び石

Prnth
Alto
Dumbovitsa
Yalomitsa
Sereth
Kilia
Sulina
St. George.

炭石油等の礦物も近年次第に採掘せられ、將來有望の産物たるやの傾あり。又山地よりは良材を出す。

産業 産業の重なるものは、農業及び牧畜の二にして、都會地には多少小規模の製造業行はるといへども、未だ幼稚にして殆ど稱するに足るものなし。

政局 **國防** 政體は立憲君主制にして、憲法は千八百六十六年の制定に屬し、國王は元老院及び代議院よりなれる議會によりて協翼せらる。而して元老院は總員百二十名任期八ヶ年にして、代議員は百八十三名、任期四ヶ年なり。又内閣は國王の任命による八人の大臣より成りて、行政事務を處理す。

軍備に關し、男子は一般に二十一歳より四十六歳までの間は軍役に服するの義務あり。常備軍は中央及び地方に分れ、平時に於ける中央軍の兵員は將校凡そ三千五百人、兵卒六萬餘人、馬匹二萬五千餘頭にして、地方軍の兵員は士卒七萬人、馬匹七千五百頭なり。而して戰時には將校凡そ四千人、士卒十七萬人、馬匹四萬三千餘頭を得べしといふ。海軍は裝甲巡洋艦一隻、練習艦一隻、砲艦七隻、海岸防禦艦六隻、報知艦一隻、一等水雷艇六隻、二等水雷艇二隻より成り、總計二十數隻に過ぎず。

文化 教育は近年に至り、無月謝強制主義を採用したれども、進歩極めて遅くたるの概あり。全國に於ける小學校數四千餘校、師範學校中學校高等學校等百餘校ありて、大學はブカレスト及びジャッシーとの二校あり。宗教は最も勢力あるものをギリシア正教とし、其の信徒凡そ五百五十萬人あり。之に次げるはローマ加特力教十五萬人、新教二萬三千、ユダヤ教二十七萬、回教四萬五千等なり。

交通 **商業** 鐵道の敷設延長は凡そ二千哩にして、是等は主として内地の交通に使用せらる。船舶は其數凡そ三百八十隻約八萬噸にして、内七十隻は汽船に屬せり。外國貿易中輸出品の重なるものは、穀物・礦物・燃料特に石油・木材・家畜等にして、輸入品の重なるものは、織物・金屬製品・化學製薬品等なり。穀物の多量は英國に向ひて輸出せらる。

都會 首府ブカレストの外に、大都會と稱すべきものなし。ガラツ・ブライラ・ヤッシ等稍々盛なるものなり。

ブカレスト 國の殆んど中央に位し、ドナウ河の支流デンバツィア河の左岸に立ち、沼澤性平原の上にある。西ヨーロッパ諸國の都市と同型にて、南ヨーロッパに於ける都會中美麗なるもの一たり。人口凡そ二十九萬餘。製造業稍盛なり。此地はローマニアの政治上、學術上及び交通、商業上の中心點にして、大學・寺院・博物館・圖書館等の宏壯なる建築物多く、取引の最も盛なるは、穀類・材木・羊毛・食鹽及び蜜蠟等なり。

ブカレストはドナウ河の中流に臨める國內重要の商港にして、穀物の輸出殊に盛なり。此地はブルガリ

ローマニア 産業、政局、國防、文化、交通、商業都會 八四五

アのルスチエク港とドナウ河を隔て、相對し、鐵道は首府ブカレスト及び其他の都府に通じ、水陸の交通頗る便なり。
〔ヤツシ〕 モルタビアの重要な都會にして、ブルイト河に近くロシアのウングエニーと近接せり。大學其他の設あり。人口凡そ八萬。ブカレストに次て國內第二の大都とす。商業盛にして、其の三分の一はユデア人なりといふ。

〔ガラツ〕 首府ブカレストの東北百六十六哩、ドナウ吐口の一なるスリナ河口を距ること八十哩にあり。人口六萬餘。我界市と畧同大の都會にして、此國第一の貿易港たり。穀類の輸出頗る盛なり。ドナウ河航路監督委員の官廳は此地にあり。

此他の都會 ブロエヌチはブカレストの北方約四哩にありて果物の中心市場をなし、ブライラはガラツの南四十哩、ドラウ河に臨み、クステンヂは黒海に臨める良港をなし、鐵路にてドナウ河の河港チエルナロダに通ず。

ブルガリア (伯爾加里) Bulgaria

此國は第七世紀の中頃より獨立の一王國たりしが、第十四世紀の中頃に至り、ハンガリア人の爲めに併吞せられ、奪ぎて千三百九十二年よりトルコ人の掠奪する所となれり。斯くてトルコの虐政甚だしく、遂に千八百七十七年及び全七十八年の露土戦争を惹起せり。而して該戦争後、千八百七十八年のベルリン條約は此國をトルコより分割し、一個の自治の屬邦となし立憲君主制を布くに至りたり。東ルメリアと共に、一政府の下に合併せられたれども名義上はトルコの附屬國として、トルコ帝國の公債の若干部を負擔せり。千九百八年明治四十一年土耳其の革命に際して其十

Ploieshti
Braila
Kustenji
Chernaroda

Galatz

Jassy Rnstebuk

此他の都會

月五日を以て獨立を宣言し後土耳其及び列國の承認を得、今や全く獨立の立憲王國となれり。

〔位置〕 ローマニアとトルコとの間に介まりて、黒海に臨める略長方形の一王國なり。

北はドナウ河に依りてローマニアに對し、西はセルビアに境し、南はトルコのアドリアノ
トブル州に接し、東は黒海に限らる。面積凡そ三萬八千餘方哩。我本州の半に足らず。人口凡四百三十萬あり。

〔住民〕 八割弱のブルガリヤ人の外に、著しき種族は土耳其人五十一萬、ローマニア人九萬、ギリシア人八萬、ジプシー人八萬等なり、ブルガリア人はセルビア語を用ふ。

〔地相〕 バルカン山脈は國の中央に横はり、西方セルビアの國境より、殆んど一直線をなして黒海沿岸エミネー岬に没せるが故に、地勢分れて南北の二部となり、北はドナウ河の流域に屬し、南はマリツツア河の流域に屬せり。山脈の北面は傾斜緩なれども、其南面は之に反して急傾斜なり。高峰ユムルンクトシャルは其中に聳ゆ。一般に五千尺以下の低き山脈なれども、西半は比較的高峻にして、東半は稍低く、其の東端黒海に没する所のエミネー岬は、約二千六百尺の高さを示せり。脈中にシブカ越及びトラヤンの門と稱する峠路あり。其他の通路には言ふべきものなし。

Eminch

ブルガリア位置、住民、地相

シブカ

イスカー河・ヤントラ河は北流してドナウ河に入り、カムチク河は東流して黒海に注ぎマリツツア河及び其支流ツンヤ河は山脈の南面に發してトルコに入り、エーゲ海に朝せり。シブカ 東ルメリアよりブルガリア本部に通ずる、バルカン山脈中の急峻なる峽路にして、海拔約四千三百二十呎、本山脈の殆んど中央部に位し、トラヤンの門の東にあり。其南麓には人口約五千を有する同名の一小村あり。之をシブカ峽路の入口となす。

此地千八百七十七年明治十年八月露軍の堅守なる所となり、トルコ軍は強烈なる突撃を以て攻めしが、遂に成功せざりし有名のお古戰場なり。

沿岸 此の國南西北の三面は、他の國土と境を接すれども、唯東縁のみは黒海に臨めり。海岸平地に乏しく、又著しき港灣なし、獨りブルガス灣は同名の港市を有し、マリツツア河の流域と鐵道を以て連絡し、稍注目すべき所とす。

氣候 **富源** 地勢南北の二部に分るゝを以て、氣候も自ら二部に分る。即ち東ルメリアはトルコの氣候と同じく溫和快適にして、降雨も適度なれども、ブルガリア本部は、寒暑の差甚だしく降雨の量少し。

産物は土地一般に豊饒なるがゆゑに、小麦米及び其他の穀類に富み、山地には葡萄・煙草・薔薇の産多く、又養蠶稍盛んに行はる。牧畜業に關しては又牛及び羊・山羊・馬等の牧養盛

Isker. R.
Jantra. R.
Kamtchik.
Tunja R.
Sbipla puss

なるを以て、羊毛・獸脂・バター・チニス・皮革の産少からず。鐵及び石炭の埋藏頗る多しといへども、未だ採掘の運に至らず、又製造物の主なるものは、毛織物・葡萄酒・生糸等なり。然れども交運の便未だ十分ならざるを以て、利源の開発盛ならず。

産業 産業の重なるものは農業にして、牧畜之に次ぐ。製造工業は未だ幼稚なれども、其中稍々名あるものは毛織物・葡萄酒・煙草・生糸等にして、薔薇香油の製造亦頗る見るべきものあり、小麦其他と共に輸出せらる。

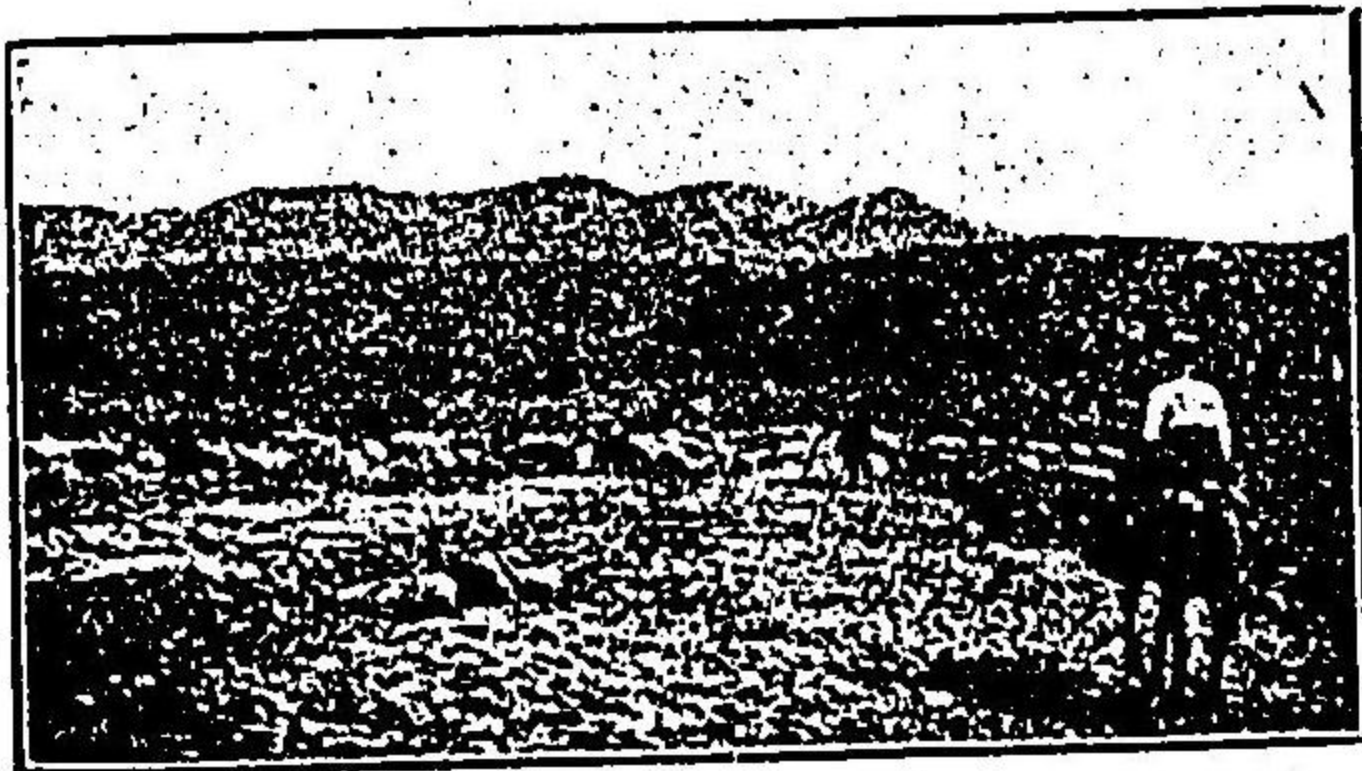
政局 ブルガリアは名義上トルコ附屬の一公國なりしが、千九百八年即明治四十一年十月五日獨立を宣言して一王國となり、翌四十二年四月二十三日列國の承認する所となれり。其の立法權は國王及び國會に屬し、行政權は國王の任命せる八名の大臣之を施行す。軍備に關し、陸軍は常備兵凡そ六萬人にして、戰時は更に二十萬人以上を召集し得べしといふ。而して海軍は、極めて微々たるものにて言ふに足らず。

文化 教育は無月謝にして、義務教育制をとれども、未だ普及せざる傾あり。小學校は全國に四千五百餘校あり。又、中等學校は其數凡そ三百八十餘校にして、大學はソフィアに一枝あるのみ。

宗教はギリシア正教を以て國教とし、全國住民の八割三分即三百三十五萬は之を尊奉し、其他六十萬人は回教、三萬八千人はユダヤ教、三萬人は加特力教、一萬三千人はアルメニヤ教なりといふ。

民情 ブルガリアは所謂小地主の國にして、全國にて四萬ポンド以上の財産を有する富豪は僅に數名に過ぎず、ブルガリア 沿岸、氣候、富源、産業、政局、文化

民情



野荒の合田片アリガルブ

二千ポンド以上の者亦僅に五十人内外なりと云ふ。此の如く富の程度大ならざるが故に、農民の生活程度も極めて低く、唯麵粉を喰ひ水を飲み、飲酒喫煙を嫌ひ、衣服は手製の羊皮服にして、起居就寝常に之を縫ひ、其寢室とても土間に藁を布けるのみにて、市中にても別に寢室の設けなく、家族一間に雑臥し、婢僕等は茶處に寝るの有様なりと云ふ。されば英人などが此の國に來りて、大規模なる營業を開始することあるも、人民に購買力なき爲め概ね失敗に終ると云ふ。併し乍ら教育事業にはなかく熱心にして、人民は之によりて官途に就かんとするの風ありと云ふ。

都邑 都邑中名あるものはソフィアにして、其他は殆ど稱するに足らず。

〔ソフィア〕 國の西部低野に位し、ドナウ河の支流、イスケル河の流域にあり。此國の首府（千八百七十八年以來）にして人口凡そ八萬三千。近年改築したる大ホテル、銀行及び政廳等は稍美觀を呈すれども、一般の民屋は倭小にして諸方に傾き、頗る田舎風を有せり。

此地はコンスタンチノープルより、オーストリアホンガリアに通ずる東西兩歐連絡鐵道の一要路に當り、商業上の一要都にして、木綿・絹革・毛布・煙草・薔薇油等の製造盛なるを以て知らる。國立大學は茲に置かれ、又附近に温鑛泉あるを以て著名なり。

Sophia

ブレブナ

ニコポリス

ルスタアツク

バルナ

チルノーバ

ブルガス

ブレブナ ソフィアの東北八十八哩にあり。堡塞を以て堅められたる小都會にして、人口二萬餘、軍事上重要な地にして、千八百七十七年露土戦争の時、土耳其の勇將オスマン・パシャの籠城を以て有名なり。

ニコポリス ドナウ河に臨み、ブレブナの北約三十哩に當れるエビルスの舊都なり。此地は千三百六十九年、トルコ人とヤン教徒との古戰場にして、シギスモンド帝（ホンガリア王にして後ドイツ帝となれり）大敗し、二萬人之に死したるの地なり。

ルスタアツク ドナウ河に臨める要港にして、人口四萬。ローマニアのデニールゼビオと對立せり。鐵道によりてバルナに通ずる一商業地なり。

バルナ 黒海に臨める要港にして、堅牢なる砲臺の設あり、人口三萬七千。小麦・葡萄酒等の輸出盛なり。

チルノーバ シブカ峠の山麓ヤントラ河の上流に位す。人口三萬。古のブルガリア王國の首府たりし地なり。

〔フィリップポリス〕 東ルメリア州の首なる都會にして、此の國第二の大都とす。マリツツア河の上流に臨み、コンスタンチノープルより、オーストリアホンガリアに通ずる鐵道の要路に當り、商業盛に行はる。人口五萬。香油製造盛なり。

ブルガス 黒海に臨める東ルメリアの要港にして、人口二萬餘、穀物及び鐵等の輸出多し。

セルビア (塞爾維) Serbia
此國は十四世紀の頃までは獨立の一王國たりしが、遂にトルコの爲めに併吞せられ、久しく其羈絆を脱すること能
ブルガリア 都會 セルビア

Burgas Plevna
Tirnova Rusehuk
Philippopolis Varna
Nikopolis

はざりき。然るに千八百十五年より同二十九年に至る戦争の終局は、自主の一國たるを得たりしが、尙トルコの貢進
國たり。斯くて千八百七十七年に至り始めて獨立するを得、尋て翌年のベルリン條約によりて其獨立を確認せられ、
更に千八百八十二年明治十五年に至り、一個の立憲王國として宣言せらるゝに至りしなり。

位置 バルカン半島の西北部にありて、北はドナウ河及び其支流サベ河によりてオーストリア・ハンガリアに接し、東はローマニア及びブルガリアに境し、南はトルコ帝國に隣り、西はボスニアに連り、略三角形をなせり。面積凡そ一萬八千六百五十方哩、我九州よりやゝ大なり。人口凡そ二百八十二萬にして。一方里約八百六十人の密度とす。

住民 住民の多数はセルビア種に屬し、十六萬餘のローマニア族を含む。而して一方哩人口凡そ百四五十人の割合なり。

地相 國內大率山岳性を呈し、チナルアルプ山脈は其西南に磐囀し、バルカン山脈は其東境に迫り、モラバ河國の中央を北流して、大に灌溉の便を有せり。而して此河の溪谷は即ちヨーロッパよりバルカン半島に入るの要路たり。

地味は一般に肥沃にして、全面積の三分の一は専ら耕作に用ゐられ、其餘は豚羊牛等の牧場に供用せらる。又、山岳地方は樹木繁茂し、富源の開拓すべきもの少からざれども其惡政と國民の怠惰とは、殊に國運の進歩を阻害すとす。

Morava

氣候 氣候大陸性にして寒暑の差甚だしけれども、健康を害する程ならず。

産物はモラバ河の灌域には、多量の小麥・大麥・玉蜀黍等を産し、梅實・無花果・葡萄等の果實少からず。又、家畜には豚羊・山羊・牛最も多く、輸出品の重なるものなり。鑛物は石炭・銅・鉛・金及び鐵等は其主なるものなれども未だ採掘の業盛ならず。

産業 産業の重なるものは農業なれども、極めて幼稚の狀態にあり。製造工業は殊に稱するに足るものなく、僅に葡萄酒の醸造、製粉業、梅實より製する酒造業等の外、觀るに足るものなし。

政治 立憲王國にして、行政權は國王に統一せられ内閣諸大臣之を補佐す。又立法權は國王と上下兩院の協同を以て之を行ふ。

軍備は十八歳より五十歳までの國民は軍役に服するの義務あるものとし、三種類に區分せり。而して常時兵員は十萬人内外なれども、戰時には凡そ三十五萬人を得べしといふ。

文教 教育は強制的なれども、未だ充分に普及せざる傾あり。最近調査によれば小學校凡そ千三百校、縣立學校十八、中學校十八、師範學校四、農業・商業・園藝學校各一校づゝにして、其他大學は首府に一校を有するのみ。宗教はギリシア教を以て國教とし、其他羅馬加特力教・新教・猶太教・回教等を信奉するものあり。

交通 鐵道の延長は凡そ四百哩にして、大道路と稱すべきもの三千五百哩あり。されど一般に類廢せり。河流は國境に於けるドナウ河及びセーブ河等航行し得れども、概ね外國船の經營する所たり。外國貿易中、輸出品の重なるものは、農産物及び果物・動物及び其産物・鐵物・皮革等にして、輸入品の重なるものは綿

セルビア 位置、住民、地相、氣候、富源、産業、政局、國防、文化、交通、商業 八五三

製品、礦物、機械類、殖民物産等なり。

都會 都邑の重なるもの次の如し。

(ベルグラド) セーブ河のドナウ河に會流する處にありて、水陸の交通頗る便なり。人口凡そ八萬、商業盛なり。古き要塞市にして、トルコより、オーストリア、ホンガリアに通ずる要處に座し、軍事上頗る重要な位置に當れるを以て、屢戰亂の中心となりしことあり。一に『バルカン半島の鍵』と稱せらる。而して此府は元トルコ風の都會なりしが、漸次歐洲風に化しつゝありといふ。

Belgrade

クラグエバツツ 國の殆ど中央にありて、此國の舊都なり。人口二萬餘に過ぎず。

クラグエバツツ

ニツシワ モラバ河の上流にありて、サロニキ及びコンスタンチノープルに通ずる要路にあり。人口三萬、商業盛なり。

Nish Kraguyevantz

モンテネグロ Montenegro

國名解

國名解 モンテネグロはイタリア人の命名したる名にして、トルコ人はカラダグ、自國人はセルナゴラといふ。共に黒山の義なり。

Kara Dagh Zerngori

此國は元トルコの屬國なりしが、十七世紀の頃より、獨立國となり、千八百七十八年即明治十一年のベルリン條約によりて其獨立を承認保證せられ、且つ此國附近に於けるトルコ領地の若干部を得て其領土を増加せり。尙明治四十

三年に至り、更に列國の承認を得て王國となれり。

位置 トルコ帝國の西北にありて、東はトルコに境し、西北はヘルツェゴビナに包まれ、西はダルマチア及びアドリア海に接せり。面積凡そ三千六百三十方哩、我四國島の半に近く、又我山形縣と略同大なり。人口凡そ二十五萬にして、一方里約四百三十人に當れり。

地勢全國悉くデナルアルプ山の本脈及び其支脈によつて蟠踞せられ、唯スクタリ湖の沿岸及びアドリア海岸に少許の平地を見るのみ。山脈中コム山は二千七百餘米に達す。

Scutari

住民 多数はセルビア種に屬し、一方哩凡そ七十餘人にすぎず。

氣候 **富源** 氣候はセルビアと殆んど大差なけれども、アドリア海に近きを以て、其影響を受けて稍温暖なり。

産物は葡萄、橄欖等の果物及び玉蜀黍、煙草、燕麥、馬鈴薯等あり。又、牛、羊等の牧養あり。

産業 國民の多数は農業及び牧畜に従事し、スクタリ湖の附近には葡萄の栽培多く、アンチバリ港及びズールンニョー府の附近には、橄欖の栽培多し。又製造品は僅に粗末なる毛織物あるのみ。國民一般に勤勉にして、よく、山間の溪地を耕し、國家の外面を維持せり。

政局 **國防** 憲法は千八百五十二年の制定にして、其後二回の修正ありたり。國王

セルビア 都會 モンテネグロ 位置、氣候、富源、産業、政局、國防、文化、交通、商業 八五五

は名義上家長主義に基きたる有限君主にして、行政權は國王に屬し、立法權は國民議會に屬せり。

軍備は別に常備兵の設なしといへども、不具者を除くの外は、何れも兵卒の訓練を受け、一朝事あるの日は召集に應ずることとし、戦時には三萬乃至五萬の戦闘員を得べしと云ふ。

文化 (の) 普通教育は強制的にして、學校は政府にて維持するがゆゑに、比較的文盲者稀なりといふ。又、宗教はギリシア教を以て國教とし、其數凡そ二十萬餘、其他回々教一萬五千人、羅馬加特力教一萬人等なり。

民情 國民は一般に剛毅なる精神と忍耐なる氣力とに富み、勤勞を尙び遊惰を戒め、甘んじて、山間溪谷の間に排旅し、能く其獨立を完うして今日に至りし所以のもの、世人の賞讃措く能はざる所たり。

交通 鐵道は僅に百哩許の狭軌鐵道を敷設し、汽船も亦三十噸及び十噸のもの僅に二隻あるのみ。外國貿易も亦頗る幼稚にして、輸出八十一萬磅、輸入二十四萬磅に過ぎず。

都邑 首府をチエチニエといふ。人口僅に四千許國王此所に在り、此の地は、土耳其人の爲めに、千六百八十三年、千七百十四年及び全八十五年の三回、燒棄せられた。

ダルシグノ、人口約五千の小市とす、
ポドゴリツア、人口約六千五百あり、

Cetinje

民情

地名の由來

第拾參篇 ヨーロッパ 洲括論 (歐羅巴) Europe

地名の由來 ヨーロッパなる名稱の起源につきては凡そ三説あり。其一は太古フェニキア王エーゲノルの娘なるヨーロッパの名に基づきたるなりとするものなり。其二はギリシア語ユーラス(廣き、大なる、の意)に基づきたる名なりとするもの。其三はフェニキア語なるエレフ(夕の國、西方の國)より出たりとするもの之れなり、而して此第三説可なるに似たり。

Europa.
Eurus.
Ereb.

位置 舊大陸の西北部を占むる陸地にして、所謂ユーラシア大陸の西北部半島形をなし、アジア大陸の一地瘤たるに過ぎず。而して之が境界は、北に北極洋、西に大西洋、南に地中海ありて明確なる區劃をなせども、東方、アジアとの境界にはウラル山、ウラル川、カスピ海、カフカス山脈等あれども、大陸の境界とするには、尙不充分なり。土地一般に東西に長くして南北に短く、長さ凡三千三百哩、幅凡そ二千三百二十哩あり。面積凡そ三百七十五萬六千方哩、人口約三億九千萬あり。

境界 前に述べたるが如く、ヨーロッパはアジア洲と共に一大洲を形成せるものにして、之を二大洲に區分するは只古來の習慣にして、歴史的價值を存すに過ぎず。されど之を實際に徴する時は、人類の分布、文化の差異、其他人文地理學上の關係に基き、之を別々に論述する方、頗る便利なるものあり。
ヨーロッパに於ける經緯度上の四極點を擧ぐれば次の如し。

位置

八五七

極東	東經六十六度二十分	ロシアのカラ河水源地
極西	西經二十五度三十分	アイスランド島
極南	北緯三十四度五十五分	クレテ(カンチア)島
極北	北緯七十六度五十五分	ノバア、ゼムリア島

されども、單に大陸部に於ける四極を示す時は、極西、東經九度三十分なるカロ岬、極南、北緯三十六度なるタリフ岬、極北、北緯七十一度十分なるノルド岬、極東、東經六十六度二十分とす。

面積の比較

面積の比較 本洲は舊世界三大洲中最も小なるものにして、太平洋よりは稍大なり。而して之を全地球上の面積に比較する時は、僅に十四分の一に當り、アジア洲に比するも四分の一に達せず。加之本洲面積百分中、二十七は半島にして、八は島嶼に當るを以て、幹部は比較的狭小なり。而して我日本本州の面積約八万七千方哩に比すれば、大約四十三倍に當れり。

歐亞兩大陸境界碑

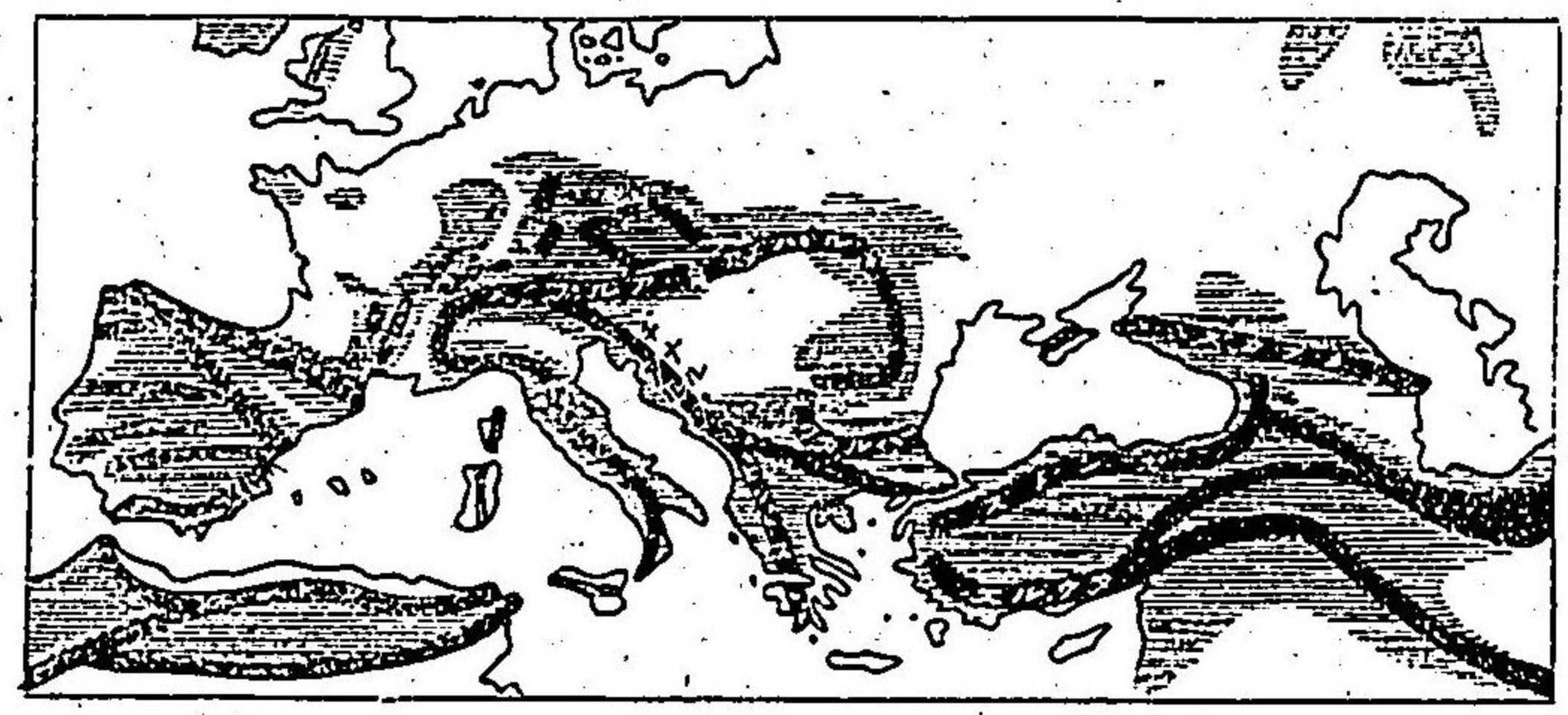
歐亞兩大陸境界碑 ウラル山上にて鐵道線路に沿へる兩大陸境界の一地點に、高さ約四米程の歐亞境界の碑石を建置し、歐洲に面せる方面にはヨーロッパと刻し、アジアに面する方面にはアジアと刻しありて、一見兩大陸の境界を知るを得しむるものたり。

地相

本洲に於ける山岳は、其東境に聳ゆるウラル山脈を除くの外、悉く南部及び北部に集り、其他は概ね平原をなせり。平原中殊に名あるものは、東ロシアの一大平原にして、こはシベリア平原の延長とも見るべく、之に次げるは北ドイツ平原にして、前者と相分つに、ウイッスラ及びドニエプル兩河を以てし、東はニールメン河より起りてデンマルク

Rokn Karu
Tarifa Iceland
Nord-kap Crete
Novaya-Zemlya

Vistula
Dniepr



南ヨロパ山系圖

半島に終り。又、其西北部はフランス平野に連れり。而して此等平原の總面積は二百二十三萬方哩に亘り、歐洲全土の約五分の三に當れりといふ。

南部山脈の主軸をなせるものは即ちアルプ山脈にして、分れて西部・中部・東部の三脈となり、其南麓は急激にイタリアの平原に落つれども、北麓は漸々低下してユラ山脈其他に限られたる高原をなせり。而して其西部山脈の東南端はイタリア半島の脊梁たるアペニン山脈に連り、中部山脈の東南端はダルマチア山脈を以てバルカン半島の諸山脈に連れり。又、東部山脈の東端はカルパチア山脈に接して北ドイツ平原の東南部を限り、西部山脈の西端はフランス西部の高地に連れり。此他ピレネー山脈はカンダブリア山脈に連接して、イベリア半島の北境をなせり。

北部山脈の主要なるものは、スカンデナヴィア半島を縦貫せる全名の山脈にして北部にキオレン山脈あり。南部の

Kiolem Cantabrian Pyrenees
Dalmatian Jura Carpathia Apennines

地相

歐大陸の平均高度

ガルヘビグ最も高峻を極め、高さ凡そ二千五百六十餘米あり。

歐大陸の平均高度 歐洲は各大陸中平均の高度最も少なき陸地にして、左表に示す所の如し。

一、歐洲大陸	平均三〇〇米
二、亞洲大陸	平均三〇〇米
三、北米大陸	平均六五〇米
四、阿弗利加大陸	平均六五〇米
五、南米大陸	平均七〇〇米
六、亞細亞大陸	平均七七〇米

《アルプ山脈》 アルプ山脈は世界中有名なる大山脈の一にして、アジアのヒマラヤ山脈にも比すべきものなり。脈中の高峯には多數の氷河と風光明媚なる湖水とあり。而して之が山脈に蔽はるる面積凡そ六萬八千方哩、總延長約六百哩。幅約九十乃至百六十哩あり。分ちて西部・中部・東部の三部となすこと既記の如し。脈中の最高峯はフランス・スウイス及びイタリア三國の境に聳ゆるモン、ブラン峯(白き山の義)にして、海拔四千八百十米あり。

アルプの名稱

アルプの名稱 一に歐洲の冠頂とも稱せらる。アルプとは高山の義なり。又、白き山(白雪を戴ける山)の義かとも云はる。

西部アルプ山脈

西部アルプ山脈 イタリアのジェノア灣頭に起り、地中海岸に沿ふて西走し、夫より北に折れて、イタリア

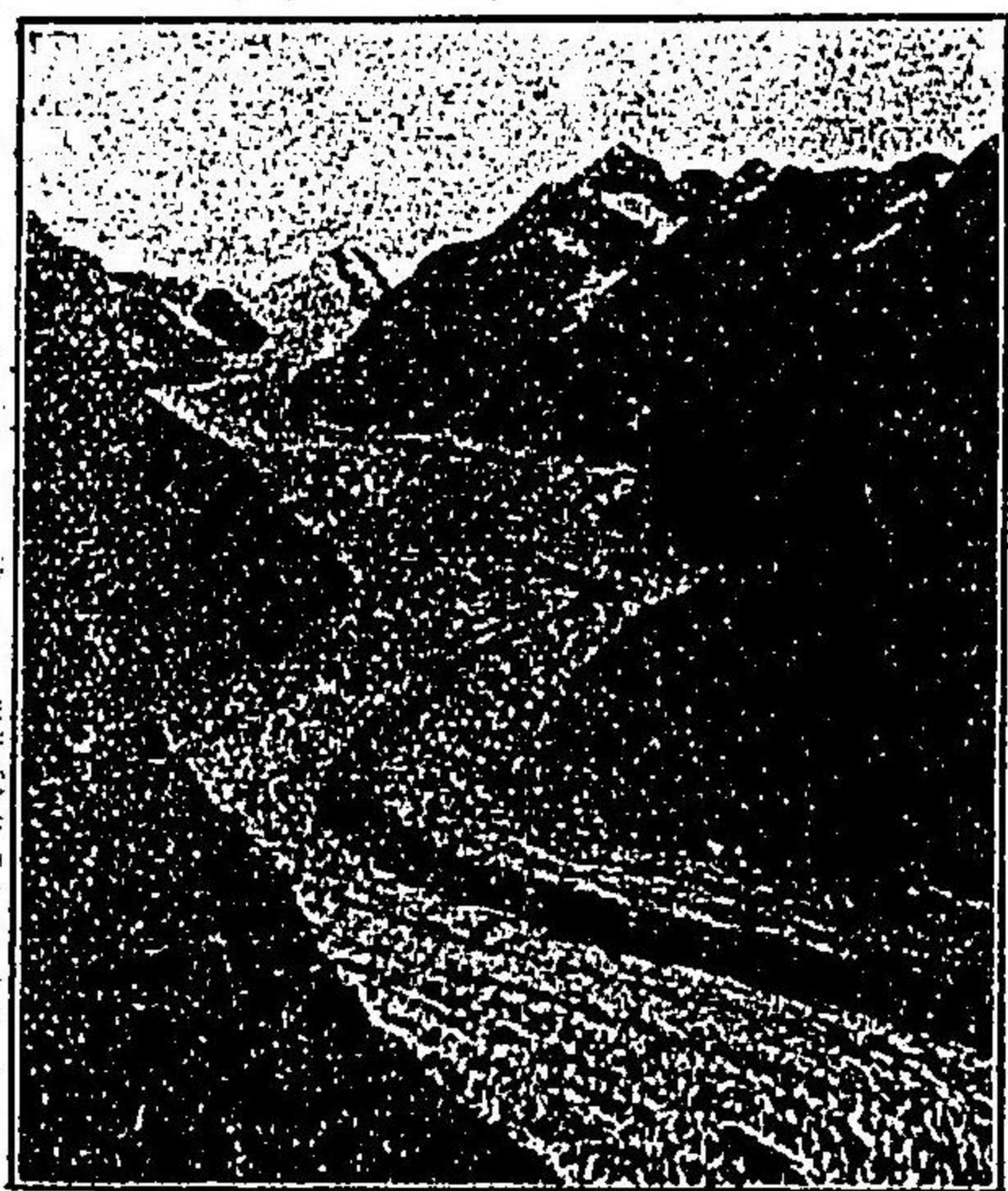
中央アルプ山脈

及びフランス兩國の境をなせるものにして、マリチム、アルプ山脈コッチアン山脈クライアン、アルプ脈等之に屬せり。

山脈中の高峯をモンテ、ビン(三八五〇米)、ケラン、バラヂン(四〇〇〇米)、ル、エケラン(四二〇〇米)等とす。

中央アルプ山脈 西方山脈の北より東北に走り、イタリア・オースタリアの境に至るものにして、メンナイン、アルプ山脈・ベルニス、アルプ山脈・レーチアン、アルプ山脈・オートレル山脈等ありて、此等は更に中群・北群・西群等に別たる。

脈中の高峯にはモン、ブランを始め、其他之に次ぐもの頗る多く、アルプ諸山脈中殊に高峯奇岳に富めるものなり。



景の河水のスアル・スイウス

地相

山名	高さ
グラント、ロンビン	3000
マツテルホルン	3000
ワイスホルン	3000
モンテロザ	3000
モンテ、レオネ	3000
フィンステル、アールホルン	3000
アレッチェホルン	3000
ユウングフラウ	3000
メン、ヒ	3000
ベルニナ峯	3000

八六一

- | | | | | |
|------------------|--|--|---|--|
| Monch
Bernina | Mont-Leone
Finsterarhorn
Aletschhorn
Jungfrau | Gr-Combin
Matterhorn
Weisshorn
Monte-Rosa | Ortler
Pennine
Bernese
Raetian | Gand-Paradiso
Maritime
Cottian
Graian
Monte-Viso |
|------------------|--|--|---|--|

Mont-Blanc

Galdhöppig

東部アルプ山脈

アルプ山脈の構成

アルプ山脈とヒマラヤ山脈との比較

東部アルプ山脈 中央山脈より東方、東北及び東南等に延長し、ドビナ河の流域にまでも及ぶものにして、ホーヘ、タウエルン山脈、ニール、タウエルン山脈、オーストリア、アルプ等之に属す。

脈中の高峯にはグロース、グロツクナー(三八〇〇米)、オートル(三九〇〇米)、トリゲラル(二八六五米)等あり。

アルプ山脈の構成 山脈中殊に其高峯に富める中央山脈は主として片麻岩、雲母片岩等の變性岩より成りて水成岩其外帯をなせり。而してミラノ湖とコンスタンツ湖とを運ぬる線以東に於ては、内面・外面共に水成岩より成り、石灰岩、白雲岩の發達著しけれども、該線の西に於ては内帯を有せず、且全體に本山脈の初成以來、氷河・氷流・雨雪等の作用を受け著しく變動を來したるものと如し。

アルプ山脈とヒマラヤ山脈との比較

類似點

- 一、主軸は共に略々東西に互れり。
- 二、南は急に傾斜して且暖熱なり、北は緩傾斜にして温暖ならず。
- 三、共に其の大陸中の脊梁を成せり。
- 四、共に其山脈の中央部が特に高峻にして氷河に富めり。
- 五、共に其山脈中に所謂山岳湖を包有せり。

アルプス

ヒマラヤ

差異點

- 一、東部は西部より低し。 東部は西部より高し。
- 二、南部に中心を有する弧をなせり。 北部に中心を有する弧をなせり。
- 三、南側は直ちに急に傾斜す。 南側は凡四段の段丘をなして傾斜せり。
- 四、北部には近く低原を有せり。 北部には大高原を有せり。

Ortler	Höhe-Tauern
Triglar	Niedere-Tauern
Milano	Austria
	Gross-Glockner

《ピレネー山脈》 イベリア半島の高臺地と、フランス平野との境をなせるものにして、ピスカヤ灣の南岸に聳ゆるカンダブリオ山脈に接し、リオン灣に終るものにして、最高峯をマラデッタと稱し、海拔三千五百米に達せり。人文上の一大障壁たり。

ピレネーの地名 ケルト語のピレ(連山)より出たる名にして『山脈』の義なり。

シエラ山脈 イベリア高地を繞れる鋸齒狀の山脈にして、其最も高峻を極むるものを南部のシエラ、ネバダとなし、最高峰ムラハセンの如きは、海拔三千四百八十米あり。

シエラの地名 シエラとはポルトガル語鋸齒狀の山、又は楯形山の義なり。シエラ、ネバダとは白雪(ネバダ)を戴ける鋸齒狀の山の意なり。又、シエラ、モレナとは、薄暗き(モレナ)山の義にて、森林繁茂して薄暗き常緑樹の山を指せる稱とす。

アペニン山脈 アルプ山の東南端より起り、イタリア半島の樞軸をなせるものにして、延長凡そ六百七十餘哩に亘り、中部には最高峰グラン、サツンありて凡そ三千米に達せり。而して活火山ベスピオス及びエトナ山等も亦本山脈中に屬するものなり。

アペニンとは『頭』又は『山』の義なり。

地 相

Gran-Sasso	Sierra Morena	Mulhacén	Sierra Pyra	Pyrenees
Vesuvius		Sierra-Nevada	Maladetta	
Etna				

カルパチア山脈

カルパチア山脈 ハンガリアの東北境に聳ゆるものにして、其南部に於けるトランシルヴァニア、アルプ山と共に蹄鐵形をなし、以てドナウ下流の高地を包擁せり、而して脈中の高峰をタトラ山といひ、高さ二千六百五十餘米あり。之に次ぐネゴイといひ、二千五百四十餘米に達せり。

スカンヂナウイア山脈

スカンヂナウイア山脈 全島の半島にありて、稍々西部に位し、スウェーデン及びノルウェー二國の境界をなせり。

其他の山脈

其他の山脈 此ドイツには、西南にシワルトツワルド山脈・ドイツ、ユラ山脈、中央にチウーリゲンワルド山脈・バーメルワルド山脈・ハルツ山脈・エルツゲビルゲ山脈、東部にはズデーテ山脈・リーゼンゲビルゲ山脈等あり。其内の最高峰をリーゼンゲビルゲ山脈中のシュネーコップとバーメルワルド山脈中のアルベルトとし、共に千五百米あり。又、フランスの東部には、ユラ及びフォーゲゼンの兩山脈ありて、イタリヤ・スウイス・ドイツ等の境上に跨り、セベンス山脈はランゲル高峯の南にありて、最高峰モンドールは千八百九百米あり。

此地バルカン半島にはバルカン山脈・チナル、アルプ山脈・ピンドス山脈あり。又、大ブリテン島等にも多けれど、各國の條に於て詳述すべし。

〔河流〕 本洲は其面積狭小なるがゆゑに、アジア・アフリカ・アメリカ等の諸大陸に於けるが如き大河なしといへども、河流の分布は自然の配劑其宜しきを得て、交通運輸の便を助くるもの多く、加ふるに此等諸河流は、概ね幾多の支流を有し、本流より遠隔せる土地にも航行を興へ、且つ多くの運河を開鑿して、以て互に連絡するがゆゑに、水利灌漑の便に至りては、他の諸大洲と同日の論にあらざるなり。

Pindus Cevennes Schneekopf Harz Schwarzwald Carpathian
Mont-Dore Arber Erzgebirge German-Jura Tatra
Balkan Jura Sudetes Thuringerwald Negoi
Dinarie-Alps Voggen Riesengebirge Bohmerwald Scandinavia

歐羅巴河川の特徴

本洲河流の特徴 として擧ぐべきは、河流の山脈又は高原を貫破して進むもの少く、多くは山脈の走向に従ひ、其麓に沿ふて流るゝがゆゑに、急湍激流少く、又、土地起伏の状態一様ならざるを以て、同一河流にして、山間流・臺地流・平野流等を兼ねるものあり。尙歐洲河川の特徴とすべき點を列擧すれば左の如し。

- 一、全大洲のあらゆる部分に、河川がよく分布すること。
- 二、海岸に於て各河川が、殆んど同様の距離を保ちて海に朝すること。
- 三、各河流は山脈を横断すること少く、且其水路頗る屈曲すること。
- 四、各河川は、何れも比較的上流迄、よく舟を通ずるの便あること。
- 五、各河川の支流は、概ね皆本流と互に直角をなして相合すること。従て舟楫の内陸に入るに便なること。
- 六、彼等の多くは運河にて連接せられ居ること。
- 七、彼等は何れも灌漑の利大なること。

○ライン河とドナウ河

ラインと一度聞かば、海山萬里の日本人をしてすら、即ち其銀の如き江水と、兩岸の故城殘壘と、葡萄の美酒とを懐に浮ばしめ、幾掬の時懷を湛々と湧き來らしむる。何んぞ況んや、獨逸人をしておや。獨逸人は歴史上に、風土上に、經濟上に、交通上に、景色上に、千年其感化と慈悲とに沐浴する者である。宜べなり、嘆頌して「父ライン」と呼ぶことを。獨逸人に關するのみならんや。中古以降瑞西・佛蘭西・獨逸・フランス・ランドル（和蘭及白耳義）の際を縱横し、専ら歐羅巴中原の興廢消長に關係し、列國均勢の原動力となり、由來歴史上の大勢力となつてを。ドナウ河

地 相

して、地中海並に大西洋の沿岸の如きは、殊に屈曲多くして岩礁に富み、絶壁頗る夥しといへども、内海の沿岸は概ね低平にして、港灣の著しきものは河口に存するのみなり。

各大洲海岸線發達の比較

歐大陸は陸面百四十三万里につき海岸線	—	里
北米大陸	二百六十五万里	—
亞洲大陸	三百三十二万里	—
南米大陸	四百三十四万里	—
亞細亞大陸	四百六十九万里	—
阿非利加大陸	八百九十五万里	—

〔半島〕 歐洲は各大陸中最も水平的肢節（半島）の發達せる所にして、特に南岸及び西北沿岸に多く、北氷洋沿岸には著大なるもの僅に二個あるのみなり。而して此等半島の總面積は殆ど本洲の五分の一に當り。之にフィンランド等をも加ふる時は、其總面積は實に一百萬餘方哩に達すと云ふ。

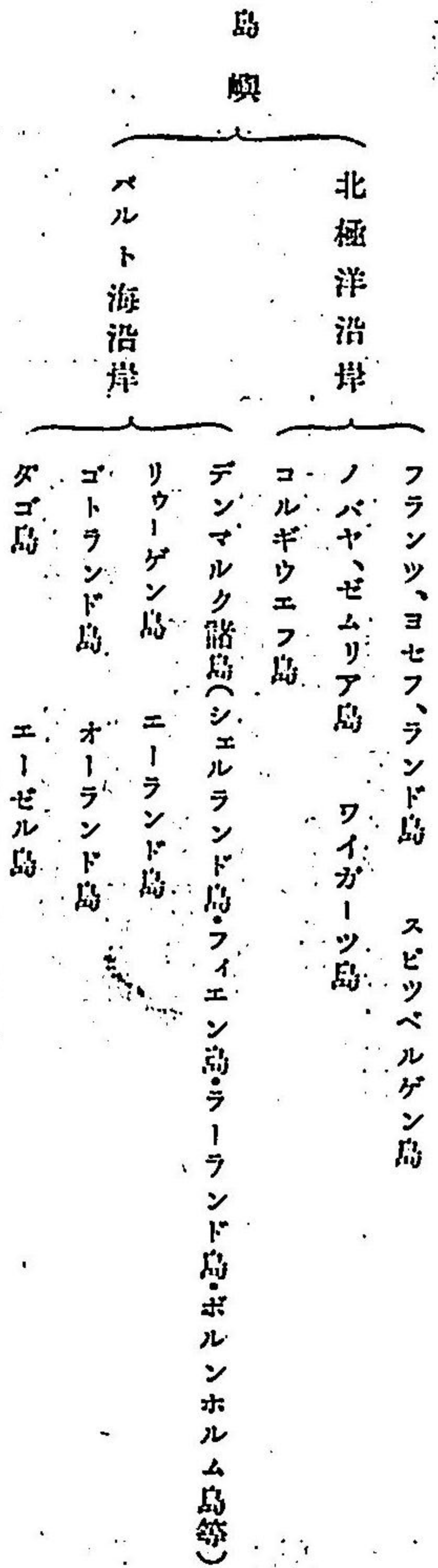
北極洋沿岸	カンニン半島	コラ半島
北極洋沿岸	スカンデナヴィア半島	ユトランド半島
半島	北オランダ半島	ノルマンディー半島
半島	大西洋沿岸	

North-Holland
Normandy
Kunin
Kola
Scandinavia
Jutland

地中海沿岸及

- ブルタニア半島
- イタリア半島
- バルカン半島
- イベリア半島
- イスパニア半島
- クリミア半島

〔島嶼〕 島嶼も其數亦頗る多く、其面積實に三十八萬五千方哩に達せり。而して其内北極洋に於ける荒涼たる氷地スカンデナヴィア半島、若くは無數の岩礁たるに過ぎざるフィンランド沿岸等の如き島嶼を除き、實際生活に必要なもののみにて、猶十八萬餘方哩あり。此等は主として大西洋及び地中海沿岸に存在せり。



〔海灣〕 本洲に於ける海灣中、殊に有名なるは地中海にして、古來史上に名高く、又文化の發展及び世界交通の要路として知られたり。されど北極洋沿岸に於けるものは、毎年冬

Aland Bornholm Kolgufew Franz-Joseph-Land
Dago Rugen Seeland Spitzbergen
Osel Oland Funen Novaya-zemlya
Gotland Laaland Waigtsh

Balkan Bretagno
Crimea Iberian
Italy
Istria

期六ヶ月間は結氷に閉され、人文進歩に對しては裨益する所極めて少し。

海灣の深さ

海灣の深さ

其他岬角・海峽・地峽等の有名なるものを擧ぐれば次の如し。

北極洋 ノルト崎 ノルドキン崎

北極洋	カラ海	チェヌスカヤ灣	白海(ドビナ灣・オネガ灣)
北極洋	バルト海(ボスニア灣・フィンランド灣・リガ灣)	北海(フォース灣)	アイルランド海
大西洋	ブリストル灣	ビスカヤ灣	カヂス灣
地中海	リオン灣	リグリア灣	チレニア海
地中海	アドリア海	ベネチア灣	タラント灣
地中海	イオニア海	エーゲ海	コリント灣
地中海	マルマラ海	黒海	アゾフ海
			オデッサ灣

何れも水深二百米内外なり。

チヌスカヤ灣
白海
バルト海
ビスカヤ灣
地中海

海岸よりあまり遠からずして、直に二千米、五千米等の水深を示せり。概ね三千米以上の深さを有せり。

Azov	Liguria	Riga	Kara
Odessa	Tyrhenian	North-Sea	Tchesskaja
	Adriatic	Forth	White-Sea
	Venice	Irish	Dwina
	Taranto	Bristol	Onega
	Aegean-Sea	Biscay	Baltic
	Corinth	Cadiz	Bothnia
	Marmora	Lion	Finland

Nort Nordkyn

岬角

大西洋

スカーゲンス角 サン、マチユー角
フィニステラ岬 ロカ岬 サン、ピセンテ岬
トラファルガル岬 タリファ岬
ジブラルタル岬

Skagens-Horn
San-Mathieu
Finisterre
Roca
Sao-Vicente
Trafalgar
Tarifa
Gibraltar

地中

地中海

パッセロ岬 スバルチメント岬
サン、マリア岬 マタパン岬

Passero
Spartivento
San Marin
Matapan

北極

北極洋

大小ベルト水道 ズンド水道
スカゲルラク水道 カテガット水道

Belt Sound
Skager-Rok
Kattegat

海峽

大西洋

イギリス水道(一名ラ、マンシウ) ドーバー(一名カレット)海峡
プリストル海峽 セント、ジョージ海峽
ジブラルタル海峽

Belt Sound
Skager-Rok
Kattegat
Brittish
La-Manche
Dover
Calais

地中

地中海

メシナ海峽 オトラント海峽
ダルダネル海峽 ボスボロス海峽

Bristol
St-George's
Messina
Otrant
Dardanelles
Bosphorus
Corinth
Perekop

氣候

富源

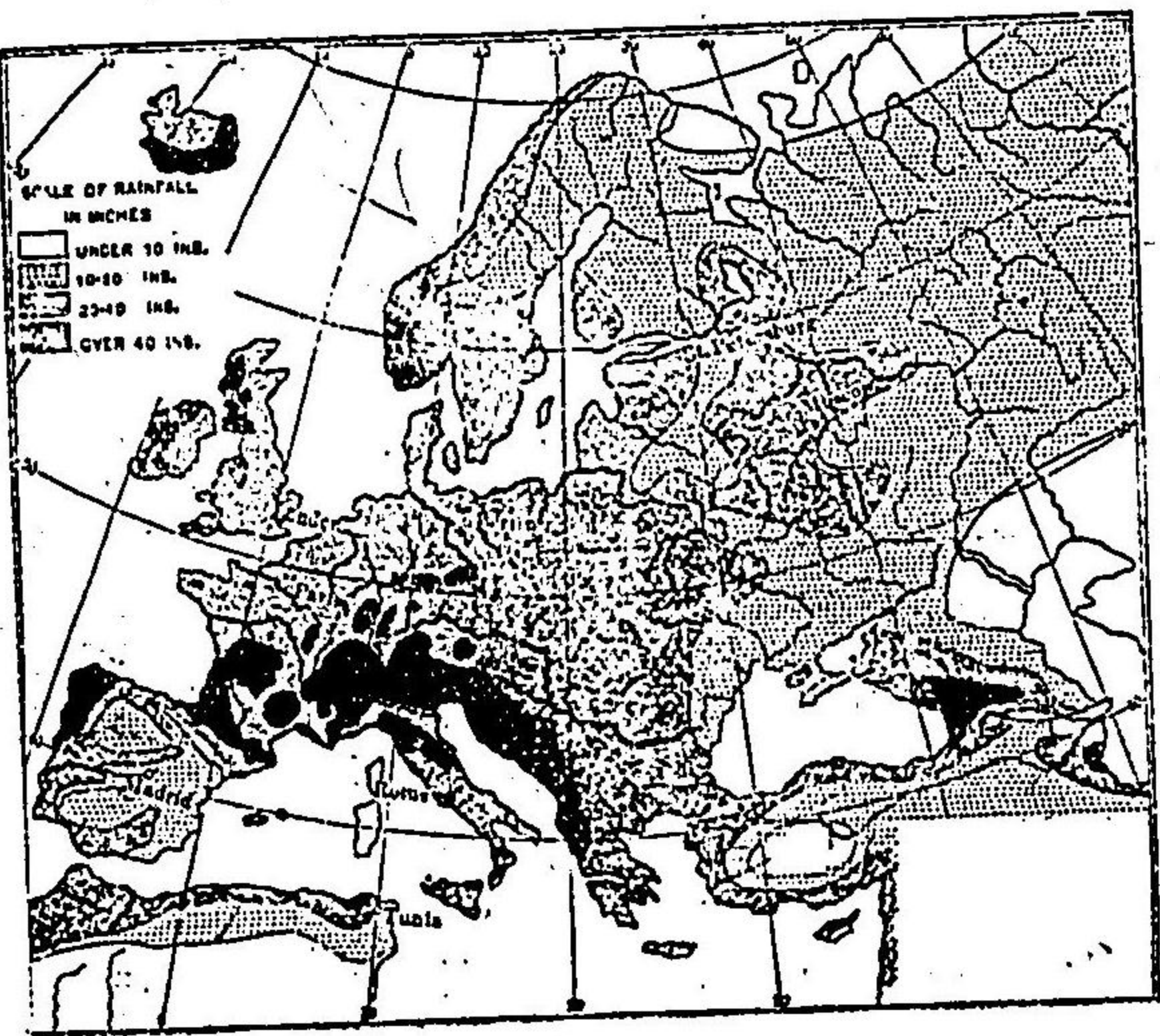
本洲の氣候はロシアの北部と、スカンデナヴィアとを除き、他は概ね

氣候、富源

八七三

溫和なり。是れ一は本洲の緯度が然らしむるものにして、南は熱帯に達することなく、北は

北極圏を越ゆることなきと、一は大西洋及び地中海より來れる西風、若くは西南風は頗る溫暖にして、之を遮斷すべき山岳なく、海岸の出入亦夥しくして、之が緩和的作用を蒙れるとに因れり。而して本洲は一般に三大帯に分つことを得べく、其一是西部にして夏冬共に溫和に、其二是地中海沿岸の地にして、夏季冬季共に氣溫高く、其三是東部に於て寒暑共に強し、従つて前二者は海洋性氣候に屬し、後者は大陸性氣候に屬せり。



ヨーロッパ大陸雨量分布圖

雨量は概して西南部より東北部に進むに従ひて減少せり。之れ西風及び西南風の溫和なるものが大西洋を過ぎり來ると同時に雨を齎せるによるものにして、熱帯地方の如く豪雨なく、又乾燥に失する砂漠をも存することなし。従つて雨量並に降雨日數等も、西方大西洋より東方アジアに進むに従

ひて減少せり。又、季節によりて之を分つ時は、秋は西部に雨量多く、夏は中央並に東部に多く、冬季春季は地中海沿岸に多し。

歐洲氣候の特徴

- 一、氣候は西部が東部より溫暖なること、之れ大陸の西部に温きメキシコ海流の來れるによる。
- 二、降水量も概して西部に多く東部に少し。
- 三、歐洲全土の氣候が緯度の高き割合に温かにして健康に適應すること。之れ海流と地形とに負ふ所あるによる。

歐洲の氣溫概觀(攝氏)

	一月平均	七月平均	年平均
南歐	四度(關東地方の二) 月似たり	二十四度(關東地方の七) 八月と同じ	十二度(中山道以) 至十六度(南に同じ)
中歐	零下四度(北海に) 似たり	二十度(關東地方の六) 月似たり	八度乃至十度(北海に) 似たり
北歐	零下十度或(樺太北部) 十五度(に似たり)	十六度(關東地方の五) 月に同じ	零度乃至二度(樺太北部) 月に同じ

歐大陸における颶風

歐洲西北部年々六七月の頃西方海上より襲來する颶風ありて、氣候上注意すべき一現象たること、猶我日本における二十日の大嵐の如きものあり。此の颶風の襲來するや氣溫俄に變じて著しく低下し、俄に寒冷となり、雨雪を催し、時としては樹木を抜き家を吹き、人畜に大害を及ぼすことあり。

歐洲における氣候變化の跡

歐洲北半部は地質時代上の過去にありては、著しく寒冷なりし地方にして、北歐全部氷河を以て掩はれ居たりしな

歐洲氣候の特徴

歐洲の氣溫概觀

歐大陸における颶風

歐洲における氣候變化の跡

り。然るに地軸の位置の變換と共に現今の如く暖になりて、古昔の水河は悉く消失し去り。今や至る所に其の遺跡を
殘存せり。

富源としてあぐべき産物に關しては、本洲は元來山川の配置氣候の溫和、並に海岸線の
發達等、苟も文化の發展に要する地理學上の資質は、悉く之を具備し、且又動植物鑛等の産
物頗る豊富なり。

●植物は氣溫並に降雨と最も親密なる關係を有するものにして、地中海沿岸一帯の地は、
柑類・椰樹・オリブ等繁茂し、其他葡萄・桑樹・玉蜀黍・米等の栽培盛なり。又、西部及び中部
一帯の地は溫暖濕潤にして、地味豊饒なるが故に、穀類の耕作に適し、農産多く、北部並
に東部一帯の地は、大麥・小麥等の栽培盛なれども、アジア的氣候を有し、森林草原等も亦
少からず。而して森林に至る所に繁茂し、南部には常綠樹、中部及び北部には檜・山毛櫸落
葉松・檜・柳・楓等を始めとし、松柏樅類等あり。

●動物は本洲固有の野獸たりし野猪・熊及び狼の如きは、漸次轉退して西部ヨーロッパには
其跡を絶ち、今はロシア・ドイツ等の森林に棲息し、アルプ山地方に固有なりし羚羊・山羊等
も亦大に減少せり。而して牛・羊・豚・馬・驢等の家畜は、至る所に飼養せられ、其他鳥類には

鶯・鶯鳥等の猛鳥の外、家禽は各地に盛に飼養せられ、爬蟲類に至つては、殆ど記すべきも
のなきに至れり。

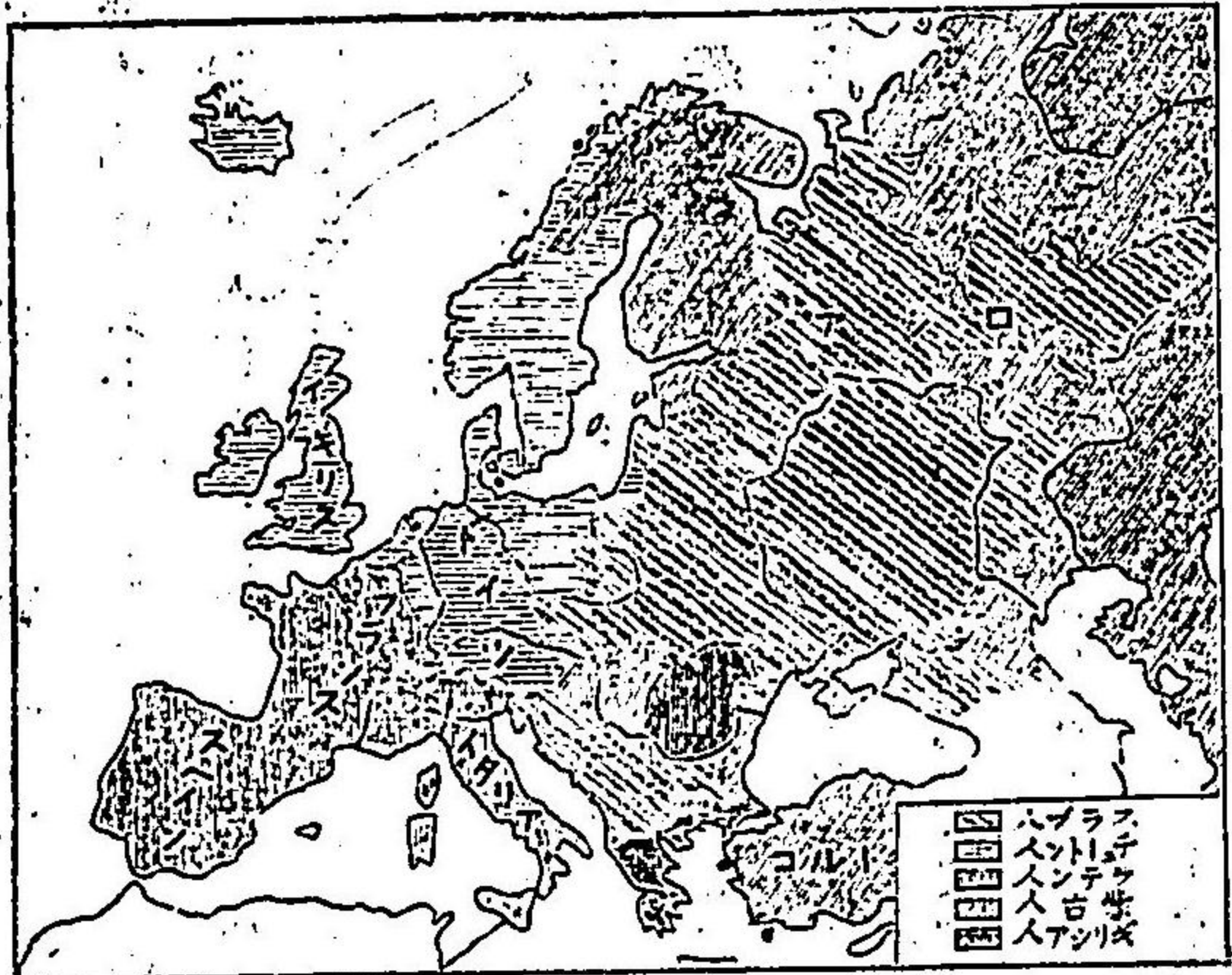
●鑛物につきては鐵を第一とし、銅之に次ぎ、金・銀等は其量多からず、白金はウラル山脈
中に多く、其他錫・鉛・水銀・亜鉛等は至る所多少産出せざるはなく、石炭も亦各所に埋藏し、
就中イギリス・ドイツ・フランス等には比較的多く、琥珀・硫黄・泥炭等も少からずといふ。

●産業 本洲は氣候の溫和なること、天産物の豊富なることにより、夙に文明の發達に適せるのみならず、住民一般に
勤勉にして企業心に富み、農・商・工等の各生産業に精勵せるを以て、諸般の産業發達せざるはなく、學理の應用と器
械の發明とは、益々産業の進歩を促して陸面及び水面の利用に至らざるなく、農業・牧畜・製造工業・航海・商業等悉く盛な
らざるはなし。唯東南ロシアの一部に遊牧の土民存在せると、北ヨーロッパの一部に漁獵を業として、今猶元始的生
活をなせるものあるとを見るのみなり。

●住民 住民は凡そ三億九千萬以上にして、一方哩につき百人以上に當り、他の諸大洲
に比すれば其最たるものなり。而して此等人口の配布は、概ね均一なれども、比較的稠密
なるは西部にして、中部・南部之に次ぎ、東部は稀薄にして、北部最も少く、一方哩僅に數
人に達せざる所すらありといふ。

●種族 住民の種族は頗る雜多なれども、主として白人種に屬し、黃人種之に次げり。而して之が所屬の不明な

産業、住民



歐羅巴人種分布圖

るものも、亦これあり。

(一) ドイツ族(チユートン族) 其數凡そ一億二三千萬に達し、ドイツ・オランダ・オーストリア・イギリス・スカンヂナビア半島等に居住せるものなり。身體強健長大にして、皮膚白く、髪は一般に赤茶色を帯び波狀を呈せり。虹彩は綠色にして頭は大に、額は廣し、性忍耐にして研究心に富めり。

(二) ローマン族(ラテン族) 其數凡そ一億一千二百萬以上にしてフランス・イタリア・イスパニア・ポルトガル・ギリシア・ローマニア等に住居せるものなり。體格中等にして、毛髪は稍黒色を帯び虹彩も亦黒色を帯べるもの多し。皮膚も稍褐色なり。性頗る輕快に傾けるもの多し。

(三) スラフ族 其數一億二三千萬ありて、ロシア・オーストリア・ハンガリア・セルビア・モンテネグロ等に居住せるものなり。白面・金髪・碧眼なり。特に發聲多く、性勇敢なるもの多し。

- (四) ケルチ族 其數凡そ二百七八十萬ありて、アイルランド・スコットランド及びフランスのブレターニウ半島地方に住せるものなり。身長稍小にして皮膚帯褐色、毛髪暗黒、性輕快活潑なり。
 - (五) 其他 トルコ、フィン・マジール、蒙古族、ユダヤ人等ありて、其數約二千五六百萬ありといふ。
- 言語 言語は以上分類したる種族によりて相違あるは勿論なれども、現今主として使用せらるるものは、イギリ

Fino Magyars Celts Slaves Romanes Tentons

ス語・ロシア語・ドイツ語・イスパニア語・フランス語・イタリア語等にして、皆自國語の擴張に意を致さざるはなし。

文化 教育の進歩は、他の諸大洲中、一も之に及ぶものなく、初等教育より専門高等の教育に至るまで、系統一貫して、整然たる組織をなし、文化よく發展して、殆ど無學の徒なく、教育の普及に至らざるなし。而して單に學校教育のみならず、圖書館・博物館・音樂堂の如き、社會的教育機關も亦よく整備して、文明の進歩、到底他洲と比する能はざる状態にあり。

宗教は種族の如何によりて差異ありといへども、大多數は基督敎信者に屬し、其内西南ヨーロッパのローマン民族はローマ舊敎を、中央ヨーロッパのドイツ民族は新敎を、東及び東南ヨーロッパのスラブ民族及びローマン民族はギリシア正敎を信奉せり。此他バルカン半島及びカスピ海・黒海等の附近には回々敎徒、全大陸の所々にユダヤ敎徒、北ロシアの氷地には拜物敎徒往居して、以て其敎義を尊奉せり。

ローマ舊敎徒	一五,〇〇〇,〇〇〇人
新敎徒	一〇〇,〇〇〇,〇〇〇人
ギリシア正敎徒	一〇〇,〇〇〇,〇〇〇人
マホメット敎	八,〇〇〇,〇〇〇人

文化

共 他 ユダヤ教徒 其他の教徒

七、五〇〇、〇〇〇人
一〇〇、〇〇〇人

歐大陸

歐大陸は諸大陸中最も人文の發達せる地方にして、世界中最も企業盛にして、各種の事業に至る所、活潑に經營せられ、人心は最も活潑に働き、各個人の優勝劣敗は最も激烈にして、一面より見れば文明の最も進歩せる幸福なる地方たるが如く、又一面より見れば生活困難にして競争の烈しき修羅場たるの觀あり。

交通 本洲は人文の進歩、産業の發達に於て、他の諸大陸に比し、遙に優等の位置にあることは、既に述べたる如し。而して交通機關の發達に關しても、今や鐵道の延長凡そ二十萬哩に達し、之をアメリカ大陸に比すれば短小なりといへども、面積の比較より見る時は第一位にあり。加之山地といはず、平野を論ぜず、山頂を問はず、溪谷を論ぜず、苟も人力の企及すべき所には、之を敷設して以て交通の利を圖らざるはなし。特に白耳義獨乙佛蘭西等、本大陸の西北平原の地方にありては地上と云はず。地下と云はず、海面と云はず、河道と云はず、盛んに且活潑に交通上に利用せられ居れり。

河流は洲内至る所に流通し、之が利便を助くるには、運河を以て互に連絡せるがゆゑに、鐵道と相並行して、以て交通上の發達を促し、延いて外洋との交通をも盛にし、商業

の繁榮をも來し、殖産の増加を圖り、長大なる海岸と良港とは、之が門戸をなせり。

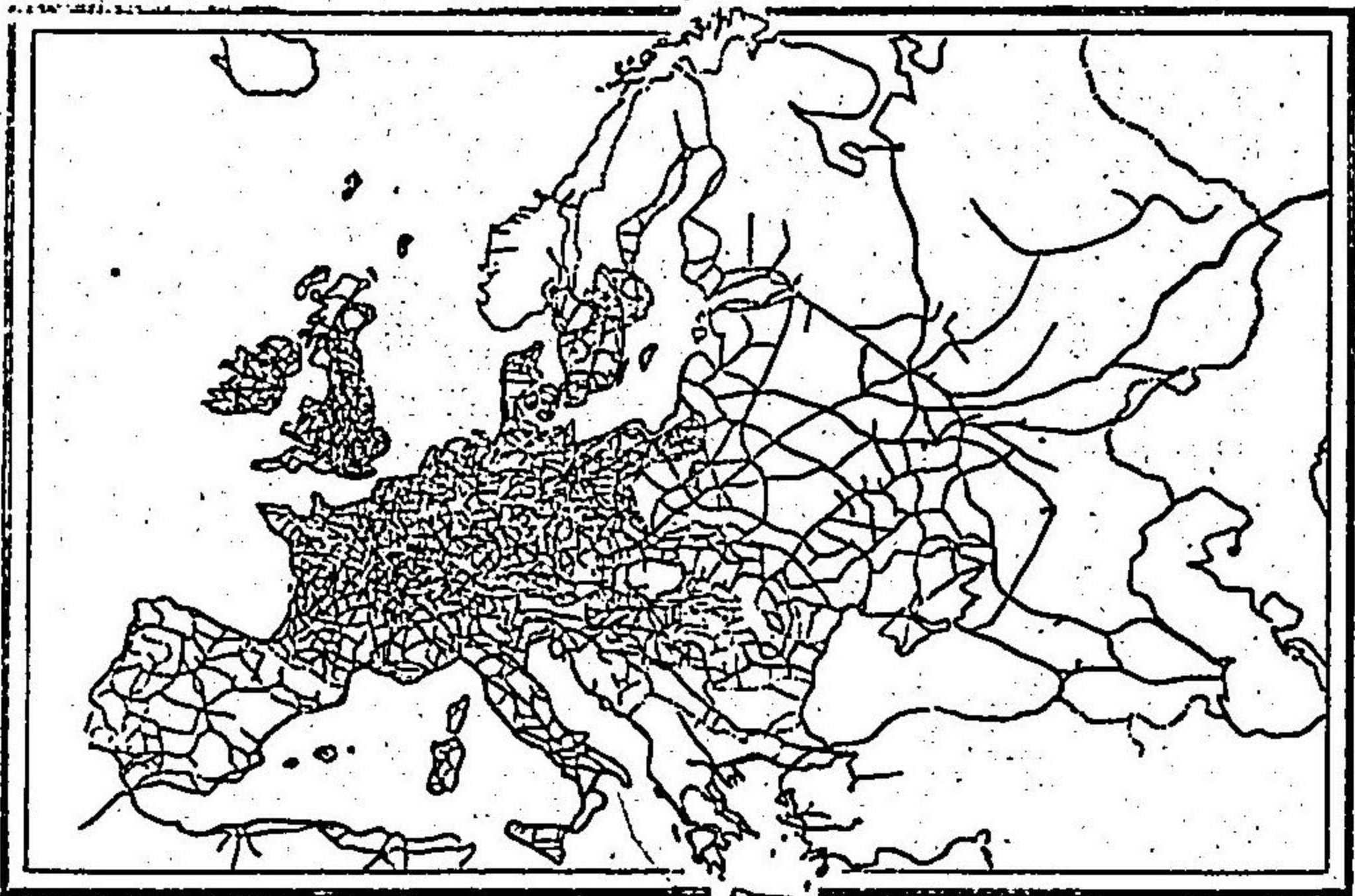
歐洲における主なる河道連絡(運河によりて) 概要

- 一、ガロン河より入りて、地中海に出るもの。
- 二、セーヌ河よりロイン河に出て地中海に至るもの。
- 三、ライン河よりマイン河、ドナウ河を經黒海に至るもの。
- 四、ウイステル河及びドヴィナ河より、ドニエプル河に出て黒海に至るもの。
- 五、セント、ペテルブルグより、ボルガ河に通じカスピ海に至るもの。
- 六、セントペテルブルグより、アーチャンセルに通じ白海に至るもの。

面積 本洲に於ける列國の面積はロシアの二百萬方哩を除き、他は皆三十萬方哩以下なれ

ども、所謂世界の強國と稱するものは此内にあるもの多し。

歐洲における主なる河道連絡(運河によりて) 概要



ヨーロッパ鐵道網圖

國名	面積 方里	人口
ロシア	11,090,000	110,000,000人
スウェーデン	137,000	5,400,000
ノルウェー	113,000	1,800,000
デンマーク	157,000	1,800,000
ドイツ	110,000	50,000,000
オーストリア、ハンガリア	130,000	50,000,000
スウイス	110,000	5,500,000
フランス	117,000	57,000,000
ベルギー	11,500	5,400,000
オランダ	117,000	5,500,000
イギリス	111,000	50,000,000
イスパニア	137,000	12,000,000
ポルトガル	57,000	5,500,000
イタリア	110,000	51,000,000
ヨーロップ、トルコ	5,500,000	5,100,000
ギリシア	57,000	5,500,000
ローマニア	57,000	5,000,000

ブルガリア 57,000 5,500,000
 セルビア 117,000 5,500,000
 モンテネグロ 57,000 5,000,000

○歐羅巴大陸の特殊點

歐羅巴大陸に關して特に注意すべき事項數條を左に例示すべし。

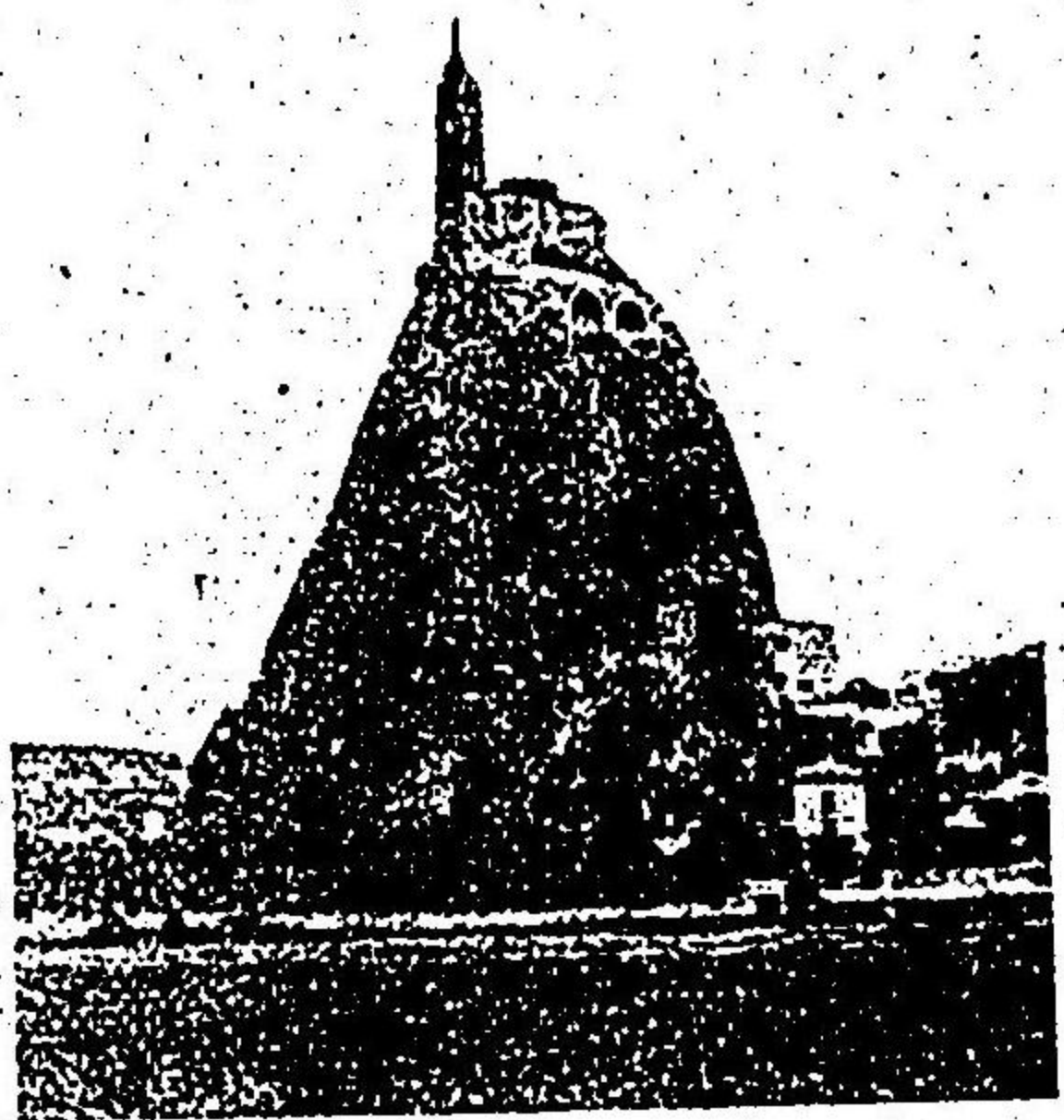
自然地理上

- 一、諸大陸中最小にして、又、最も半島的、島嶼的なり。
- 二、海岸線の發育最も顯著にして、特に西北岸には世界著名の峽灣多し。
- 三、地形概して單一、明瞭にして、山地と平地と各々別在し、混合複雑せる所少し。
- 四、河流よく分布し、各河流は、略々等距離を隔て、海に注ぎ、且何れも水運の便に富めり。
- 五、本大陸の氣候は、概して緯度の高低によりて變化せずして、却て經度の異なるによりて差あり。之れ主としてメキシコ灣流の影響と、地形の状態とに因る。
- 六、鐵及び石炭等の有用礦物の埋藏最も豊富にして、人文上に裨益すること最も多大なり。

人文地理上

- 一、諸大陸中、人口の密度最も大なり。
- 二、世界における文明の程度最も高き地方なり。
- 三、交通上の機關等最もよく備はり、全大陸を擧げて都會的となれり。

- 四、其の地面は最もよく人類に利用せられ、最もよく加工せられ、恰かも、諸大陸中の精製品たるの觀あり。
 - 五、全陸地の面積の大ならざるにも拘はらず、獨立の國家最多く群集せり。
 - 六、世界に於て、人類競争の最も烈しき大陸にして、又、優勝劣敗の現象の最も烈しき所たり。
 - 七、歐大陸は、世界における、政治、經濟、商業、交通等の諸問題及び諸事業の策源地、若しくは、解決地たるの觀あり。
 - 八、歐洲人は、殆んど全世界の併呑者、支配者、若しくは、監督者たるの觀あり。
- (以上の外、尙種々あるべし。讀者の研究を望む)



南フランスの中央高原休
火山多き地方のオーゼル
ニュー山の一部分なる熔岩
丘の上に造られたるヤン
教會堂の景

名稱の起源

第拾四篇 アメリカ (亞米利加) 洲總論 America

名稱の起源 一に新大陸又は西大陸と稱す。千四百九十二年八月二日、コロンブス氏がスペインのバロス港より西航してインドに達せんとし、偶然發見したりしものにして、其アメリカなる名稱を用ふるに至りしは、其後(一四九九年五月—一五〇〇年七月)南米に到達せるイタリアの、フロレンス人アメリゴ・ヴェスプッチが其の紀行を公にして、殊に精細なる地圖を以てせるよりドイツ人ワルツェミュル氏がその名を取りて命名したるものなりと。

或はいふ。アメリカなる語はもとニカラガア地方の土語にして、貴金屬に富める地、又は風の國といふ義を有せるものなるが、コロンブスが第四回の旅行に於て、コスタリカのチリキ湾に到着せし際、土人が裝飾用の粒金を見て、其出處を尋ねたるに、内部の産地即ちアメリカより來りし旨を答へしかば、イスパニア人は之をエル・ドラド即ち黄金國の義として、普くヨーロッパ人に傳へしものなりと。然るにフランスに博學なる一番肆主あり。ラテン語及びドイツ語等にて刊せられたるアルベリクス、プエスプチュウスの遠征紀行を抜萃して、一小冊子を著したりしが、其人名のアルベリコと地名のアメリカとを混同して、遂に假謬を世に貽すに至りしなりといふ。(ジウスマルコーの説)又、ペルーのインカ國の土人が其國をアメリカと呼べるより來りしといふ、ラムベルトの説あり。

El Dorado
Altericus Vespuceius
Amerigo Vespucci
Waltzemüller

アメリカ説尤普通に行はる、一五二〇年アピアヌス出版のソリヌス版の地圖に初めてアメリカなる名稱を用ゐ爾來ドイツ・スウヰツルに用ゐられしが十六世紀の終り頃までは未だ一般に用ゐらるゝに至らざりき。

本大陸は最初イスパニアの勢力盛にして、其領域も少からざりしが、ポルトガル人、オランダ人來つて亦多少の施設する所あり。斯くて十七世紀の始頃よりイギリスの勢力次第に加はり、ルイ十四世の代、北アメリカに於て巨大なる地積を有せしフランスと葛藤を生じ、遂にフランスの退敗となり、イギリスの殖民地たりし今の合衆國は獨立するに至り、尋きてイスパニア及びポルトガル等の殖民地も、亦母國の關係を脱するに至れり。

發見の歴史 本大陸は嘗て第九世紀及び十世紀の頃に於て、ノルマンがアイスランドよりグリーンランドを経て、猶南方即ち合衆國の東北部ニウイングランド地方に至りしことありしが、之が發見の名稱はコロンブスにあり。

コロンブスはイタリアのジェノバの人なり。イスパニア王フェルチナンド及び其皇后イサベラの補助を得て、千四百九十二年、サンサルバドル・キューバ・ハイチ等を發見し、其第二回は千四百九十三年より六年に亘り、ジャマイカ・小アンチル列島等を發見し、其第三回は、千四百九十八年より五百年に亘り、オノノ河口に達し、其第四回は千五百二年より四年に亘り、ホンジュラス・コスタリカ等を發見せり。

當時ベネチアの水先案内者にして、カボットと稱するものあり。ジェノバに生れ、プリストルに住居せり。イギリスのために北アメリカの探検旅行をなし、千四百九十七年より八年に亘り、カナダの海岸諸島を發見し、次ぎてアメリカ、ベスプチはポルトガルより派遣せられて、千四百九十九年ブラザルの一角に達せり。

Cabot Columbus Northmen

發見の歴史

カブラルはポルトガルの航海家なり。千五百年東インドに航せんとして、南緯十度のブラジル沿岸に漂着し、茲にポルトガルの國旗を樹て、其所領と定め、更に航海を繼續して、翌年カリコに製造所を建設せり。尋きてジウアンデアシデソリスはユカタン及びリオアラプタを發見し、南米海岸を四十度まで南下せり(一五〇六年—一五〇八年)ジウアンボンステレオンはフロリダを發見せり。(一五二二年)

此他バルボアはダリエンに殖民地を開きたるカスチリアの貴族にして、千五百十三年地峽を横ぎりて始めて太平洋あるを知り、マガリアエンスは千五百二十年南アメリカ南端の海峽を通過して其名を止め、ヘルナンド・コルテスは千五百十九年より二十二年に亘りて、メキシコを伐ち、ピザロは千五百三十一年より三十三年に亘り、ペルーを征服して以てイスパニア領を擴張せり。

然るに其後イギリス人・フランス人等の殖民次第に増加し、此等殖民人は遂に本國政府より分離して、以て各其國を組織するに至りしなり。

Pizarro Juan Ponce De Leon Cabral
Hernando Cortez Juan Diaz De Solis

位置 全洲西半球に横はり、北は北極洋に臨み、東は大西洋を挟みてヨーロッパ及びアフリカの二大洲と相對し、南は次第に狭小となりてホルン岬に終り、西は太平洋を隔てて遙にアジア・オセアニアの二大洲と相對せり。而して新舊兩大陸の間に於けるベーリング海峽は、其間僅に二十餘里。又、カムチャツカ・アラスカ兩半島との間には、アレウト列島の連鎖あり。面積凡そ一千六百萬方哩。人口凡そ一億四千五百萬あり。

地學上の位置

位置

地學上の位置

フランス領	1,100	1,100,000
オランダ領	550	550,000
デンマルク領	110	110,000
コロンビア共和国	550,000	550,000,000
エクアドル共和国	110,000	1,100,000
ペルー共和国	300,000	3,000,000
ボリビア共和国	200,000	2,000,000
チレ共和国	200,000	2,000,000
ベネズエラ合衆國	100,000	1,000,000
イギリス領	100,000	1,000,000
グイアナ	50,000	500,000
オランダ領	50,000	500,000
フランス領	50,000	500,000
ブラジル共和国	1,100,000	11,000,000
パラグアイ共和国	200,000	2,000,000
ウルグアイ共和国	110,000	1,100,000
アルヘンチナ共和国	1,100,000	11,000,000
イギリス領フオークランド諸島	50,000	500,000
合計	12,050,000	120,500,000

地相

地勢は南北兩アメリカ共に相似たり。即ち其東西の兩海岸に近く、南北に走れる山脈ありて、其中間には廣大なる平地を包み、中央アメリカに於ては、南北兩アメリカに於ける兩山脈を連接せしめ、稍々複雑せり。一般に西部山脈は高嶺秀峰に富める隆起帯をなせども、東部山脈は斷續起伏常なくして、時に顯明を缺くものあるも、間々二千乃至二千五百米に聳ゆるものなきにしもあらず。

《ロッキー山系》 アメリカ洲西岸に横れる大山系は總稱してコルデレラ山系と稱す、ロッキー山脈は、北はアラスカより南は中央アメリカまで、蜿蜒千九百里にわたる。西にカスケード及びシエラ、ネバタ山脈これと並行して、北緯三十五度乃至四十五度に於て三四百里の幅員を有する大高原をつつみ、メキシコに至りて、シエラ、マドレとなり、其東西兩部を走り、其中間には廣大なるメキシコ高原を形成し、以て中央アメリカの諸山脈に連續せり。而して之が地質的構造は極めて複雑を極むるも、岩石の大部は中世代に屬し、第三紀及び第四紀の堆積物を混じ、又、火山作用盛なりしたため、所々に熔岩層の厚さもあり。此他水蝕作用によりて生ぜしカニオン及び山脈に於けるバックス（南北に走れる並行山脈間に東西に横はる小山脈ありて包容せられたる岩石地にして雜草の間に岩石露出し温泉間歇泉

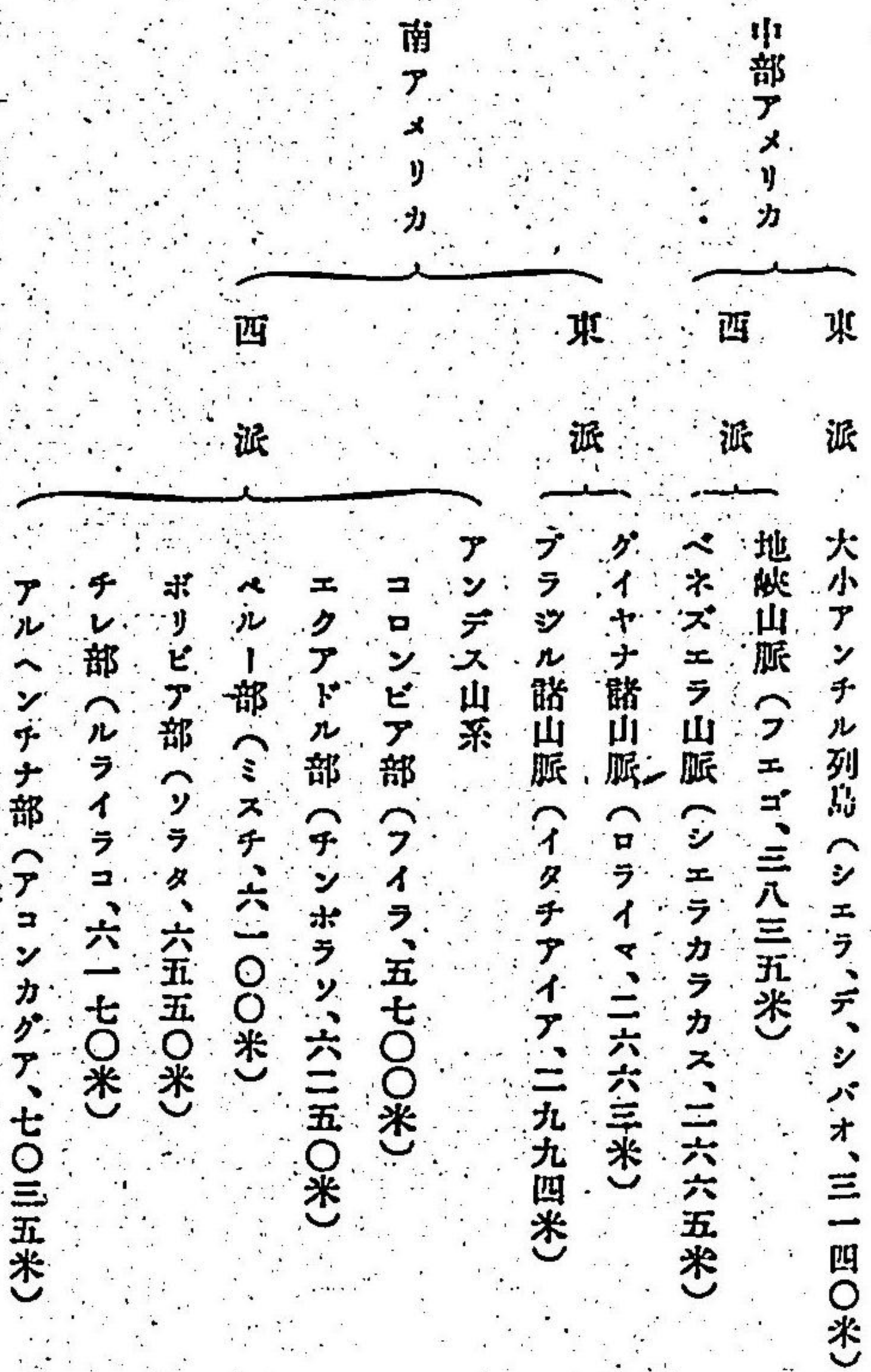
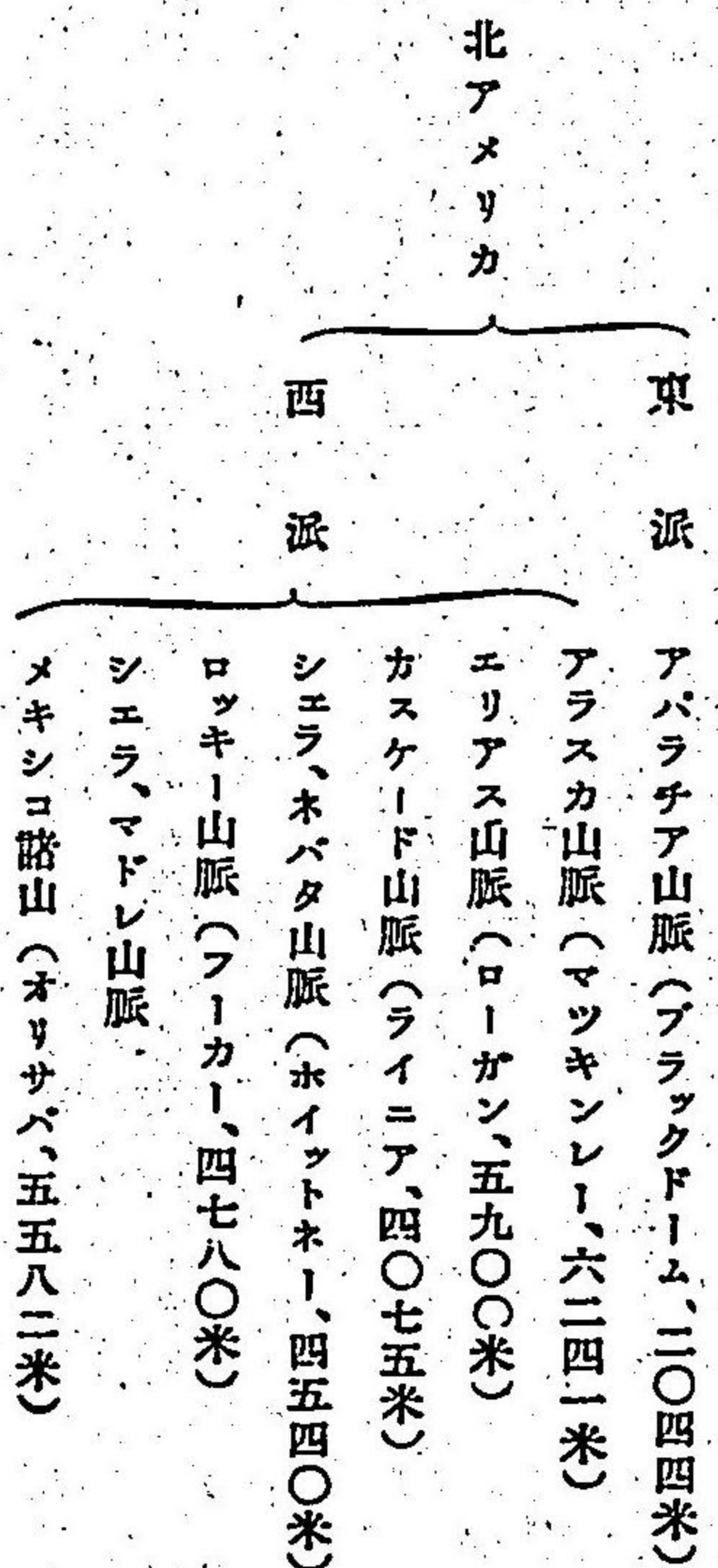
Cascade
Sierra Nevada
Sierra Madre

Canon
Parks

も多し)等は頗る注意すべきものとす。

《アンデス山脈》 南アメリカの西岸に接して、南走するもの一千六七百里、フエゴ地方に至りて盡く。本山脈は南緯十八度以北の地にありては、凸部を西方に向はしめて灣曲せり。又、一般に火山に富み、活火山多く世界最高の活火山コトバクシ(一九六〇〇尺)を有し、又新大陸第一の高峰アコンガクア(二三〇八〇尺)の如きも、消火山の一たり。蓋し本洲がアジアに次ぎて火山多きは、彼のアジアの火山脈はアレウト列島によりアラスカに入り、北アメリカの西岸を直下して、南アメリカに至り、多數の火山を現出し所謂太平洋沿岸火山脈をなす、而して太平洋岸に於ける震災の多き亦之に因る。

Terradel Fuego
Cotopaxi
Aconengua



《河流》 本洲河流は一般に水量豊富にして、支流多く、灌漑の利と交通の便とを併有せり。

此國に於ける南北に貫通する分水嶺は、西部に偏倚し、東西に走れる分水嶺は北部の中央にあり。従つて河流は之を北極洋・太平洋・太平洋の三大斜面に分つことを得べく、其内太平洋斜面最も地域廣大にして、降雨多く、地味肥え、河流の發達最も著しきものなり。

ミシシッピ河 世界第一の長流にして、源をカナダ國境に近きイタスカ湖に發し、相連

地相

八九三

Itasca

なれる小湖を貫き、草原の地を濕し、高さ十五尺許りのセント、アンソニー瀑布以下、平野の間を流れ舟運の便あること二千二百哩、支流甚多く、舟を通ずるもの五十以上に及ぶ支流の最も大なるをミズーリとなす。セントルイスを通過したる後、直立九十米の岩石よりなれる峡谷を流れ、更にオハイオ河、テンネッシー河及びアーカンサス河等の水を受け、滔々としてメキシコ灣に注ぐ。流程凡そ二千六百哩、河口には著大なる三角洲あり、その起點は海岸を距る二百廿餘哩におこり、バヨースと稱する幾多の枝流を分かつ。三角洲は森林蘆葦相茂り殆ど通過すべからざるものあり。河水の流下する土砂一年凡そ四億噸、實にパナマ運河の全掘鑿土量に相當すと、從て三角洲の發達著しく、十六年間に一哩つゝ海に突出する計算なり。河幅は所によりて異なれども、千米乃至三千七八百米ありて、水深亦七八十米に達するものありといふ。流域實に合衆國の三分の一に亘り、三十二州に及ぶ。もし夫れイリノイス河及びシカゴ運河の便を借らば水路メキシコ灣より直ちに五大湖に連なる。その生業、交通の上に及ぼす影響の大なる推知すべからずや。然れども水量の變化、砂洲の異動は、少からず交通の妨害を來たし、一方鐵道の發達あり、爲にセントルイスに集散する河船の如き四十年前に比して三割餘を減じたりといふ。

Ohio St. Athony
Tennessee
Arkansas

ミズーリ河

ミズーリ河 源をロッキー山系に發し、(河源を距ること半里にしてスネーキ河あり西流して太平洋に入る) 源流ジェファソン・ガラチン・マヂソンの三派あり。相合してミズーリとなるや、峡谷を奔流して無數の瀑流をなす、最高の者は九十六尺に及ぶ、フォートベントンにてロッキー山脈を離れ、流勢次第に緩漫となり、之より漸く舟楫の便あり。斯くて左岸にダコタを入れ、右岸にイエローストーン・ネブラスカ・カンサス等の支流を入れ、オザルタ山脈の北縁を劃しつゝ、ミシシッピ河に合す。流程凡そ三千餘哩、水批、流程共に本流にまさり、合算すれば四千二百餘哩に及び世界第一の長流たり。河道の岩石削磨され易く、河水爲に土砂を運ぶこと多し、これ泥河(ミズーリ)と名づけられたる所以なり。

オハイオ河 ミズーリ河合流點より少しく下流にてミシシッピに入る、水源はアレガニー山中の兩流より成り、ピップルグ附近に相合し、ルイスビル附近に急流渦をなせども、水量多く年中航行し得べし、全長九百二十餘哩、上流は階段的に閘門を設け舟を上下す、河水漸く、沿岸の風景亦賞するに堪え、アメリカラインの稱あり。流域に工業的都市多く發達せり。

セント、ローレンス河 セント、ルイス及び其他八十餘の小流スベリオル湖に集り、セント、マリア河によりてヒューロン湖に入り、セント、クレール河となりて流出し、セント、クレール湖を出てたる後は、デトロイト河となりてエリー湖に通じ、茲にナイヤガラ瀑布をなしてオンタリオ湖に入り、湖より出てんとする所小島甚だ多く、島上青松を頂き風光甚だ美に夏季避暑地として名高し、夏は船によりて諸島に通じ、冬は櫂を用ゐて交通す。これより以下始めてセント、ローレンスの稱を得て、或は急湍をなし、或は小湖をなし、數多

Madison Missouri
Jefferson
Gallatin

オハイオ河

の小支流を合して、下流三角江を形成し、以て海に注ぐ。流程凡そ二千三百餘哩。河は四季河水の増減最も少なく、一尺を超えずと、楊子江等とその性質全く相反す。上部湖水の水量調節の効多さを知るべし、五大湖と共に世界最大の淡水面積地をなす。

マッケンジー河 源流をアサバスカ河といふ。カナダ西部ロッキーマウンテン山脈より發しアサバスカ湖に入り、グレートスレープ湖となり、グレートスレープ湖に入り。又、流れてグレートベア湖等に入り、その出るマッケンジー河となりて北流し大三角洲を作りマッケンジー海に注ぐ、流程二千八百餘哩あり。下流は一年の四分の三は氷を以て閉さる。

マッケンジー河

ネルソン河 源をアッシニボイア川北レッド河・ウイニペク河及び南北サスカチワン川等の水を受くるウイニペク湖に發し、以てハドソン海に注ぐ。流域は多く森林を以て掩はるれども交通不便の爲未だ多く利用を見るに至らず。レッド河及ウイニペク湖畔は小麦の大産地たり。

ネルソン河

ユーコン河 ロッキーマウンテンの兩湖に發し、アラスカのほぼ中央を横ぎりベーリング海に入る、流程凡そ二千哩、下流は七月乃至十月は舟運の便あり、冬は橋道となる、カナダの境に近くクロンダイク、(河口より千五百哩)産金地あり。

アマゾン河 上流數支あれどもマラニオン河を最大とす、河は南緯凡そ十度のアンデス山脈中、バスコ高原に發す、高度一萬四千呎、太平洋岸を距る僅に六十哩のみ、右岸にヒウイグリウカヤリ(これを本流と見なす人あり)の兩河を併せ、千五百哩の流程一万三千

餘呎を急駛するを以て河水急湍瀑布多く頗る壯觀を極む。イキトス(高度四百呎に達せず)以下三千哩、平野の間を流れ、ユルア(右)ヤブラ(左)ブルス(右)リオネグロ(左)マディラ(右)等二十餘の支流を合せ、河口はマラヨ島の爲に二分し、本流は北に、南支はバラ河と稱し、トカンチン河を合せて海に入る。次に河の特色數項を列記せん。

Madeira
Marajo
Rio Para
Tocantins
Iquitos
Jurua
Purus
Rio Negro

流域の廣大

水量

一、流域の廣大 トカンチン河の流域を除くも、よく歐洲の半ばに匹敵し得べし。
二、水量の多大 赤道豪雨帯に當り、南方多雨の時は南側の支流多大の水量をもたらし、北方多雨の時北側の支流多くの水を導く、従て水量多く、加之平野の間を緩流するを以て枝流側流甚だ多く、千哩の間よく本流に入らずして側流を續航し得べし。

流域の大森林

三、流域の大森林 所謂赤道の密林を有し、太古以來未だ嘗て斧鉞を見ざる處女林廣大なる面積を占め、晝なほ暗く透過甚だ困難なり。森林中にはラツバト(ゴム)ココ椰子其の他の熱帶樹多し。

可航水路

四、可航水路 イキトスまで三千哩、支流の可航水路を合算すれば三萬哩に及ぶべしとす。

河の分裂

五、河の分裂 アマゾン及オリノコの分水嶺は甚だ不明瞭にしてネグロ河の支流カシキ

地相

Cassiquiare

流域
河名の起源

六、流域 ほぼ圓形をなすこと、コンゴー流域に似たり。
七、河名の起源 一五四〇年スペインの探検者が初めてここに到りし時女軍の一隊を見たり、依て名づくるにかの希臘神話中の女神アマゾナを以てせりと、或はいふ、アマヌはインディアンの水聲の義なり。下流の波濤の響より命せるなりと。
八、下流 にボアー(餞塘江の條を見よ)の現象あり。

オリノコ河(水の義なり) ギアナ高地の南側より發し、初め西流し、カシキアレを合せ大迂曲をなし、河口大三角洲をなし、五十の支流にわかれて海に入る。流緩やかにしてアテウレス急流以下舟を通ずべきも利用未だ大ならず、此河は主としてコロンビア及びベネズエラの二國を灌溉せるものなり。流域一般に草原をなし所々林叢あり、所謂リヤノスこれなり。

ラブラダ河 上流はパラニア(水の義)河にしてトカンチン河源の南方に發し、パリメ山脈の二小湖に發せるパラグアイ河を合せ、其他アンデス山脈とブラジル山脈の間の水を集め、南流して河口に近くウルガイ河を併せ三角江をなし太西洋に注ぐものなり。ラブラタは三角江の部分の名にして、銀の礦、所謂銀河なり、流域をパンベスとす。

北極洋
マッケンジー河(二八〇〇哩)
ネルソン河(一五六五哩)

Mackenzie
Nelson

Parana

Atures

Amazona
Amasutu

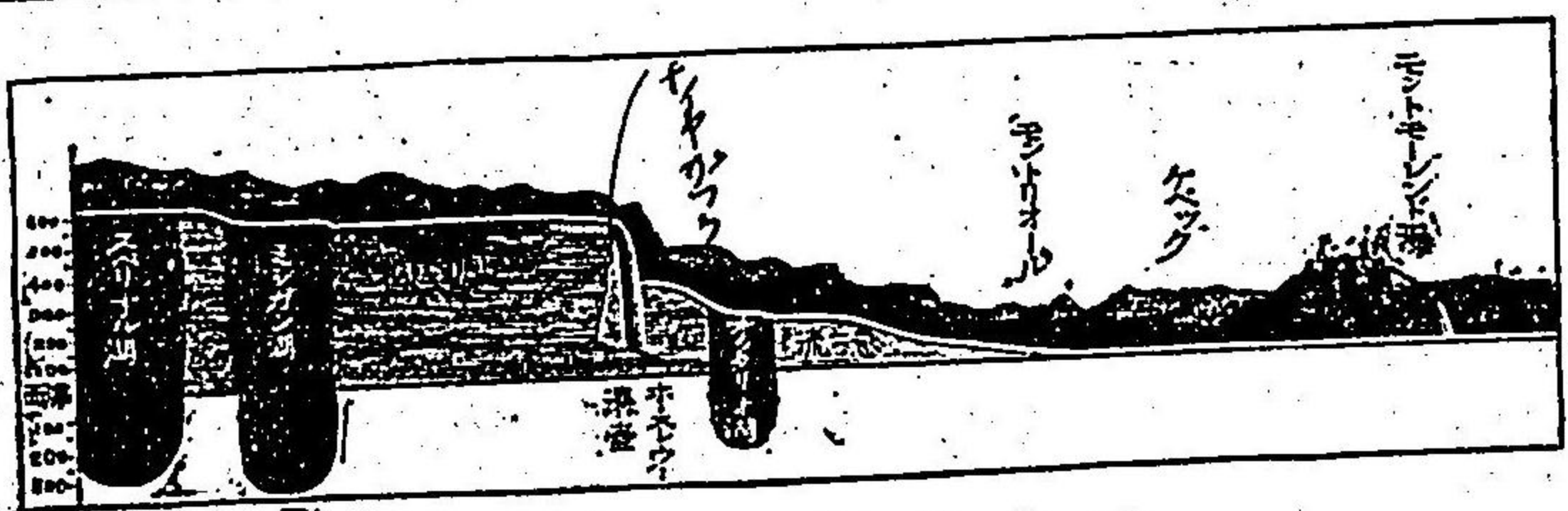
大西洋
セント、ローレンヌ河(二三五〇哩)
ミシシッピ河(四二五〇哩)
リオ、グランデ、デル、ノルテ河(一八〇〇哩)
マダレナ河(八二五哩)
オリノコ河(一三五五哩)
アマゾナ河(四〇〇〇哩)
トカンチン河(一七五〇哩)
サン、フランシスコ河(一八〇〇哩)
ラブラタ河(二八七〇哩)
コロラド河(二二二〇哩)
コロンビア河(二二二〇哩)
フレザー河(七三五哩)
ニューコン河(二四四〇哩)

Rio de la Plata
Rio de los
Tocantins
S. Francisco
Orinoco
Amazonas
Rio Grande del Norte
Magdalena
St. Lawrence
Mississippi

Colorado
Columbia
Fraser
Yukon

(湖沼) 北アメリカの東北部には著大なる湖沼多く、互に相並列し、殊にセント、ローレンヌ河の流域中に於ける五大湖中、スペリオル湖の如きは、世界に於ける淡水湖の最も大なるものたり。而して南アメリカに於ける湖沼は一般に小なるもののみなり。
スペリオル湖 世界第一の淡水湖にして、面積凡そ三萬餘方哩、海拔凡そ百八十二米に

地相



五湖地方の断面圖

あり。湖岸は其北部に於て峻峯絶壁多く、南部に於て低平なり、湖中には玄武岩及び花崗岩質の島嶼多く、ローヤル島最も大なりといふ。本湖は其受容河流は四十斗り、細流二百餘に及べども、排水は僅に一のセントマリー河あるのみなり。湖の近傍銅鐵の鑛産に富む。

ミシガン湖 本湖の領域は全くアメリカ合衆國內にあるものにして、面積凡そ二萬三千餘方哩。マキナウ水道によりてヒウロン湖に通ぜり。湖岸は一般に低平にして、北部に於て出入最も多し。

ヒウロン湖 此湖はセントマリー河によりてスベリオル湖の水を受け、マキナウ水道によりてミシガン湖の水を容るものにして面積凡二萬三千七百方哩。湖中グランドマニテウリン諸島あり其奥にジョールジア灣あり、運河及び河に依りモントリールに連る。

エリー湖 五大湖中最も南に位せるものにして、運河によりてハドソン及びオハイオに通じ、又、エルレンド運河によりてオンタリオ湖に通ぜり。面積凡そ一萬八百方哩、水深又大ならず。湖の西南

Grand Manitowish

部には樹木蒼鬱たる島嶼少からずといふ。

オンタリオ湖 五大湖中最も小なるものにして、面積凡そ七千方哩、最も東部に位し、ナイアガラの水を受け、セント、ローレンス河を流出せしむるものにして、湖岸は一般に低平なり、

	長さ	巾	高さ	深さ	面積
スベリオル	四二〇	一七〇	五三	九〇〇	三、五〇〇
ミシガン	三〇五	七〇	五〇	一七〇〇	三、六〇〇
ヒウロン	四〇〇	一〇五	五八	五〇〇	三、七六〇
エリー	三二〇	五七	五五	六〇	一〇、〇〇〇
オンタリオ	一七〇	五五	三三	四二	七、三三〇

五大湖の面積凡そ九萬八千方哩、我が本州に四國を加へたるより更に大なり。スベリオル湖はほゞアイルランドの面積に等し。

此他の湖沼 此他アメリカ大陸には湖沼極めて多く、殊に西部高山脈中の高臺地には幾多の淡水湖及び鹹湖あり。

地相

- カナダ湖地方 マニトバ湖 ウィニペグ湖 ウォラズトン湖 レーベンチア湖等
- 合衆國 グレート、ソルト、レイク湖
- 中央アメリカ ニカラグア湖 マナケア湖
- 南アメリカ ベチズエラ湖 マラカイボ湖 ペルー湖 チチカカ湖 アウラガス湖 アルヘンチナに於けるアンテス山麓の諸湖

- Manitoba
- Winnipegosis
- Wollaston
- Reindeer
- Great Salt Lake
- Nicaragua
- Managua
- Maracaibo
- Titicaca
- An Ingas

海岸線の延長は北アメリカに於て凡そ二萬九千五百哩、南アメリカに於て一萬五千三百哩にして、前者はヨーロッパに次ぎて海岸線の發達せるものなれども、後者はオーストラリアに次ぎて世界の第四位にあり。一般に北アメリカの北岸及び東岸は西岸より出入多く、又低平なり。されど西岸は急峻にして屈曲少し。而して南アメリカに於ては、南半球に於ける他の大陸と同じく、土塊的形狀を有し、沿岸單調にして、殊に稱するに足るもの無し。

- 北極洋 マッケンジー灣 フランクリン灣 メルビル灣 プーシア灣
- バツフィン灣 ハドソン灣 セント、ローレンス灣
- ファンデー灣 メーソ灣 チェサピーク灣
- メキシコ灣(カンベシウ灣) カリブ海(ホンジュラス灣・モスキト灣・ダリエン灣・マラカイボ灣)
- 太平洋
- ラプラタ河口 プランカ灣
- サン、マチアス灣
- グアヤキル灣 パナマ灣 フオンセカ灣
- テファンテベク灣 カリフォルニア灣
- ベーリング海(プリストル灣・ノルトン灣)
- バンクス海峽 バルロー海峽 ランカスター海峽 ロビンソン海峽
- スミス海峽 デービス海峽 ハドソン海峽
- ベル、アイル海峽 カボット海峽 フロリダ海峽
- ユカタン海峽
- マガリアニス海峽
- ベーリング海峽
- プーシア半島 メルビル半島
- ラブラドル半島 ノワ、スコチア半島
- フロリダ半島 ユカタン半島 ゴアヒラ半島
- カリフォルニア半島 ケナイ半島 アラスカ半島
- テファンテベク地峽 ホンデウラス地峽
- コスタリカ地峽 パナマ地峽
- ダリエン地峽

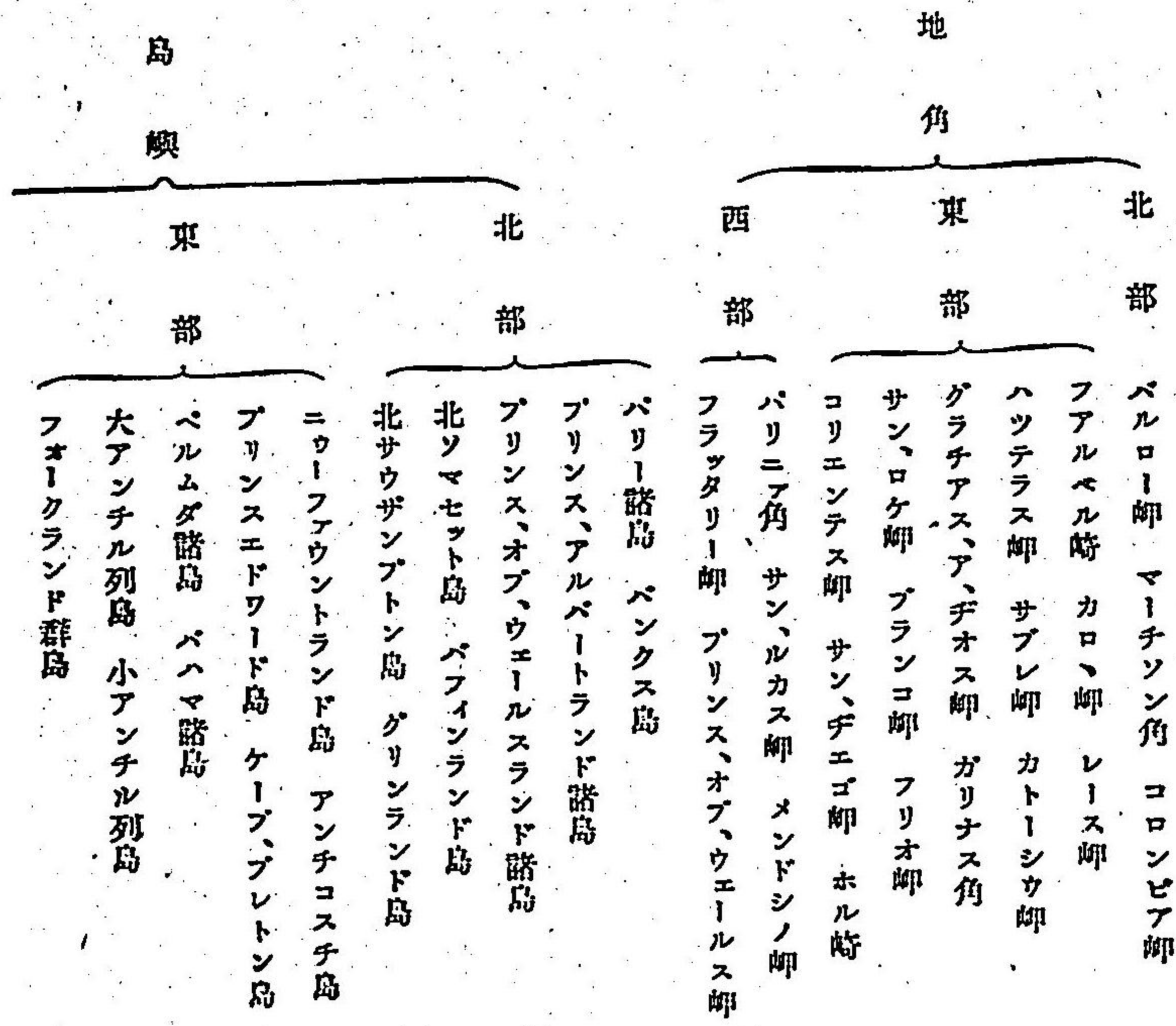
- Chesapeake
- Mexico
- Caribbean
- Campeche
- Honduras
- Mosquito
- Darien
- Maracaibo
- Mackenzie
- Franklin
- Boothlin
- Baffin
- Hudson
- St. Lawrence
- Fundy
- Maine

- Behring
- Bristol
- Norton
- La Plata
- Blanca
- S. Matias
- Guayaquil
- Panama
- Fonseca
- Tehuantepec
- Californin

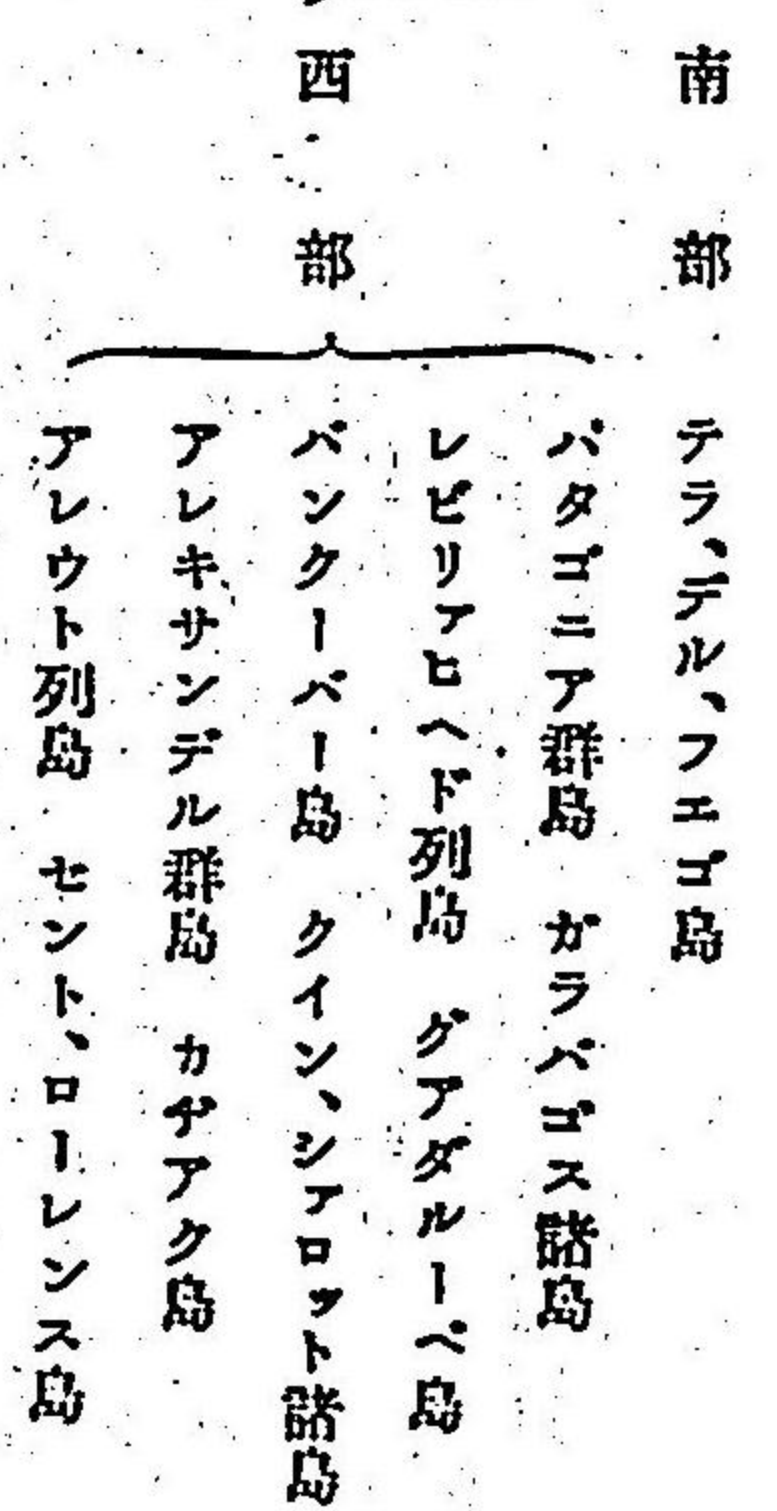
- Belle Isle
- Cabot
- Florida
- Yucatan
- Magellan
- Banks
- Barrow
- Lancaster
- Smith
- Davis
- Hudson

- Melville
- Labrador
- Nova Scotia
- Florida
- Gonjim
- Yucatan
- California
- Kenai
- Alaska

- Costa Rica
- Panama
- Darien



- | | | | |
|---------------|-------------------|-----------------|-----------|
| New Foundland | Parry | Graciosa Dios | Barrow |
| Anticosti | Banks | Gallinus | Murchison |
| Prince Edward | Prince Albert | Sao Roque | Columbia |
| Cape Breton | Prince of wales | Branco | Farvel |
| Bermudas | North Somerset | Frio | Charles |
| Bahama | Baffin Land | Corrientes | Race |
| Antilles | North Southampton | S. Diego | Hatteras |
| Falkland | Greenland | Prince of wales | Sable |
| | | Parina | Catoche |



- | | |
|-----------------|------------------|
| Kndiak | Tierra del Fuego |
| Aleutian | Patagonia |
| Galapagos | Galapagos |
| Revilla Gigedo | Revilla Gigedo |
| Guadalupe | Guadalupe |
| Vancouver | Vancouver |
| Queen Charlotte | Queen Charlotte |
| Alexander | Alexander |
| St. Lawrence | St. Lawrence |

氣候

南北アメリカは其延長に於て氣候に差異あるは勿論、其他海陸の關係、山脈の趨勢海流及び氣流の方向等によりて、之を北中南の三部に分つことを得べく、一般に北部北アメリカは溫帯に、南部大半は熱帯に屬せりといふことを得べし。今更に之を詳説せん。

北部即ち北アメリカにありては、其西岸に於て北アラスカより南カリフォルニア地方に至るまで、緯度の低下に連れて、溫度は漸次増加すれども、東西兩山脈間の平野は、之を東西に横斷する高處の存するものなきがゆゑに、極地の寒風は直ちにその平原に影響を及ぼし、此の平地に於ける氣溫は、之をヨーロッパ同緯度の地に比すれば、甚だ低し。而してカナダ地方の如き、冬季は永くして寒氣強く、ハドソン灣の如きは北米流水の基を

なし、夏の終りに既に結氷を初む。夏季は短きも南部にては暑熱頗る強く、これこの地方をして小麥の大産地たらしむる大原因なり。大西洋岸の中部南部は、彼の赤道下より來る灣流の影響を受け、氣候甚だ溫和なり。

中部に於ては、概して暑熱甚しく、低地は濕熱にして高燥の地にあらざれば、溫帶人の居住に適せず。

南部即ち南アメリカは大部分熱帶圈内に位し、南方の一部溫帶圈内にあり。而してグイアナ地方、オリノコの流域、太平洋沿岸の北部等は炎熱に苦めども、ブラジルの東南部、チレの山地等に於ては、溫暖なり。一般に海洋的氣候を有し、冬期も亦頗る溫和なりと

す。

雨量は北アメリカに於て、一般に乏しきにはあらざるも、亦多量なりとはいふべからず。其内最も多きは、西北部の英領コロンビア地方にして、之に次げるはフロリダ地方、並にミシシッピー下流の地たり。又雨量の最も少きは、カナダ及び合衆國の中央廣原東部及高原地方にして、西南部シエラ、ネバタ山脈の高地に於ては、沙漠を現出せるあり。

中部は概して降雨多く、殊に東部沿岸を以て然りとす。又島嶼部は一般に多からず二米

突以上に達するもの稀なりといふ。

南部即ち南アメリカは雨量多く、殊にアマゾナ流域地は極めて濕潤なり。然れどもグイアナ山脈は大西洋より來れる溫風を遮りてベネズエラのリアノスを生じ、ブラジル山脈はアルヘンチナのバンバスを生ぜり。此他アンデス山系の東斜面は多量の雨水を受くるも、西面は甚だ僅少にして一部沙漠をなす。

富源 本洲は各種の天産物に富み、殊に北米の鑛産豊富なる、南米の植物繁茂せる事は其の著しきものにて、南米の如きは植物大陸の名ある程なり。鑛物につきては金・銀・銅・鐵・石炭・石油・白金・金剛石・寶玉等あり。殊にアラスカよりカリフォルニアに至る西部沿岸の金、合衆國の銀・鐵・石炭・石油及びメキシコ・中央アメリカの銀、ブラジルの金・金剛石、チレの硝石の如きは頗る著名なるものなり。

植物は北アメリカに於て、カナダは世界北方森林帶の一部をなし、合衆國の中央部に至り、一帶の曠原をなせり。而して東西の兩山脈も亦甚だ森林に富む。中央アメリカ及び西インド諸島は熱帶植物甚だ繁茂せり。南アメリカはアマゾナ流域地に於て、熱帶性植物密生し、有名なる水草ピクトリアレンジアリスの如き、巨大圓形なる花葉水面に浮びて繁

生せり。植物中今は諸方に擴がるも本大陸を原産地とせる有名なるものはココ椰子・バラ護
 謨その他のゴム産樹、アナナス(バインアップル)・チンチョーナ(幾那)・ヴァニラ・カカオ(チ
 ヨコリート原料)、ココ(コカインを製す)等にして、又アンデス植物として、アニョックの
 如き、パタテの如き、馬鈴薯の如きあり。メキシコのアガベ(又マゲイ龍舌蘭の一種)カ
 クタスの如きあり。煙草はオリノコ流域・西印度諸島を、玉蜀黍は廣く本大陸を原産地と
 す。其の他諸種の木材藥材染材多し。

●煙草 是初めスペイン人が西印度諸島中の一小島トバゴ島より得て、之を歐洲に廣め
 たり、煙草の稱は島名より此これり。

●甘藷 本大陸を原産地とし、コロムブス初めてこれを女王イサベラに獻じ、後全歐に
 廣まれり、我國には慶長年中福建省より琉球に輸入せられ、寛永年中薩摩に入れり、享
 保年中井戸平左衛門これを石見に植え、青木昆陽これを關東に弘めたり(昆陽に甘藷先
 生の名あり、先生に蕃薯考の著あり)琉球九州にては蕃薯即ちカライモと稱し、九州の
 一部及び中國にては琉球芋と呼び、近畿以東は薩摩芋と稱す、如是名稱の轉遷は實に甘
 藷傳播の系統を明かにするものにして *Nomenclature* が地理學に於て注意すべき者た

るを示す一好例なり。

●玉蜀黍 (*Maize or Indian Corn*) はアメリカインデヤンの常食たりしよりインデアンコ
 ンの名あり。

●動物 是舊大陸に比すれば高等動物に於いて甚だ種類少し、昆虫類(赤甲虫・蚊蟻の種
 類)蝶類爬虫類(響尾蠅ボア、アナコンダ・アメリカ鱷等)鳥類(コンドル鳥、鸚鵡等)に特
 異のもの多く。又七面鳥の原産地たり。哺乳類中舊世界の巨大なる虎獅子に代ゆるにジ
 ヤガリ、ビウーマを以てす、家畜は大抵歐洲より傳來せるものなれどもその繁殖夥し、
 本大陸の家畜としてはアンデス山中のヤマ、アルバカ、ウイキウニア等の半野獸あり、野
 牛(近來其數大に減ぜり)麋鹿、羚羊、海狸等あり。魚族は鮭・鱒・鯨・鯨等あり。
 生物分布の狀を概觀するに南米は一箇獨立せる生物帶を形成し、北米は地質學上の
 近代まで舊大陸と連絡を保ちしものなるが如く、南米に比すれば舊大陸に類似せる所少
 なしとせず。

●住民 人口一億五千萬ありて一方哩に付平均九人内外に過ぎず。然れども其分布は均一ならずして密なる地方
 は三百人以上に達し、疎なる處は殆ど無人の境にあり。

住民の種族中最も多きは白人種にして、全人口の凡そ五分の三あり。其内イギリス人は最も多く、北部にあり、イスパニア・ポルトガル人等は中部南部に分布す。アメリカ、インデヤンは全土に散じ、その數次第に

- 一、北極及びベーリング種屬
エスキモー（自らはインヌイト即人と稱す）
アレウト人
バンクーバー種屬
- 二、アメリカインデヤン
北部（ケナイ、アサベスカ人、アルゴンキン人、イロチーズ、ダコタ、シウ等）
南部（ポトクド、カリブ、ペカイリ、アテウラ等）
- 開化せる種屬
メキシコにアズテク王朝を立てテナファン又はメキシコ土人、ペルーにインカ帝國を創めしもアメリカインデヤンたり。
- 三、黒人
- 四、雜種

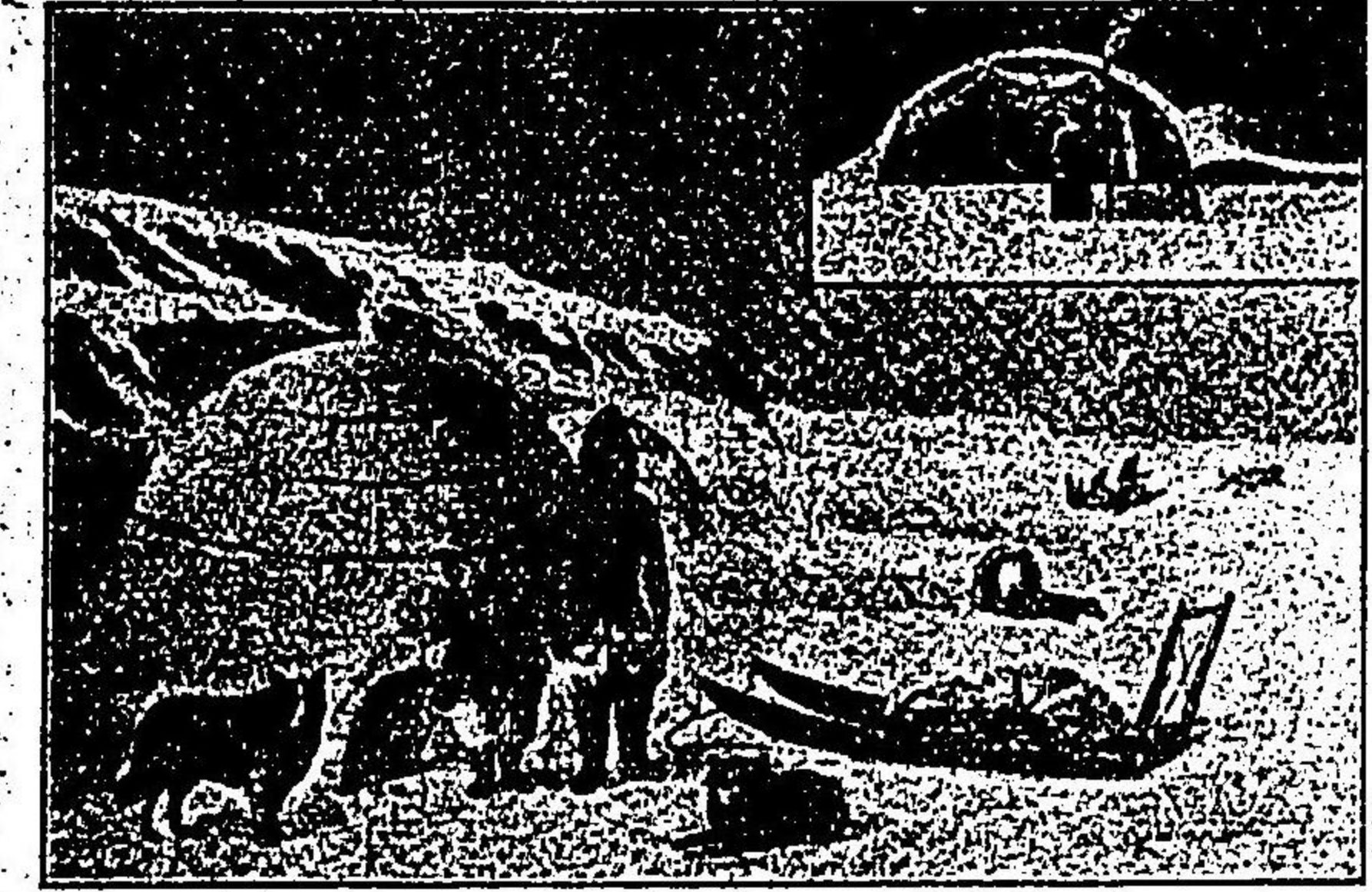
宗教は白人の優勢なると共に、キリスト教の勢力頗る盛にして、新教七千七百萬、ローマ舊教六千七百萬、猶太教百五十萬人にして、其他は拜物教及び其他の異教徒たり。

圖人一モキスエ (よせ意注に袋る入を兒小其)



滅じつつあり。黒人は濠洲にアフリカより輸入せる奴隷の子孫なり。雜種にはメステイツ（白人とインデヤン）ムラット（白人と黒人）ツアンボ（黒人とインデヤン）あり有色人の數は詳かならず、土人千八百萬人、メステイツ五百萬、黒人其他にて三千萬位ならん。これに東洋より移住せる日本人、支那人あり。

アメリカインデヤン



活生の人 - モキスエ

人の俵を存す、大は彼等に取りて非常に必要なる家畜にして糞を曳かしめ、漁獲の助手とし、而してその肉は食用に、その革は敷物その他に用ふ。

住 民

アメリカインデヤンは幾多の種屬に分れるは前表の如し、その特色は一般に長き黒き直毛を有し鬚鬚殆んど絶無、骨高く、眼は小に、鼻は扁平にして四く、口大きく唇厚し、色は銅色なれども其濃稀の度種屬に依て異なる、多く狩獵を事とし、騎馬弓術に長じ、革にて作れるテントに住す。メキシコに於ける彼等は一時相等の文化を發達せしめ、アズテク王朝これに君臨し、灌溉耕作の法を知り。日乾しの煉瓦又は石を用ひて家を作り集團的部落を營めり。その家は層々相重なり、階子は外部にかけ屋頂より出入す、所謂プエブラなり。南米に於いてこれに比すべきはインカ國にしてペルー・ボリビア・エクアドルに亘る高原を占有し文化發達せり、その文化の一般は道路の築造、祭天の石及其彫刻等に依て發露し得べし、二國共にスペインに亡ぼさる。エスキモー人 北部グリーンランドよりアラスカに至る北極洋沿岸に住居せるものにして、軀軀極めて矮小なり。而してアレウト島に住するアレウト土人も亦此種に屬するものなりといふ。彼等は夏時はタビックスと稱する革製テントに住し、冬は雪氷を以て掩ひ革にて裏つけせるイグルーなる小屋に住す、其一生涯の苦心は如何にして衣食を得べきかにありて、從て昔より些の變化無く太古原

交通 本大陸は其發見以來僅に四百有餘年に過ぎざれども、アメリカ合衆國の如きは移住民の堅忍敢果なると天産物の豊富饒多なるにより忽ち國力の膨脹發展を來して、今やヨーロッパの諸強國と競争并馳するに至りしのみならず、或は之を凌駕して、以て世界の經濟上の重大なる位置を占むるに至れり。加ふるに近年各種の工業盛に勃興し、學術技藝に於ても、亦漸く獨立研究の歩を進め、ヨーロッパ諸國の之に倣はんとするものあるに至れり。

本洲中、其最も交通機關の發達せるは北アメリカにして、大西洋及び太平洋の航路を接続すべき横斷鐵道の如きは數條敷設せられ、又、國內の交通の如きも、洋々たる大河及び運河の航路と共に、鐵路は縱横に布設せられて、水陸の便至らざるなく、今や既に南北アメリカ縱貫鐵道すら計劃せられて、之が工事に着手しつゝありといふ。而して鐵道の總延長は凡そ二十五萬哩に達し、南アメリカに於ても亦二萬五六千哩を算するに至れり。

此國交通經濟上殊に人目を惹くべきものは、太西太平洋兩洋を接続すべき中央アメリカの運河工事にして、レセップ氏が七年間の苦心慘憺も、資本缺乏と經濟上の失策と、係員の失費等の故を以て空しく水池に歸し、今や合衆國政府は専ら之に向つて力を注ぎ、七億五

千萬圓餘の豫算を以て、大にその功を早め爲に一九一四年を以て開通せられんとす、これにして成らば東西洋交通は爲に一大變化を呈するならん。(中央アメリカの部に詳し参照すべし)

産業 産業の重なるものは、北部の森林業・農業・漁業を始めとし、牛・馬・羊・豚等の牧畜頗る盛に、其他金・銀・銅・鐵・石炭・石油等の産頗る多く、製造工業亦近來大に勃興するの氣運にあり。而して南アメリカに於ては、其開明の程度北アメリカに及ばざるや遠く、加ふるに白人の住居せるもの、亦少きがゆゑに、産業の發達見るべきもの少く、農業牧畜の外は、金剛石・硝石・金・銀等の採掘稍々盛なるありしが近時歐洲諸國に於ける文化の進歩と共に工業の發達頗る著しく、その原料の需要夥しく、其原料の供給地は主としてアジア、アフリカ、南米に求むるに至れり、アジア及びアフリカはその地勢氣候の關係より原料供給地として不便利少からざれども、南米の地は大部分熱帯に位しアフリカ、アジアの如き大不毛地を有せず、濕氣溫度の多量なる、諸種の植物に富める前述の如し、されば原料産地として南米の現在及將來は括目に値すべきものあり。

第拾五篇 北アメリカ洲

一、グリーンランド (緑州) Greenland

此地の探検は千八百八十八年、ナンセン氏の東西横断を以て有名なりとし、一八九二年ペーリー初めてその島なることを證し、一九〇一年遂にその北端を極め八十三度三十九分なるを確めたり。

位置 アメリカ洲の東北、北極洋中に位し、面積凡そ五十萬方哩、實に世界第一の大島なり。此地西はデービス海峡、バフィン灣、スミス海峡等によりてアメリカ大陸及び北極洋諸島と隔てられ、東は大西洋に面し、東南百五十哩をへだてアイスランド島と相對せり。その南端はぼく露都ヘテルブルクと緯度を同うす、全島多くは氷雪を以て被はれ、内部は明かならず。デンマルクの行政範圍は僅かにその海岸數十哩に限られ、面積四萬六千七百五十方哩あれども人口僅に一萬五千餘に過ぎずといふ。

住民 住民の多数はエスキモー人種にして、白人種は其數僅に二三百人にすぎず。

エスキモー人は、モンゴル人種、又はアメリカインド人種の原始的狀態にあるものにして、生肉食者の義なりといふ。自ら稱してインヌイトといふ、人の義なり。アメリカ及びアジアの北極諸島に散在し、其數凡そ四萬以上に達し、常に種族を分ちて領土を有し、酋長之を支配して質朴簡單なる社會組織をなせり。宗教は、猶古のシャマニズム

Esximo

を信ずれども、中には耶蘇教に移りたるものも少からず。常に漁獲を業とす。體格矮小習俗儼然たるものあり。

地相 内地は常に、永久に氷雪に閉ざるゝを以つて、精密なる探検と調査とを遂ぐるに由なしといへども、平均凡そ六七百米に隆起せる高地よりなり、最高峯ヘテルマン峯の如きは四千五百米に達せりといふ。而してデンマルクの領土の如きは僅に沿岸一帯の狭長なる地積にすぎず。又、此等沿岸地といへども、常に氷河と氷塊との流出絶ゆるなく、僅に南部及び西部に於ける氷雪少きの地に於て、蒼白の蘚苔之を蔽ひ、ライ麥及び馬鈴薯等の耕作行はるのみ。

沿岸 沿岸の測量は未だ行き届かざるを以て、精密に之を知る能はず。極北の地殊に然りとす。而して其極南はフェアウェル岬の北緯凡そ六十度を限として、南部沿岸は比較的明瞭なり。又、東岸は數回の探検を経て、港灣の乏しからざるを認められたれども、常に氷山流水の閉塞するあり、航行險惡なるを以て、近づき易からず、捕鯨に従事するものゝ外は、往來甚だ稀なり。西岸はデービス海峡、バフィン灣に臨みて數多の峽灣を有し、結氷の障害少きを以て、航行比較的安全なり。

氣候 **富源** 氣候極めて寒冽にして、冬期の如きは實に攝氏零下四五十度に達する。

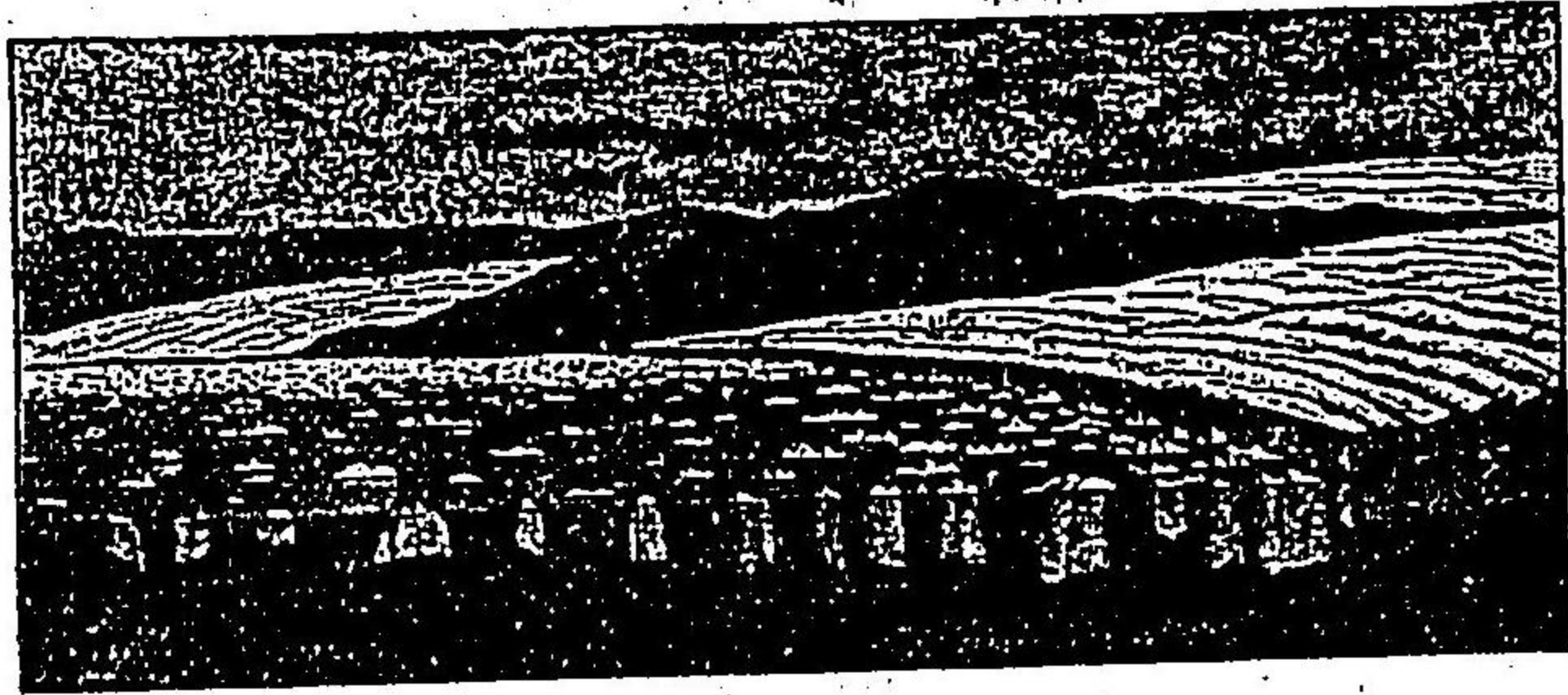
グリーンランド 位置、住民、地相、沿岸、氣候、富源

デンマルク
領グリーン
ランド

ことあり。夏期は短くして暑く攝氏十五度以上に達すること少からず。長さ夏日（北極圏を越れば日没せざることあり、極に進むに従つて、半年の晝、半年の夜となる）の温さ

時には西岸一帯に、テウンドラ地帯の緑色をなして横はるを見るべし。これその発見者が綠州と命名せる所以なり。一般に東濱はグリーンランド寒流に洗はるゝを以て氣候寒冷なれども、西岸はメキシコ灣流の分流あるを以て氣候稍々温暖なり。従つてヨーロッパ人は概して西岸の北緯七十四度以内に住居すれども、エスキモー人はなほ八十度内外の地にも生活し得と云ふ。

氷原 此地は氣候極めて寒冷なるを以て、永世不滅の氷雪は一面の氷海となり、我國の二倍にも當れるの地を蔽ひて、一大氷原を爲し、氷河となり、海岸に移下して波の爲に破碎せられ、海に浮んで氷山となり、風波に送られて遠く流下してニウファウンドランド島附近に至るあり、現に明治四十五年四月十四日英國の大船タイタニック（四萬五千噸、當時世界第一の巨船なりき）はニウフランド沖に於いて長百哩に亘る大氷整（？）に衝突し遂に沈没の災にか



内部の河水の海岸に到り波に流され氷水なるを

氷原

かれり。かかる大氷整のこの附近に棲はるゝは蓋し稀有の事なりとす。白熊海獣海鳥並に藪苔類の生存は、僅に西南の沿岸に止まり、内地は實に寂寥荒蕪を極め、生物を見るもの極めて稀なり。然れども積雪氷層の下に、往々喬木の樹根又は枝葉の模狀を發見するによりて考ふれば、太古の時代に當りてや、此地或は眞にグリーンランド（綠州）たりしものならむか。氷河の最も有名なるのはスミス海に下るフムホルト氷河にして中廿餘里に及ぶ。

氣候既に斯の如く馴鹿、麝香牛、極熊等の陸棲動物あれども甚だ少し。海には鯨海豹の類多く、漁業・狩獵の外には僅にライ麥並に馬鈴薯等の耕作あるのみ。産物中殊に名あるを魚類・魚油及び皮革等とす。

〔探検及植民〕 本島の植民は九百八十三年、當時のノースメンがアイスランドより移住して此名を附したるものにして、當時相應の植民ありしもの如きも後次第に衰頹廢滅し、その存在を忘れられたりしが十六世に至り英人フロビウシエル・タビス・ハドソン・バイロツト・パツヒオン等この地方を探検し、或はその名を海峡や海灣に残せり。爾來夏期漁舟の集まるものありしが、一七二一年に至り丁抹人ハンスエトゲはその先人（ノルマン）の跡を尋ねて爲に一族を率ゐて探検植民を企てたり、ゴットハープはこの時に建てられ喜望の義なり。

その殖民地中主要なるものは、西岸にウベルニビツク・ジウリアンハープ（一七七三年建

設)等あり。ウベルニビツクは七十二度四十六分に位し世界最北の人類常住地とす、東岸にアングマグサリツク等あり。

ギーセツケ
家
他の探検

ギーセツケ はフェロア島より緑州に達し、その岩石の研究につき大に貢献する所ありたり、後ダブリン大學に地質及礦物の教授たり。ジョンロスはスミス海峡に達し、ハイリッヒヒリシクの如きは一八四八年以來十六冬廿二夏をこの地に過せる等の事あり。一八七六年以來デンマークは組織的探検をこの地に行ひ、大に地理及生物の事情を明にし、一八九一年より三年間伯林地學協會は氷河の運動研究の爲探検隊を派遣せる等の事ありたり。而して本島の北端に關しては一八八〇年頃までは其詳細を知るに由無くペーテルマン氏の如きは其地圖に於いてグリオンランドの北部は延長してベーリシク海の北方に至りランゲンランドと接続せるものとなせり。一八八八年ナンセン氏初めてこれを横断し一八八二年アメリカ合衆國人ペリーは内部氷原を探検し、この地が八十二度の邊にて盡きるべきを唱導せり、後一九〇一年の旅行により愈々事實の上にこれを立證し、翌年更に北緯八十四度十七分の地點に到達せり。後氏は遂に極地に達するに至りしなり。(一九〇九年)。

北西航路の
發見

北西航路の發見 有名なる北極探検家マックルアーは西紀千八百五十年、太平洋よりベーリシク海峡に入り、アラスカの北岸と北極洋との間を航し、マケンジー河口をすぎで北極洋諸島に沿し、氷雪に閉ざるゝこと三年、徒歩東行してランカスター海峡に至り、漸く一船に救はれ、バフィンデービス等の海峡を経て、國に歸りしといふ。蓋し氏以前に於て北アメリカの北岸を経て東部アジアに達せんとせしもの多かりしが何れも失敗に終りしなり。

Maclure

Angmagsalik

二、カナダ (加奈太) Dominion of Canada

此地は千四百九十七年、ゼノアの人、ギオハネッチ、カボット氏のラブラドルに達せしを始めとし、(普通ジョンカボットとして知らる、其到着地點には異説ありて詳ならず、ダウソンの如きは多分カボットはニュースコットランドのブレントン岬邊ならんと主張す)其子セバスタアノ、カボット氏、其翌年を以て探検を遂げたる所にして、其後一五〇〇年ポルトガルの船長ガスパル、コルテリアルは二回の旅行を重ね、ニューフワウンドランド及びラブラドルに達し更にジャック、カルチエ氏三回(一五三四—三五—四一年)セントローレンス灣及びセントローレンス河を探検し、之をフランス領とし新フランスの名稱を與へたり、されど千六百八年ジャンブレングベグを建てしまでは、植民地の進歩は極めて遅々たるものなりき。斯くてフランスはノバスコシアよりスベリオル湖に達する地を占有し、更にミシシッピ河に沿ひ、メキシコ灣に亘る地方を領有し、一五六二年カロリナに要塞を築けり。千六百四十二年、モンラル(モントリオール)の建設を見るに至れり。

Champlain Giovanetti-Cabot
Montreal Sebastiano
Gaspar-Cortereal
Jacques-Cartier

時にイギリスは有力なるハドソン灣會社を創立して(一六七〇年)大に競争を試み、遂に千七百十三年、ウトレヒトの條約によりて、フランスよりニューフワウンドランド・ニュースコットランド・ハドソン灣等を割かしめたりしが、其後兩國間に境界の争論あり。戦争茲に開かれ、遂に千七百五十九年、イギリスの將ウォルフのために、佛はケベックの要塞を奪はれ、千七百六十三年、パリ條約の結果、全くイギリス領たるに至れり。

爾來西領土會社の設立(一七一三)ニューブルンスウィック及びノバスコシアの設立(一七八四)オタワ河を境とせる上下兩カナダ(オンタリオ及びケベック)の分立、兩會社の合同(一八二二)コロンビア殖民地の設立(一八五八)バンクーバー島の合併(一八六六)等を経て一八六七年上下カナダ・ノバスコシア・ニューブルンスウィックを合して、

カナダ

九一九

Dominion of Canada を作り、一八六九—七一年にハトソン灣地方・マニトバを合せ、二年の後にプリンスエドワード島を合せたり一九〇五年北西地方より分ちてアルベルタ・サスカチワンの二州を置けり。

位置 アメリカ合衆國の北部に擴がる廣大なる土地にして、東部に於けるグリーンランド及びニューファウンドランド、西部に於けるアラスカを除きて、他は悉く其版圖たり。即ち南境合衆國と分つには、北緯四十九度線と、ワード湖以東は、スベリオル・ヘーロン・エリー・オンタリオの四湖の中央線及び合衆國のメイン州の北境より、メキシコ灣に至る不規則なる線とにより、西境アラスカと分つには、西經百四十一度の子午線と海岸に沿ふ不規則の境界を以てせり。而して東は太平洋に臨み、西は太平洋に面し、北は北極洋に向へり。東西凡そ三千哩、南北凡そ二千哩、面積三千六百萬方哩ありて、ヨーロッパ全土と略ぼ其面積を同じうすれども、人口は僅に五百三十七萬にすぎず。

住民 新移民中最も多きはイギリス人にして、三百萬以上を占め、フランス人に次ぎて百六十五萬、ドイツ人三十萬餘あり。其他のヨーロッパ人百萬、アメリカインディアン及びエスキモー人百萬ありて、アフリカ黑人・シナ人・日本人等之につげり。

區劃 分ちて九州二地方とす。州は又それぞれ自治的組織の下にあり。

州名	面積	人口	口(一九一一年)	一方哩人口
ノヴァ・スコチア	二,四八六	五八〇,八七七	三,一〇〇	

Nova Scotia

ニュー・ブルンスウィック	二七,六八五	一,一八二,二二五	二,七〇〇	
プリンス・エドワード島	二,一八二	二二五,三三三	一,〇〇〇	
ケベック	二二,一七〇	一,〇〇〇,〇〇〇	四,五二二	
オンタリオ	二〇,八三三	二,五三三,三三三	一,二〇〇	
マニトバ	二七,三三三	一,〇〇〇,〇〇〇	三,六三六	
英領コロンビア	二七,七〇〇	一,一七三,七三六	四,二二六	
アルベルタ	二二,五五〇	一,二二二,二二二	五,四二二	
サスカチワン	二二〇,〇〇〇	一,二二二,二二二	五,四二二	
北西地方	一,三三三,三三三	一〇,一三三	〇・七	
ニューコン地方	一〇,一三三	一〇,一三三	一・〇	

Manitoba, New Brunswick
 British-Columbia, Prince Edward
 Alberta, Quebec
 Saskatchewan, Ontario
 North-west Territories, Yukon

地相 (一)西部はロッキーマウンテン及びカスケードの並行山脈あり、その間は高原をなし、三千呎乃至三千六百呎の高度を有す。

(甲)ニューコン高原 アラスカより續ける高原にしてカナダの最高地點をなし、エリアス(一八〇〇呎)・ローガン(一九六〇呎)等の諸峰聳ゆ。

(乙)コロムビア高原 南は合衆國につづける一大高原にして東はロッキーマウンテンと並行せるゴルト・カリブー・セリカークの諸山脈に限られ、フレザイ河・コロムビア河の上流を包む。

カナダ 位置、住民、區劃、地相

兩河共に屈曲せる峡谷急流をなす。もしそれ白雪氷河を有する山頂と、中腹以下鬱蒼たる針葉樹林とを眺望する時、その光景真に畫の如し。カナダ太平洋鐵道この間を駛走す。金石炭その他の鑛産多し。

(二)《中部平原》 南メキシコ灣頭より直に北極洋に迫まる北米大平原の北部にして、地形上ピリス・マッケンジー流域の北極洋斜面と、サスカチワン・ネルソン流域のハドソン斜面と、セントローレンス河流域の三區に分つべけれども、今氣候その他の關係より四帶に分ちて説明すべし。

(甲) 北部凍土帯 極北の地は互寒暗黒なる長さ冬を有し殆んど無生の野といふべく、夏季は短く温かにして太陽沒せず。舊世界の馴鹿に比すべきカリブーあり、人口もシベリアの凍土より稀疎、住民は夏季北方に轉移する毛皮獸の狩獵を業とするのみ。

(乙) 森林帯 西北西より東南東に走りマッケンジー、ネルソン下流・セントローレンス河並に互る、交通便利なる所は木材の産夥しく、毛皮獸多し。五大湖より西北に延ぶる一帯湖水甚だし、ウッド・ウキニベグ・ウキニベゴシス・レンディア・ウオラストーン・アサバ・スカグレートスレーブ・グレートベア等相連なる。

(丙) 小麥帯 カナダ南部より合衆國北部に亘り小麥の生育に適しその産額莫大にウイニペグを中心とす。

(丁) 草原帯 平原の西部、ロッキーマウンテンに近き部分は雨少なく、草原をなし、牧畜盛んに行はる。

(三)《西部》 大部分始原代の岩石より成れる高地帯ハドソン灣をめぐりてほぼV字形をなす。所謂ローレンシアン高原これなり。

(甲) バッフ・オン・ザ・ハイランド 年中多く雪に蔽はれ状況未だ詳ならず。

(乙) フラドール高原 スカチナウキア半島に類似す、大西洋沿岸は出入複雑にしてフキョルドの出入多くハドソン灣に面しては大部分低平なり、内部は未だ明かならざれども森林多き高原をなし、北に進むに従つてツンドラ地帯となる。氣候互寒にして農耕に適せず、數百のエスキモーが狩獵をなしつつ、漂泊するあるのみ。

(丙) アカチア地方 セントローレンス河の東南にしてアブラチア山脈の餘勢來りて臺地を作り、更にニウ・フランドランドに延ぶ。

(河流) セントローレンス・ネルソン・マッケンジーはカナダの三大河と稱せらるゝものにし

て、此他ラブラドル内部の高原より發する數多の小河流、ロッキーの東西に流下する諸川頗る多く、灌溉排水共に便なるものあり。

セント、ローレンス河 五大湖の水を集めて東北に流れ、河口は大なる三角江をなし、同名の灣に注ぐ、河は諸所急流多けれども今は之を避けて運河を通じ、小汽船は直ちに五大湖に通ずるを得べし、唯冬季氷結の不便あり。

支流の最も大なるはオタワ河にして上流は木材の運搬上重要なる水路をなす。

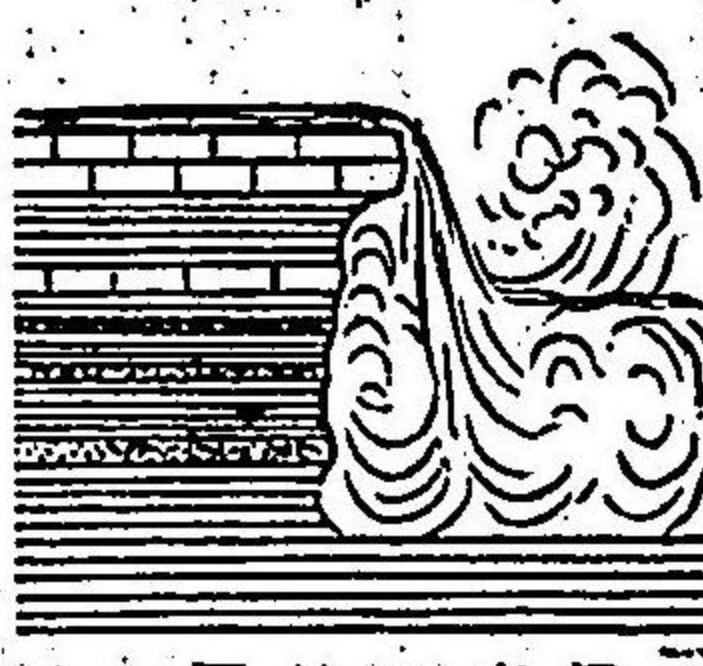
以上三大河の外、太平洋斜面に注げるものにエリーコン河、フレザー河、コロンビア河等あり。その地方に至りて説明すべし。

〔湖泊〕 五大湖の水相通じて世界最大の淡水流域をつくり、スベリオルの水ヒウーロンに通ずる所、セントマリー瀑布あり、これを避くる爲にエリーコンマリーの運河あり、アメリカ合衆國とカナダと各一を有す。ヒューロン湖とエリーコン湖とオントリオ湖との間は宛も半島状をなし、レイキベニンスラの稱あり、氣候溫和農業盛んなり。エリー湖とオントリオ湖との間落差甚大に、(前表参照)ここにナイアガラ瀑布を現出せり。瀑布は今ウエーランド運河によりて通ぜられ、舟運の不便無し、アメリカ合衆國にてはエリー湖より直にエリー運河

St. Lawrence
Cittawa

を通じて、ハドソン河に連絡せしむ。

石灰岩 粘板岩 砂岩



層地の盛瀑

〔ナイアガラ瀑布〕 エリー湖の水溢れてナイアガラ河となり、グラ

ンド島を圍み流れて瀑口に至り、ゴート島にて兩分し、アメリカ瀑

(合衆國側)ホースシュー(馬蹄)瀑(カナ

ダ側)となり。深き峡谷を流る、七哩にし

て、クウキンスタウンに至り峡谷を辭し、後

オントリオ湖に入る。アメリカ瀑は高さ百六十七尺、巾二千六十

尺、ホース、シュー瀑は高さ百五十八尺、巾三千尺に及ぶ。アメリ

カ瀑上に橋あり、ゴート島に到るべし。アメリカ瀑にルナ島あり

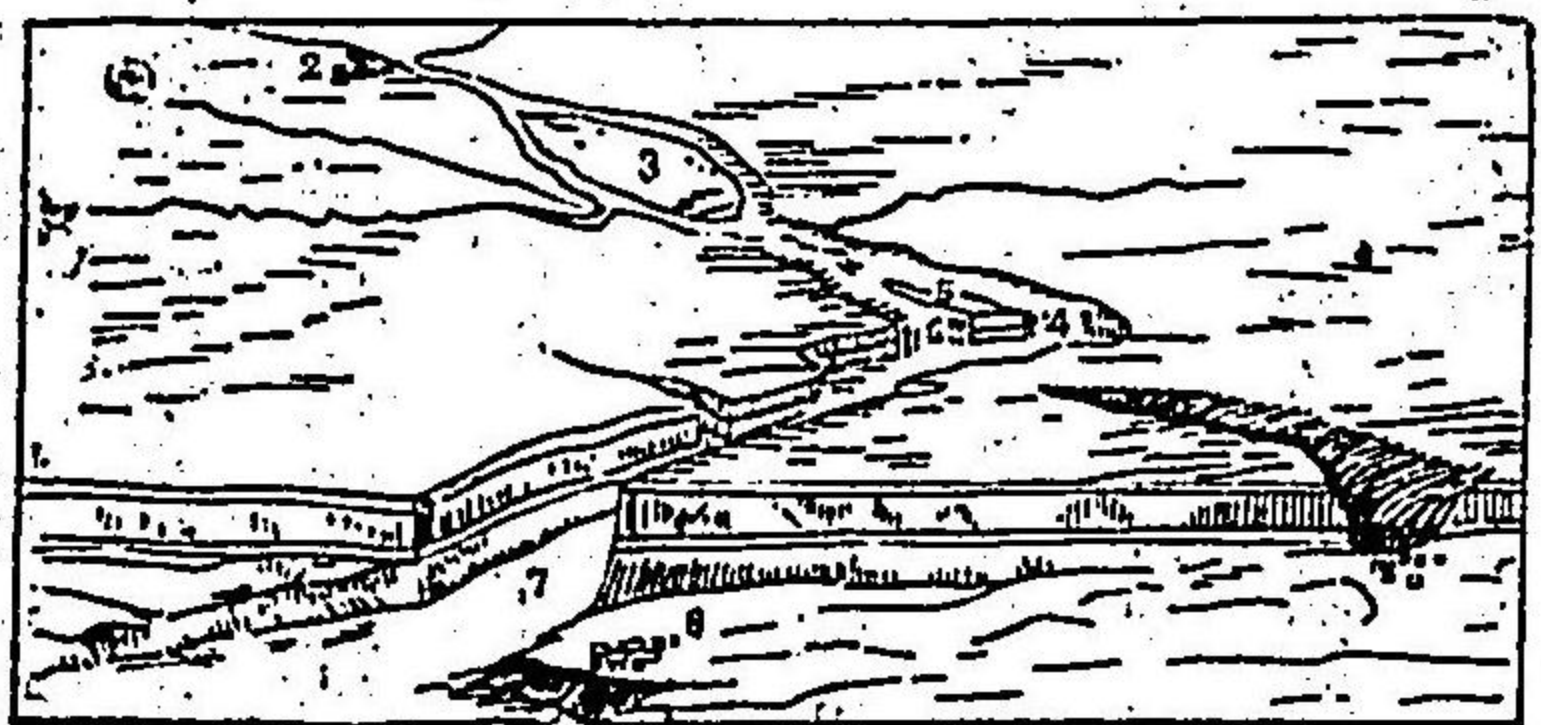
又これを二分す、ゴート島側は狭く十分一を占むるに過ぎず、こ

れを以て華嚴瀑に比すべしと、その大きさほぼ想像するに足る。

懸崖の地質は圖に示せる如く、堅き石灰岩と、脆ろき砂岩粘板岩

の互層より成り、流下する水勢は漸次砂岩粘板岩を侵蝕し、遂に

石灰岩の崩壊を來たし、瀑布は漸次後退しつつあり。最初の瀑口は峡谷の終點即ち、ク



布瀑ラガアイナ

1. エリー湖、2. バフアロー市、3. グランド島
4. ホースシュー瀑、5. ゴート瀑、
6. アメリカ瀑、7. 最初の瀑口、8. クインスタウン

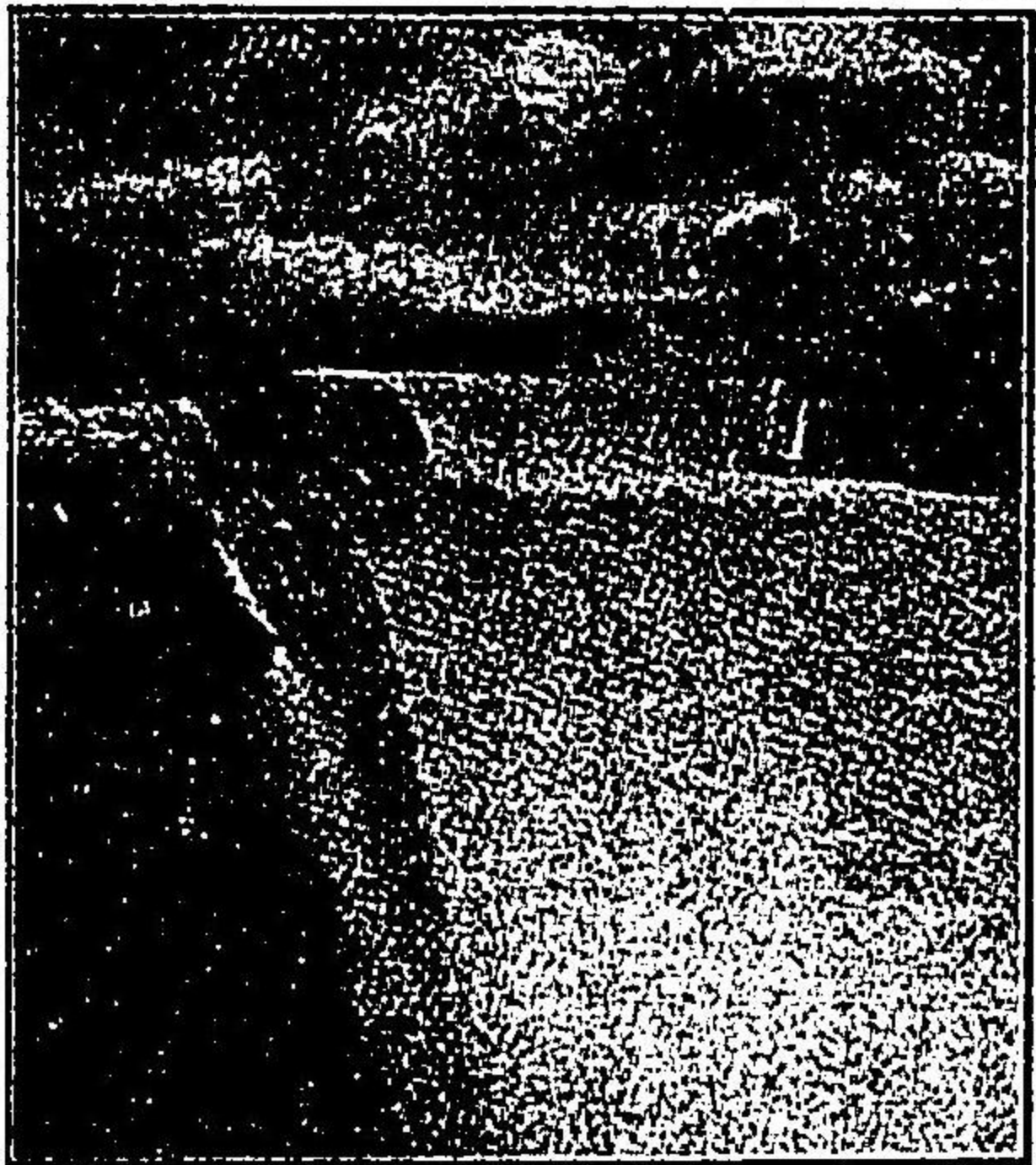
Ontario

ウキンスタウンのほとりにありし。學者の計算に依れば一八四二—一八九〇年の四十八年間にホースシュー瀑の後退は三十一米八五にして、アメリカ瀑の後退は九米三七なり、即一年に前者は〇・六七米、後者は〇・二米の割合にて平均〇・四三米となり、クウキンスタウンより現今の位置に退くまで約一萬八千年を要せる次第なり。併し單にこれのみを以て速断すべからず、オンタリオ湖の水準は嘗て百米低かりし事や、水量の變化等を加算して考ふる必要あり、これ等に依り推定して七千年乃至五萬年を以て後退に要せる時限となす。更に五大湖の氷河時代以來の變遷等は興味ある問題なれども、今は省略する事となせり。

●水量の降下二秒時に千五百萬立方呎、水聲鑿々二十里を隔てて猶聞くべし、これ雷瀑の稱ある所以なり。●水力利用の運河はアメリカ側にては瀑の上部二料の點より起る。一九〇六年の計算に由れば兩瀑を利用せる水量一秒時六萬七千立方呎にして五十萬馬力の發電に供す、當時設計中にかかるもの別に二十二萬立方呎、五百萬馬力の電氣を供給せしめんとせるあり。併しカナダ及アメリカ合衆國は瀑布の美觀を損せんことを慮り、協議の上水力利用を禁止せりと傳ふ。合衆國にてはその風景及び動力利用保護の名の下に瀑布附近を陸軍省の所轄とす、我等の眼より見れば奇異の感無き能はず。

○ナイアガラ瀑布

北米大陸の中央に横はる五大湖の中、エリー・ヒューロン・スベリオル及びミシガンの四大湖の水は、盡く集まりてエリー湖の東端から、茲にナイアガラの急流となり、水勢兩岸の石を削つて、之を左右懸崖の間に集め、三十六哩去つてオンタリオ湖に注ぐのであるが、其河の上端から、東に走ること十四哩にして、中流にゴーツ島横はり、ために河流は二となり、島の下、流は左右とも、急に一大懸崖を走り、其所から落る水が、皆世界の大瀑布となるのだ。



ナイアガラ瀑布

て、島の右岸をアメリカ瀑、左岸をカナダ瀑、一に馬蹄瀑ともいふ。馬蹄瀑は名の如く瀑布が馬蹄形に列なり懸るのだ。アメリカ瀑は幅が一千六十尺、高さ百六十七尺、カナダ瀑は幅三千十尺、高さ百五十八尺。此兩瀑布が一秒時間毎に運ぶ水量は一千五百萬立方尺であるといはれど、如何に其眺めが壯大であるか、略ぼ想像されようと思ふのである。

アメリカ瀑の上、矢よりも速き急流に架けたる石橋を渡つて、ゴード島に行けば、鬱乎と茂る森林は、霜に染めて自然の錦を織り出し、今しも上流の山眉に昇りかけた朝日に映つて、木々の紅葉は益々鮮かだ。其錦繡の森林を過ぎて、瀑の上流に出れば、忽ち細雨面を撲ち來る。此快晴に此細雨は不思議と熟視すれば、是れ瀑布の飛沫が、散じて水煙となり、凝つて細雨をなすので、前方を望み見れば、旭光は水煙に映じ、五彩の虹霓は脚下から起り、美しい事名状し難い。今は全身の雨に濡るゝも顧みる暇がない。懸崖の上か

ら巖角を攫んで身を屈め、低して下方を窺へば、此所は加奈太瀑の右岸、下方は水煙立ち罩めて、其底を知らねど馬蹄形の輪廓を繞らして、浩蕩たる長流は、雪山の崩るゝ如くに落ち注ぐので、水聲轟々、水煙濛々、秒々刻々、天地は之がために破壊せられつゝあるかと疑はれて、物凄くも亦勇ましい。

若し出来るならば、瀑の下まで降つて見たいと思ひつゝ、轉じてアメリカ瀑布の上に行けば、懸崖の上に榜示があつて瀧の下方に行く道があるといふ。占めたツと巖間の急坂を曲折して下ること數歩、其から下は、獨木の一本柱の周圍に螺旋形の梯子が設けられ、ぐる／＼繞りながら下ること二百階餘りて、崖下に出た。見上れば、眼界盡く水の大瀑布が、一面に白く天半から懸つて、宛から銀河の九天から落るかと思はれ、恍惚として見ると、忽ち一艘の少蒸汽船が、瀧壺目がけて、渦巻く激浪の中を突進して来る。此は觀瀑の乗合汽船だ。が、此方の崖からは乗ることが出来ねば、余等は再び獨木柱の螺旋階を上り、一旦ナイアガラ市街の環帶線電車發着所まで戻つた。環帶線とは、ナイアガラ河の兩岸に環の如くに敷かれた電車鐵道の事だ。下略(世界漫遊案内)

〔註〕 東海岸即ちファンデー灣より北方チドール岬に至るの間には、セント、ローレンス灣ありて、灣口にニッワーファウンランド及びケープブレトンの二島横はり、灣内にはプリンス、エドワード及びアンチコスチの諸島あり。之より北部沿岸アラスカの境界たるデマーケーション岬に至るまでの間には、ハドソン灣を始めとし、バフィン灣及び其他無數の島嶼散在すれども、一ヶ年の過半は氷雪に閉ざされ、航行の便を缺けり。又、西部海岸は一般に不規則にして、デユアン、ド、フリーカ海峽よりアラスカの南端に至るまで五百三

Demarcation Chidley
Prince Edward Oape Breton

バスコチア
半島

千餘哩の間無數の峽灣灣入せり。
〔ファンデー灣〕 ニッワーブルンスウイクとノワスコチアとの間にあり。潮汐昇降の差甚しく、所によりては七十尺を越ゆるものありといふ。

バスコチア半島 の大陸に連なる所をコベキッド又はチゲネクト地峽と稱す、巾凡そ七里、ファンデー灣とセントローレンス灣を分かつ。半島の海岸線は凡そ三百三十里。

〔セント、ローレンス灣〕 セント、ローレンス河口にありて、灣入五百哩。ベルズイル海峽(北)とカボット海峽(南)とによりて、外洋に通ぜり。灣内廣く北東より南西まで四百八十里を算す、水深けれども夏は雲霧深く、冬は氷雪堅く鎖して、不便少からず。

〔ラブラドル半島〕 面積約四十五萬方哩、緯度ほぼ英本國に等し。しかも人文の状態全然相反するは、これ一はラブラドル寒流が沿岸を南下すると、一は人口多くカナダ西部に吸收せられて、人の多く顧みざる爲なり、(一九二一年二月ロンドン地學協會に於けるデイルフレッド氏演舌)氏は廿年間研究の結果より推論して、將來發達の見込あるを説きその自然の天恵がアイスランド、フキンランド、シベリア北アラスカ等より遙に佳良にして、ニッワーメキシコ、アリゾナ、エチオプトの或部、西オーストラリアなどに比して遜色無さを主張せり。

Belle. isle. st
Cabot. st.

ハーバード大學フェルナルド教授はこの地を以てアルマン傳説中のザインランドなりとせり、(普通には北米合衆國の東北海岸を指す) 土人が固有の文字を有せざるも獨逸文字を用する事等よりすれば其説の確かなるを察すべし。ラブラドルの地名は奴隸 (Labourer) (Slave) の意なり (別に黄金の唇又は黄金の腕の意なりといふ人もあり) 在來の圖はその海岸島嶼の位置等に誤謬多し。海岸に山脈連り五六千呎の高さに達す、沿岸断崖多く其景絶美、フキヨルドの景色亦甚佳なり。ハドソン灣沿岸は砂濱をなせり。氣候は寒流の關係上海岸は低温にして内部に行くに従て温度を加ふ、されば外洋の表面水温は四十三度なるもフキヨルドの内にては六十度に上る (夏期) 外洋にては百尋を下れば氷點に達す、而して内部の温氣はウキニベグ近傍と略ぼ同温なり。故に内部は植物の生育に適するも海岸は殆んど生物無し。海岸には北方より氷山流下す、この地方の氷山はその高さその大きさに於て又その連續流下に於て世界無比と稱せらる。内部は大麥オート等發育す。森林と鑛産はその富源にして、ラブラドルの開発はこの二者の利用如何に存すといふも可なり。森林中毛皮獸多し。東北の海岸一帯は邦制上ニウイフランドに屬し、北部は北西地方に南部はケベック州に屬す。海岸は夏季漁船の集るもの多し。

アンチコス
チ島
フリンス、エ
ドワード島

アンチコスチ島 セント、ローレンス灣内にありて、三角江は此島によりて兩分せらる。
フリンス、エドワード島 セント、ローレンス灣内ノバスコチア半島の西北灣内にあり。地味豊饒にして沿岸亦漁業の利あり。従つて人口頗る稠密なり。首府をシャーロットタウンと稱す。

《ハドソン灣》 此國の北部にありて、ラブラドル半島と大陸との間に突入し、長さ一千哩幅五六百哩、平均の深さ六十餘尋にして、面積凡そ三十五萬方哩あり。されど一ヶ年の中殆ど八ヶ月間は流水若くは沿岸氷野のために閉鎖せられつゝあり。

ハドソン海
峽
フオックス
海峽

ハドソン海峽 バツフィン島とラブラドル半島との間にあり、ハドソン灣の東口をなす。千六百年、ヘンリーハドソン氏の發見後、ハドソン灣と共に本名を附したるものなり。
フオックス海峽 ハドソン灣の北口をなすものにして、バツフィン島と大陸との間にあり。

《バツフィン灣》 バツフィン島とグリーンランド島との間に横はる、此地は千六百十六年、イギリス人、ウィリアムバツフィン氏の發見したる所にして、氏及びジョンロスは共に此灣を以て北方に閉塞せりとなせしが後スミスサウンドより北氷洋に通ずるものなること知られたり。而して一ヶ年中、僅に六月より九月に至るの間航行し得るのみなり。

デービス海峽 バフィン灣の南部、狭ばまりたる部に名づく、以て大西洋に連なる。これイギリスの航海家デービス氏の探検によりて發見せられたるものなりといふ。

Davis Smith Sound Baffin
William

Henry Hudson Hudson

カナダ 沿岸

デービス氏

デービス氏 イギリスの航海家にして、十六世紀の探検家として甚有名なり。北極探検に従ひしもの前後三回、グリーンランドの南端を發見し之に沿ふて其西側を七十二度まで航したり、これその海峡に命名せられたる所以なり。又、南太平洋の探検に従ひ、南米の南端を發見しフォークランド島に達せり。後マラッカ海峡附近に於て、日本海賊のために殺されたりといふ。

北西航路

〔北極洋諸島〕 カナダの北方にあり、世界中最寒地の一として知られたるものにして、終年氷雪に閉ざる。而して古來ヨーロッパより此北岸を通りて、アジアに達せんとし、其通路を探検せしもの多く、ジョン、フランクリンも亦其一人なりき。一八五〇年マッククリンア、これを發見し、一九〇三―六年にアムンドセン氏（本年南極に到達せる人）ギョア號にてこの航路をたどり遂にベーリング海峡に達せり、所謂北西航路にしてランカスター、バロー、メルビルの諸海峡を経てバンクス海峡より北極洋に出づるものなり。北西航路により群島を二部に分かつ、その北なるものをペリー群島と稱しバサリスト、メルビル（海岸出入多し、探検家ペリーが冬營地として撰擇せる島）其他あり。南區に於いてはバツフィン島最も大なり。海岸の状態未だ詳ならず。ブーシア半島、その北端に近き地點は地磁力の北極として知らる、東方メルザキール半島との間にブーシア灣を抱く。

諸島の面積合せて四十五萬六千方哩と稱す、約我が國の二倍に當る。

〔ジョージア灣〕 カナダの西南、アメリカ合衆國との境に近く、バンクラー島と大陸との間をいふ、ジャンドフネーカ海峡により外洋に通ず、北部は灣形順次に狭まりて、ジョンストン海峡を作り更にクインシャーロットサウンドによりて外洋に連なる。

バンクラー島の東北にクウキンシャーロット島あり、アイクソン海峡を以てアラスカ地方のプリンスオフウェールズ島と對す、大陸の海岸は所謂フキョルド式海岸にして、峽灣深く陸地に突入せり。

〔氣候〕 四部に分かつ、(一)太平洋海岸は日本海峡の影響を受け、氣候海洋性にして雨多く、ハーバートソン氏は西歐と同一式の氣候となせり。

(二)北極洋に近き北部地方よりハドソン灣沿岸ラブラドル北部に亘りては凍土帯をなし、年内多くは氷雪に封ぜられたる荒涼たる平野なり。

(三)内部平原地方は純然たる大陸性氣候を有し、冬は酷寒にして長く、夏は短期なれども氣温高く、これが爲めに諸種の穀物の生育に適せしむ、一般に雨少くロッキーマウンテンに近き平原西部は多く草野をなし牧畜に適す。

カナダの氣候

Junn. de. Fucc
Queen Charlott

(四) 東部海岸地方はラブラドル寒流の影響を受け、気温甚だ低く、原始林の面積甚だ廣く毛皮獸の棲むもの多し。

産業 林産 森林の面積殆んど國の二分一乃至三分一を占め百三十萬方哩を算す。その分布二帯に分かれ、一はアラスカ國境より南東に亘り巾二三三百哩に及ぶ森林帶と、一は

加奈太政府森林局長の調査に依ればその分布次の如し。

英領コロムビア洲	一八二〇〇
オタワリオ洲	四〇〇〇
ケベック洲	一〇〇〇〇
ニウブリンスウィカリア洲	七五〇
ノバスコチア洲	五五〇
マニトバ、サスカチワン、アルベルタ其他	一八〇〇〇
計	五三三〇〇

西部海岸地方に亘るものとこれなり。その利用材積千九百二十億呎に及ぶといふ。實にこの國の大富源たり。諸州中その歳入の大半を林業より收納するを見てもその一般を知るべく、オタワ河のみにて一年の流下材木四百萬本を下らずといふ。森林の伐採は農閑の機を利用し、而してその伐採せるものは冬期に氷雪に掩れたる地表を櫛にて運

搬し河のほとりに出だし、春に至りて融雪と河水とを利用して水上に筏となし、バルプ工場その他に運ぶ、その生産費運搬費の低廉なる推知すべし。木材集散の中心はオタワを最とし、デセロント・セントジョン(輸出港として)等これに次ぐ。西部コロムビアも一中心

Deseronto
St. John

たり。バルプ(木屑)の年産額千七百餘萬圓に上る。

樹種 は東部に樺・バルサム樺・松・楓等を主として西部に樺・大杉等の巨材あり。ドウグラス樺は往々三百呎に達し。大杉は普通六十呎に及ぶ。森林中良好なる毛皮獸あり。

漁獵 漁業は東西兩洋に盛んにして東部に鱈(千二百萬圓) 蟹(七百餘萬圓) 鱈(五百萬圓) 比目魚、西部の鮭(千四百萬圓) 最も著し。

漁業に従事するもの八萬餘、年額六千餘萬圓に及ぶ。その半は罐詰・氷詰又は鹽製・乾製としてアメリカ合衆國歐

洲西印度に輸出す、ノバスコチアは産額の二分一を占

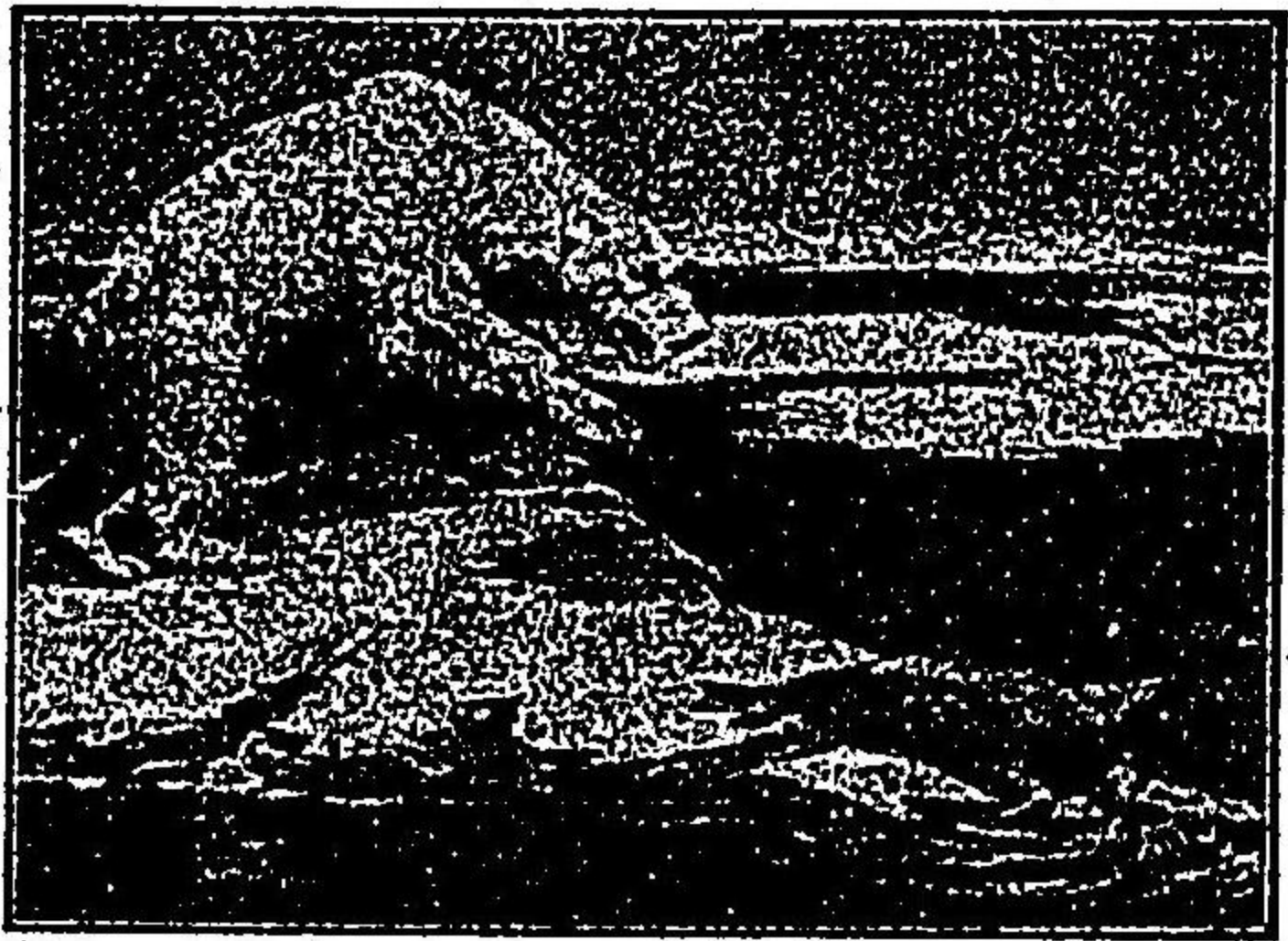
と海、五湖その他の河湖に白魚・鱈・鱒等を産す。

極地方には白熊海豹等棲息す、海豹の毛皮は重要ならされども、脂肪は効用多し彼等が浮氷に乗せられて南下するに當り之を捕獲すラブラトル東岸をその漁場とす。

毛皮は二百年來世の着眼せる所にして今日もその産額

少からざれ共、海狸・水獺・白狐等貴重なる毛皮獸は漸く減少せんとす。

鑛産 豊富なりと信ぜられるれども採掘は未だ甚盛ならず。併しその産額は着々増進し一



カナダ産業

八八六年より一九〇七年の二十年間に千萬弗より八千六百萬弗に上れり。石炭を第一とし全産額の三割を占む。ノバスコチア炭田最も著しく、且つ半島及びケイプブレトン島の鐵鑛に近き便利あり、政府獎勵の下にシドニーに帝國鋼鐵會社の經營せる大製鐵所あり、ニウ・フランドランド島の沙鐵をも原料に使用す、その他半島及びオンタリオに製鐵行はる。鐵鋼の産は未だ少けれどもその増進は著るし。政府の保護も盛んにして一九〇七年度には五百萬圓の保護金を支出せり。石炭に次ぎて産額多きは銀なり、銀はその産額の増加率甚だ大にオンタリオ州一九〇八年の如きは前年の一倍七分に達し、北部コバルト地方の銀鑛發見(一九〇四年)以來殊に然り、今は世界産銀國として有力なるに至れり、ニッケルはニウ・カレドニア(太平洋諸島の内)と共に殆んど獨占的産地にしてオンタリオ州サドベリ附近に最も多し、金は一時有名なりしユーコン河畔の産金も順次その額を減じつゝあり。(一九〇〇年に四千五百萬圓の産額は一九〇七年には六百萬圓に減せり)その他銅(七百萬弗)鉛石油等の産あり。

農業・牧畜 これカナダの最も主要なる産業にて明治四十四年の總農産十二億圓に達し、乾草及び苜蓿(三億二千萬圓)小麥(二億八千萬圓)は何れも約四分一を占め。オート

麥(三億五千萬圓)馬鈴薯(七千八百萬圓)大麥(四千六百萬圓)蕪菁類・亞麻等を主とし、果實も主要農産の一たり。中央平原は地味肥沃にして所謂黑土(數百年間の鳥獸の尸肉や、草木の灰等の混加せるもの)の土壤にして甚だ麥作に適し、その農業地積は年々に面積を加え、發達頗る著るし。マニトバ・サスカチワン二州の小麥・燕麥、オンタリオ・ノバスコチア・英領コロムビアの果實等重要なり。殊にアンナポリス・コーンワリスの河谷(ノバスコチア)はカナダの花園と稱せられ、オンタリオ・エリー・兩湖の西なる湖水半島と共に農業園藝盛んなり。

牧畜はロッキイ・東部即ちサスカチワン州に最も盛んにして羊・牛等の養牧盛んにして、チリスの産多し。

工業 上來の説明に依りカナダは原料及び食料産地たることほと明瞭ならん、然れども何れの國にても取るべき常軌として工業も次第に盛んならんとし殊に製粉・挽材・製紙・機織・精鍊製革等の工業興りつゝあり。而してその地方は新興の機運を握みつゝある西部地方よりは、早く開けたる東部地方にしてオンタリオ・ケベック二州の南部を最とし、モントリオール・トロント・ケベック等の諸市その地域にあり。

カナダ工業の不便としてロヒエリ氏はこの事情を挙げて居る、一は熟練なる職工は高き賃銀の下に合衆國に誘致せらるゝこと、一は合衆國の生産がカナダに比して安價なることこれ、而してカナダ合衆國の産業關係は一時兩國を關稅同盟に導かんとした、然しこれは政治上經濟上種々の理由からして一時中止の姿となつた。

貿易 一ヶ年の輸出總計は十三億圓以上に達し、輸入は常に輸出に超過せり。而して輸出品の重なるものは、木材、金銀類、牛乾酪、皮革、魚類、象牙、石炭等にして、農作物は全額四分一を占め、これに次ぎては生畜及び其他の畜産物にして、木材これに次ぐ、工産物としての輸出は漸く一割二分を占むるのみ。又、輸入品の重なるものは、鐵、砂糖、羊毛等にして、精製品を第一とし、熱帯亞熱帶的産物即ち砂糖、茶、コーヒー、棉等を主とす、我日本よりは絹織物、茶等を輸入せり。

その貿易關係は英本國及びアメリカ合衆國を第一とす、輸入の六割は合衆國より、二割五分は英本國よりす、輸出は英本國へ五割乃至五割五分、合衆國より三割五分内外なり、英本國及び領地とは特惠關稅の特典あるに拘はらず、合衆國よりの輸入前述の如く巨額に上り輸出のこれに伴はざるは、カナダをして合衆國と關稅同盟を結ばしめんとせる重なる理由とす。

○日加通商

日本國より來る物品は、クエベック、オンタリオ兩州に入るもの最も夥しく、然もマニトバ及び此國西部に於ける新開地は人口の増加と共に極めて有望なる賣捌地なり。目下輸入品の首位にあるものは、製茶にして、一ヶ年凡そ七千五百弗あり。之に次げるは絹織物及び精製品にして、四十萬弗に及べり。而して此等は概ね合衆國を經由して輸入せらるゝものゝ如し。又、將來需要の殊に増加すべき日本品は、鳥の子紙、瓦物類にして、此國より日本に仕向けらるゝ天産並に製造品の發送高は、既に四十五萬弗に達し、其三分の一は魚類、四分の一は麥粉、五分の一は蠶結、其餘

は雜品とす。(歐米商況概要)

交通

水運カナダは内陸水路の便を有すること多大なる國の一なり。セントローレンス河ロベルアイル海峡よりセントローレンス五大湖の水路に依り二千二百哩の奥に進入し得べし、これ東西兩洋間の殆んど半ばに達する路程たり。大洋通ひの巨船はモントリオールにて河湖航行の小船に移されスベリオール湖に達す、この間ラシオン・スーラングス・コッシュオール・フワランスポイント・ラビデプレイト・ガロップス・ムーレイ・ウエーランド・スイセンメリー等の諸運河あり。延長七十三哩、その開鑿費一億四千萬圓を要せりといふ。この間船は四十八の閘門に依り五百五十一呎を上る。

併し、セントローレンス河を直に現状の船舶を航行せしむべき天恵の好水路たりしと速了すべからず、河はケベック・ク・モントリオール間に於て數所の淺瀬あり、吃水十呎以上の船はモントリオールに達すべからざりし、千八百二十六年淺深の淺起りしも、未だ着手するに至らず、漸く十八年後初めて着手せり、一八八二年には水深二十五呎に達し今や三十呎に至れり。巨船製造の盛んなる今日なれば、政府はなほ淺深を續行し、四十呎に達せしむべき豫定なり、その中の如きも三百呎より狭からしめず、屈曲地點にては五百五十呎に及ばしむ。その開鑿費二千萬圓を超え、改良費九百萬圓を要せりと、併しこれが爲にモントリオールの河港たる價値を増せしこと幾千萬圓を知らず、その船舶の出入著しき増加を示せり。

更にカナダ政府の計畫に成る大運河あり。デジョシア灣運河と稱し、モントリオールより

RahidePlate
Welland
Sault Ste Marie
Rachine
Soulanges
Cornwall
Farran's Point

モントリオールとセントローレンス河改修

りオタワ河を廣ろめ、オタワ河の水路及び小湖によりてニピシン湖に出て、フレンチ河を浚渫してジョージア灣に達せしむるもの、これに依りて現在九百哩の航程を四百四十哩に短縮し得べし、この水路は現今湖水汽航の最大型（長六百呎巾六十呎吃水二十呎）の汽船の航行に差支無からしめ、運河の巾三百呎を下らしめず、兩端の水準差六百五十九呎は二十三箇の水閘に依り調節せしむべき計畫にて工費二億圓十年にして竣工の見込なりといふ。政府は既にその測量を完成せり。

鐵道も又よく發達し、延長凡そ二萬五千哩に達せり。其内モンリオールよりバンクーパーに至るカナダ太平洋鐵道の本線は、二千九百六哩あり。而して此の線路と、イギリス政府及びカナダ政廳の補助に係る太平洋汽船の航路とにより、モンリオール及び横濱間を十四日内に交通せらるゝなり。

大陸横斷鐵道 カナダ領國中の最も重要なるものは、大陸横斷鐵道にして、

(一)カナデアンバシフィック線 (總延長一萬三千餘哩を有する大倉社なり)はモンリオールに起り、オッタワ・ポートアーサー・ウィニペグ・レジナ等を経て、キッキング・ホース越にてロッキーマウンテンを越え、トムソン及びブラザーを降り、バンクーパーの對岸地たるポートムーヂに達するものなり。

(二)グランドトランク線 はニウ・ブルンスウィックのモンクトンに起り、ケベックに向ひ、その五哩斗

Canadian-Pacific
Port-Arthur

Nipissing

大陸横斷鐵道
カナデアン
バシフィック
線
グランドト
ランク線

カナデア
ンノザン
線

り上流にてセントローレンス河を渡り、直に西ウニペグに走り、アビティビ・ニピオン兩湖の北方を過ぎ、未だ植民多からざる平原を直駛し、^{エドモントン}頭嶺にてロッキーマウンテンを越え、アラスカ境に近きプリンスルーパー港に至る延長三千五百哩に及ぶ。この鐵道は兩洋連絡の最短距離なると、その勾配の緩なる點に於いて他の鐵道に勝り、更に西北部の肥沃なる地に移民を吸収し小麥作を増進する點に於いて將來カナダ開發上の大問題とせらる、これを以て政府はモンクトン・ウィニペグ間區千八百哩を建設しこれを會社に貸し下げて兩洋連絡を完成せしめんとす。

(三)カナデアンノザン線 は兩洋連絡に勉めウニペグよりハドソン灣沿岸フォートチャーチルに達せんと欲し其半を建設し今や四百八十哩を残すのみ、併しこの殘區間については進行困難と云ふものあり。この會社の所有鐵道は總延長四千哩に及ぶ。

世界交通系に於けるカナダの位置、及び英國の東洋に對する兵站線として、カナダが又重大なる意義を有することを忘るべからず、蓋し歐亞を連ぬる大幹線として日本より西向シベリア線に依ると、東向太平洋を超えカナダに經て大西洋に出づる線とは實に世界交通の大動脈たると共に、又英國が東洋及太平洋洲に於る諸領地との連絡上重要なる兵站線たるなり。

政同

國防

此國はイギリスに屬すといへども、専ら自治制により、自ら獨立國の體をなせり。即ち其統治權はイギリス皇帝に存し、總督は皇帝を代表してカナダに駐る、内閣は行政上の首腦にして十四省に分れ、立法權は元老院及び衆議院の二院よりなれる議

會にあり。而して元老院議員は終身之に任じ、現今八十七名あり。又衆議員は任期五ヶ年にして、現今二百二十餘名あり。現總督は皇叔コンノート殿下にして我國にも御渡來ありし御方なり。

又高等法院ありて、司法の大權を有せり。

軍備に關しては、國防大臣を議長とし六人の委員より成れる民兵委員會あり。全領土を十三陸軍區に分かつ。十八才より六十才までの國民を民兵に編入し、三年間を實務民兵となし、一年に八日乃至十六日間召集して訓練を施す、有事の場合には實務民兵及び豫備民兵を召集して四級とす、第一級は十八才乃至三十才の無妻者、第二級は三十才乃至四十才の無妻者、第三級は十八乃至四十五才の既婚者、第四級は其他のものこれなり。而して常備軍は將校下士卒合せて四萬二千餘あり。海軍は主として本國の勢力に依り、廿四隻の小艦あれどもその勢力甚微にして云ふに足らざりしが、近來海軍問題は漸く人の視聽をひくに至り、その艦隊編成指揮の方法、經費の支出等に關し本國と協議中にあり、或は本國と聯合せる大西洋艦隊の現出を見んか。

文化

全領内の各州には、一校以上の大學(總數十八に達し五百の教授九千の學生あり)及び數校の中學あり。

又、學位を授くべき學會廿と四十の専門學校を有す、オンタリオ州其他の三州にてはローマ教の爲に特に學校を設く。

宗教は羅馬加特力教を奉ずるもの(二百三十萬)最も多く、其他メソヂスト派・プレスビテリア派・英國教會派・バプチスト派等あり。

都會 都邑中名あるものはハリファクス・ケベック・オタワ・モントリオール・トロント・ウイニペグ・バンクーバー等なり。更に之を解説すべし。

〔ハリファクス〕 ノワ、スコチア州の首府にして、交通上の要點を占む、唯背後の生産地及び消費地を距る遠きを以て商港としての發達は自ら制限せらるれども、冬季はセントローレンス河水氷結不便あるを以てこの灣の價値頗る重要なるに至る。

本港の位置 本港はイギリス海軍の根據地にして、冬季も氷雪に閉ざるゝ恐なく灣内廣き良港なり。且新大陸よりイギリスに渡る最近の良泊として、其間僅に二千四百五十哩、東西バンクーバーに達する三千六百六十二哩なり。ノバスコチア半島 初めアカチャと稱せり、チグネクト地峽に依て大陸に連なる、地峽はフロンデー灣とノサムバーランド海峽との間にあり、巾凡そ七里、この間鐵道により汽船を運ぶべき装置ありて、二千噸位まではこれを通過し得べしといふ。

シャロットタウン プリンス、エドワード島の首府にして、人口一萬餘あり。

シドニー 漁業盛なるケープブレントン岬島にあり。人口凡そ一萬七千餘。

カナダ 文化、都會

Acadia
Charlottesville

Halifax

本港の位置

ノバスコチア半島

シャロットタウン
シドニー

〔フレデリクトン〕 ニューブランズウィック州の首府にして、人口七千の小市なれども大學を有す。セントジョン港をさる八十哩にあり。セントジョン港は同名の河に臨み、人口四萬二千。交通上の要點、木材輸出の中心たり。

〔ケベック〕 セント、ローレンス河の左岸斷崖の突出せる所、所謂ダイアモンド岬の頂上より麓にひろがり、頗る要害の地たり、人口七萬八千餘。往時はカナダ全土の首府たりし地にして、アメリカのジブラルタルの稱あり、堅固なる堡塞あるを以て知られたり。此地、又木材の取引盛にして、バターチースの製造、皮革のなめし、紡績等行はる、千六百八年佛人の創設に係り附近佛人の子孫甚多し。近傍にアブラハム平野あり、一七五九年ウオルテ將軍が大に佛軍を破りし所、而して將軍も此役に戦死せり。

アンチコスチ島

アンチコスチ島 セントローレンス河口に位す、河はこれに依りて二分せらる、沿岸良泊に富み、漁業の根據地に適す、内部は岩石多く森林に富む。

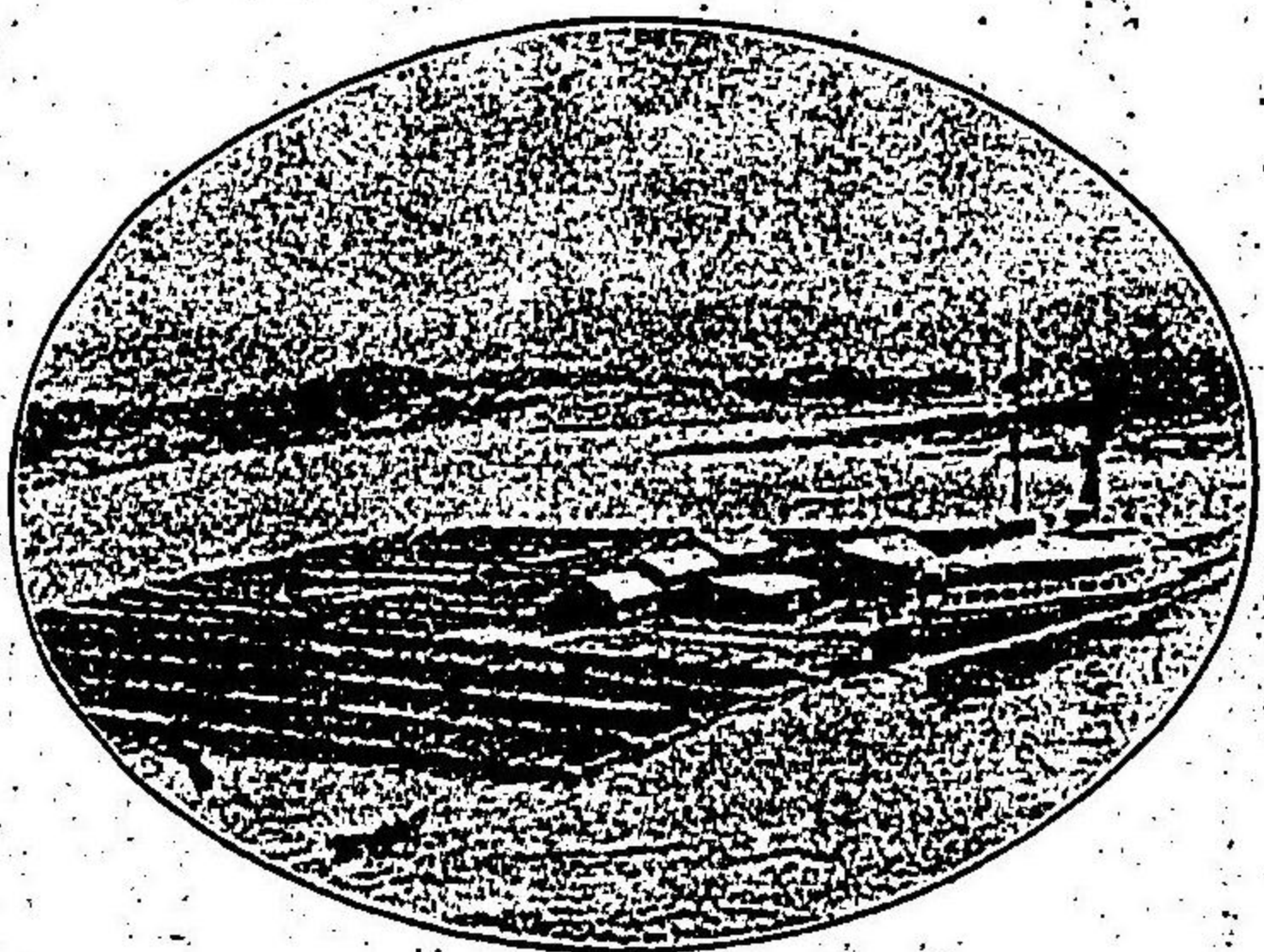
〔オタワ〕 セントローレンス河の支流オタワ河の右岸にあり、モントリオールよりは九十哩、人口凡そ八萬六千餘。此地は千八百五十六年、始めてカナダ全領の首府となりし地に

Ottawa

して、總督、茲に駐在し、上下兩院あり、我が帝國總領事館あり。對岸のハルは木材集散の大中心にて、時として河流數百哩に續く木材の筏を見ることありと云ふ。又シヨイデイ

イモール瀑に近く水力を利用すべく挽材業甚だ盛大なり。

Montreal



筏の河スレローロトシ

〔モントリオール〕 オタワ河のセントローレンス河に會する所二島あり、河流三岐す、市はその東方の島上に位しカナダ第一の大都たり。島中山ありリオール山といふ。市はその東より河口に至る間にひろがる、これその名の起る所以なり。人口四十六萬餘。

此地は(一)鐵道の結節點たるのみならず、(二)西にオタワ河を湖り更に運河に依りてヒューロン湖に出づべく(三)シヨルシア灣運河(四)少しく下ればリシエリ

カナダ都會

九四五

Quebec

Fredericton

まで湖り来り、この地にて小船に移さるべき開門に當るを以て、商業股賑カナダ第一の大
都となり、その發達も亦著しきものあり。更に工業に於いては西方の生産地域に近き便利
と、ラシオン急流の水力利用の利益あるを以て製革製粉挽材製紙等の大工場あり。

ザイクトリ
ア橋

ザイクトリア橋 モントリオールよりセントローレンス河に架せるグラントランク鐵道の鐵橋は、長さ一
哩四分の一ありて、世界に稀なるものなりといふ。

《トロント》 オンタリオ州の首府にして、人口三十七萬餘、カナダ第二の大都なり。此地オ
ンタリオ湖の西北岸にある港市にして、交通及び商工業の中心地たるを以て、股賑を極む
といふ。その昔合衆國獨立戦争の際英國に忠實なる臣民は十三州を去りてオンタリオ湖畔
に集まり、自ら大英國忠實なる國民と稱し長く英國民として留れるものにて、彼のニウ
ブルンスウィック洲の民と共に合衆國として本國に背反するを肯せざりしものなり。
イキベニンスラの豊饒なる農産地と、資力ある消費地を控ゆるを以て商業活潑に、秋季二
週日に亘る大市の如きは農作品果實工業品の取引頗る大なり。

ハミルトン

ハミルトン トロントの南方、オンタリオ湖の西隅にありて、人口凡そ八萬餘。商業並に製造業盛にして、一

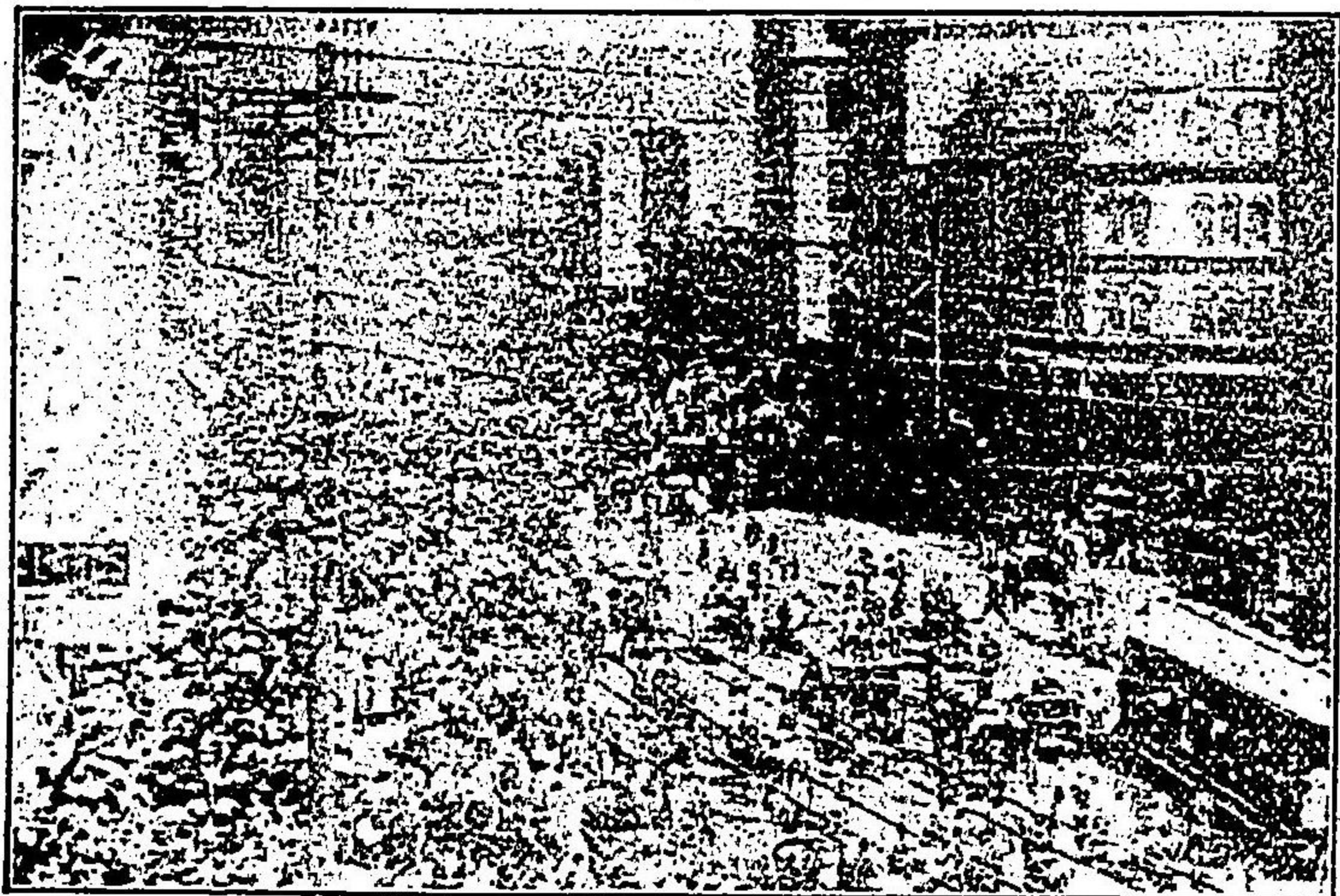
Hamilton

Toronto

ロンドン

ポート、ア
サー

ゴデリック
とペトロレ



カナダ都會

にカナダのバーミンガムの稱あり。

ロンドン テトムス河畔にありて人口四萬餘。河
はヒューロン及びエリー兩湖の間にあるセントクレイル
湖に入るものなり。

ポート、ア、サー、スベリオル湖畔に於ける要
津なり。

ゴデリックとペトロレア 前者は製鹽業の中
心地にして、後者は石油業の中心地なり。

《ウイニペグ》 マニトバ州の首府にして、人
口十三萬五千、モントリオールの西北千四百
哩にあり。ウイニペグ湖の南方、北緯五十度
に位し、カナダ太平洋鐵道に沿ひ、鐵道四方
に通し中部交通上の要衝にあたり、その停車
場の如き宏壯カナダ第一と稱す、市は中央平
原地方の小麥其他の農作地の中心として、そ
の發達の速かなる、十年間に人口を三倍加せ

Winnipeg Goderich
Petrolen

London
St. Clair
Port-Arthur

ドーソン、
シチー

り。(一九〇一年に四萬二千の人口は一九一〇年に今の人口に達せり)一九二二年は白人の初めて土着せし以來百年に達すべきを以て大なる祝典舉行の企あり。

ドーソン、シチー 黄金に豊富なるニューコン領土のクロンダイク地方にあるを以て其名を知られたり。

英領コロムビア州 カナダの西部に位し、主としてロッキーマウンテンの西側に互る、一五七八年英人ドレークが桑港附近に來りてより順次渡來するものあり、一八五七年英領コロムビアの名を得たり。翌年カナダ聯邦に加盟せり、北緯四十九度より六十度に互れども太平洋には日本海流の暖流ありて海岸地方は、氣候溫和なり、鑛産最も豊富にして石炭・金銅・鉛・銀等あり、これに次ぐを林産とし、魚類には鮭・鱈・大比目魚・鯡等あり、鮭は世界の大産地にして輸出甚多し、農産は以上諸産業の次位にあり、太平洋を隔てて濠洲及び東洋に對し、英領中重要なる位置にあり、又邦人の渡來するものも多し。

(バンクーバー) バナンド入江の岩岬に位しカナダ太平洋鐵道の起點にして、又海路濠洲及び東洋に對する航路の要點にあり。人口凡そ十萬。英領コロムビア第一の都市にして附近本邦人の寄留せるもの多く約二千人を算す、此地よりハワイを経てシドニーに至る凡そ六千七百八十哩、又横濱をさる四千四百六十哩あり。

Dawson-City
Klondyke

Vancouver

ニュー、ウ
エストミン
スター
エール
ロスタン

ニュー、ウエストミンスター 鮭に富めるフラザー河を源ること數哩の地にあり。昔この州の首府たりし地、今は鐵鑛業の中心として名あり。人口一萬三千餘。

エール フラザー河に沿へる要港たるを以て知らる。

ロスタン コロムビア河畔合衆國の境に近きクレーナーの産金地に於ける都邑たり。

New-Westminster
Yale
Rossland

バンクーバー島 一にヌトカ島ともいふ。フラザー河口と相對し、長さ凡そ二百八十哩、幅平均十哩面積凡そ一萬六千方哩あり。一般の狀態概して大陸部の英領コロムビア沿岸に類似すれども、直立二千五百米以上に達せる山岳は沿海の地に屹立して、數多の峽灣及び半島は、大陸の海岸と、互に犬牙錯綜せり。

島内は一般に山地多くして石炭木材に富み、樅・柏等の巨材あり。石炭は處々に多し。又、沿岸並に内地の湖沼には魚類少からず。氣候は夏期にありては爽快にして、冬期は溫和なるを以て、頗る生活に適せり。鐵道ヴィクトリアより北方ウエリントンに通ず、その沿線その他の平地は、地味の肥沃と氣候の良好とに依り大規模の農行はる。

ヴィクトリア市は本島の南端に位し、コロムビア州の首府にて氣候溫和風景良さを以て名あり、人口三萬一千。されど大船巨船の出入に便ならずといふ。

(ナナイモ)島の東岸にありヴィクトリアを距る七十二哩、石炭の集散地として名高く又

鯡漁の中心たり、人口一萬餘。

エスキマ
ルト

エスキマルト、バンクーバー島に於ける第一の良泊にして、又、軍港にして防備上重要な地なりといふ。

イギリス領

三、ニューファウンドランド New Foundland

本島は初めノルマンの渡來ありしが後一四九七年ジョンカボット再びこれを發見し、十六世紀の終りに佛人ドロン漁民を率ゐて移民し、爾來佛領なりしが、千七百十六年、ユトレヒト條約により、英領に歸せり、現時はラブラドル海岸一帯の地と共に、イギリスの直轄殖民地をなし、邦制上カナダ聯邦と分かる。

位置 セント、ロレンス灣口に横はれる三角形の島嶼にして、東及び南は大西洋に臨み、西はベルアイル海峡を隔て、ラブラドルに對し、カボット海峡を隔て、ケーブプレトン島に面せり。面積凡そ四萬二千方哩、人口二十二三萬あり。英本國を距る一千九百哩とす。

地形 合衆國より東北に走れるアパラチア山脈の餘脈を受け、島内至る所に丘陵多く西部殊に著しく二千餘尺に達するものあり。

内地の探檢未だ充分ならざれども、至る所丘陵沼澤多く森林・草原相接す、湖の大なるものを大湖といひ、河の大なるものをエクスプロイツといふ。河のグラント瀑は水力電氣

Esquimalt

Cape Proton

に利用せられ附近に規模廣大なるパルプ及製紙工場あり。又、その附近のビシヨップ瀑にも壯大なる製紙工場の工事中なり。

沿岸 一般に絶壁多く屈曲出入夥し、西岸はアイランド灣・セントジョージ岬の外著しき出入無きも、東北及び東南は甚だ複雑にして、ホワイト灣・セントジョン岬・ノートルダム灣・フリールス岬・ボナビスタ灣・ボナビスタ岬・アバロン半島部のトリニチー灣・ハーツコラント岬・コンセプション灣・セント、メトリ灣・ブラセンチア灣、南部にフォートチャーチン灣等ありて、岬角峽灣相錯綜せり。

ハーツコラント岬はアイランドのバレンシアより海底電線の來るもの四條あり、而して初めて兩大陸を連ねし海底電線はバレンシアとレノス岬間に於て一八六六年七月にあり。この島は海底電線の集合すること世界に比無く、歐洲へ八線、アメリカ大陸へ七線を通す。

氣候 氣候は島の東方に於ては、ラブラドル寒流の影響を受くるがゆゑに、夏季といへども温度頗る低く、又南方に至れば暖流の影響を受けて、稍温暖なりといへども、寒暖兩流衝突のため、濃霧多し。

ニューファウンドランド 位置、地形、沿岸、氣候、富源

Placentia Heart's Content Conception St. Mary Bonavita Trinity White Notre Dame

産物は林産、鑛産等にも富めども、現今最も盛なるは漁業にして歐洲及合衆國より出漁するもの甚多し、其内鯡、鰵、鱈、鰩、鰈等の海産物は一ヶ年二千萬圓以上、鋼鐵等の鑛物は二百五十萬圓以上、材木二百萬圓以上等の輸出あり。鱈に於いては世界第一と稱す、従つて魚油の輸出も世界第一たり。

ニューファウンドランドバンク 本島の東方並に東南方に延びたる海岸棚地にして海底に一大盆地あり、ほぼ三角形をなし、一辺の長約二百五十哩あり。之をニューファウンドランドバンクといふ。而して之が盆地たるや、北極洋より流れ來れる氷塊が高温の海流に逢ひて溶解したる結果、其蓄し來れる岩石砂土を捨て、海底に堆積したるものなりといふ。この附近を絶好の漁場として世界三大漁場（ノルウェー北方、ベーリング海、この近海）の一たり。カボットが初めてこの新境に達せるとき魚類の群集甚しく、これを捕ふには網を要せず。籠にて是れり籠に石を結び付けて之を沈めて引きあげれば、多くの魚を得べき旨を記るせり。又この島の誌に「陸の千ニーカーより海の「ニーカー」といふことあり以てその一般を察すべし。

政局 本島は總督行政を司り定員十八名以内よりなれる立法議會と定員三十六名よりなれる衆議會との補佐により、全島の政治を司り、又ラブラドルの東部をも管轄す。

都邑 都邑中名あるものは、セントジョンの一あるのみにて其他は稱するに足らず。
セント、ジョン 本島の首府にして、人口三萬弱。此地は千四百九十七年、ジョン、カボット

St. John
John Cabot

フランス領

ト氏の始めて上陸したる所なるを以て此名あり、鐵道これより東岸に沿ひて北に延び中央を横斷して西岸に達し、ノール岬に至る、鐵道開通以來森林の利用、鑛山の發掘その他に大影響を與へたり。而して本島の東南ノール岬より、アイルランドのクレア岬に至るまで凡そ千六百五十哩あり。

ミケロン及サンピエール Miquelon and St. Pierre

この二つの小島嶼群は、昔てフランスが領有したりし、廣大なる北アメリカ殖民地の名残として、僅に存在するものなり。

位置 ニューファウンドランドの南海岸に近き二小島嶼群にして、前者は面積七十八方哩にして、人口亦六千餘あれども、後者は面積十五六方哩、人口亦千五六百人にすぎず。

此等諸群島附近は、鱈漁の好適地として知られ、フランスの遠洋漁業家にとりては、頗る緊要の地たり。而してフランス國は、この二群島と共に、ニューファウンドランドの北岸に一漁業區を有し、以てフランス海岸と命名しをれり。

French Coast

ニューファウンドランド 政局、都邑、位置

九五三

ベルムダ (英領) Bermudas

地名の由来 一五一五年、スペイン人ベルムダの発見せる所なるを以て名づく。

位置 大西洋中の一小孤島にして、ロンドンを距る三千百哩、ニวยอร์กの東南七百哩にあり。全島三百六十五の小島嶼よりなり、面積凡そ二十七方哩、人口僅に二萬餘に過ぎず。

此等の諸島嶼は皆珊瑚島よりなり、其最大島ベルムダを中心として、人民の住居せるものは、僅かに十九島にすぎざれども、イギリス政府は之を北アメリカ及び西インド艦隊の根據地として、最も重要視せり。而して附近諸島嶼と通ずるには、橋梁若くは通路を設けて、以て之が連絡を固れり。

氣候及富源

氣候及富源 本群島はメキシコ灣流の流域に當り、氣候温暖にして、健康に適せるがゆゑに、合衆國人の避寒に來るもの多し。

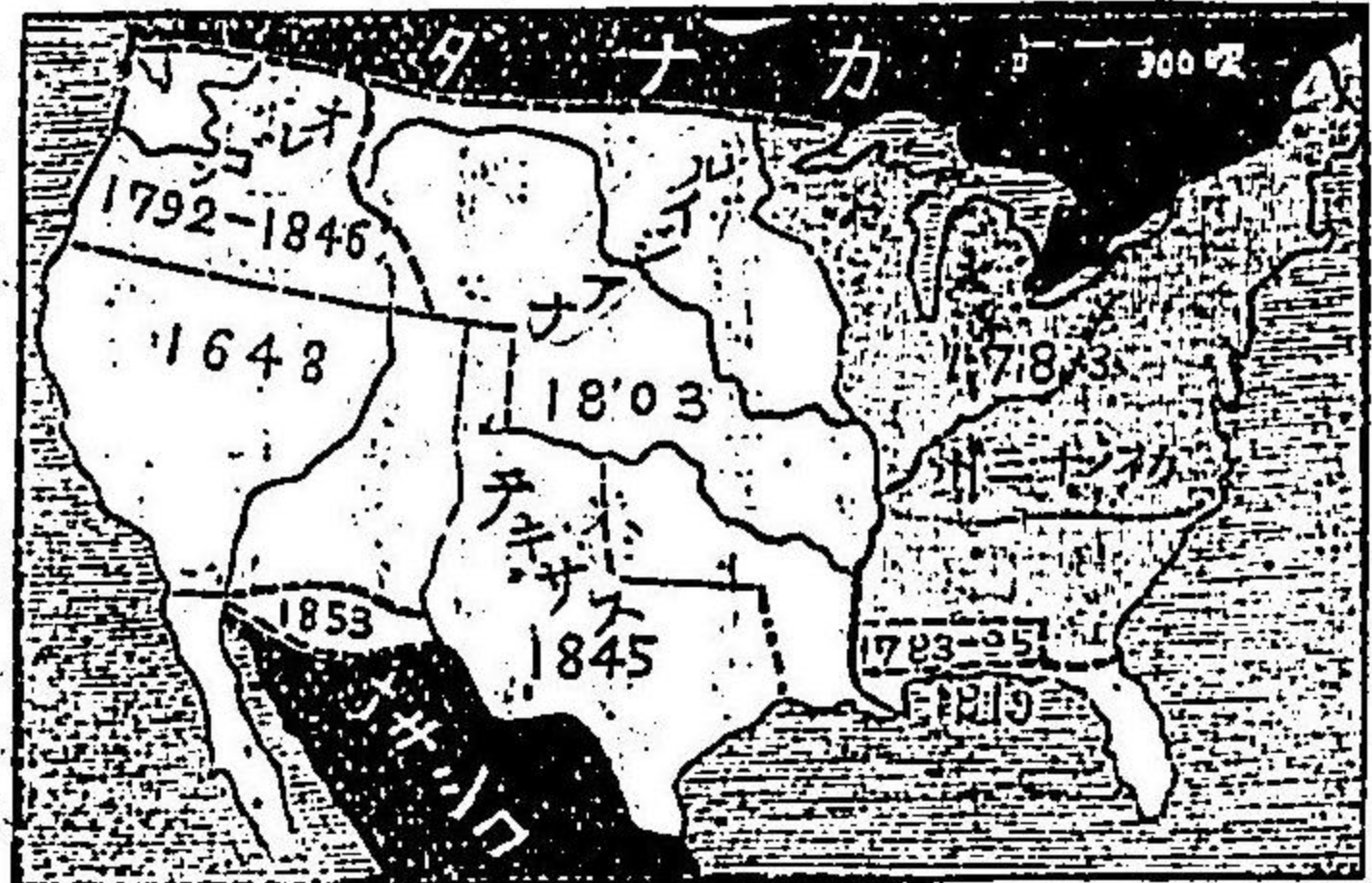
産物は椰子橙等の果實、葱百合馬鈴薯等の農産あり。花卉及び果實は輸出品の重なるものにして、一ヶ年凡そ百二十萬圓に達すといふ。

都會 ハミルトンはベルムダ島の西南岸に於ける良港にして、人口二萬ばかりあり。

Hamilton

四、アメリカ合衆國 United States of America

北アメリカ合衆國の地に始めて植民したるは、一五六三年佛人のフロリダに植民せるを嚆矢とす、しかも西班牙人と紛争の結果フロリダ地方を奪はれ西班牙人爾來この地方に植民せり、これ千五百六十五年のことなり。(コロンブス発見後七十三年) 英人の植民は一五七八年ハンフレリーのニューフウンドランド植民及びウォールトラレーの一五八



合衆國の圖



今日の國旗



獨立當時の國旗

四年パトリジニア植民を初とすれども眞の組織的植民は千六百七年ロンドン商會のジエームスタウンの建設を起源とすべし、一六二〇年清教徒の一團が轉々してこの地に至り幾多の辛苦の後次第に其勢力を増加して、或はオランダ人と争ひ、或はバリの條約に於て、フランスより巨大なる殖民地を割讓せしめなどして領土俄に膨脹するに至れり。

アメリカ合衆國

九五五

アメリカ合衆國獨立戦争

植民人の激揚一方ならず、よりて本國政府は遂にボストンに向つて軍隊を派遣せり。一七六五年、印紙條例を發布して課税極めて苛酷なりしが、

七年戦争あり。イギリス政府の國庫、大に窮乏を告げしかば、千七百六十五年、印紙條例を撤廃せり。一七六七年、ボストンに於けるイギリス植民地は、他國人と直接に取引することを禁じ、其利益の多數は之を本國に吸収せしが、本國に於いてはボストン王位繼承問題に引き續きて七年戦争あり。イギリス政府の國庫、大に窮乏を告

斯くて千七百七十四年、殖民人は諸州の總會を開き、次ぎて、翌年又其第二回をフィラデルフィアに開設し、ジョージ・ワシントンを舉げて總督となし、開戦を布告し、千七百七十七年、殖民地十三州の同盟を結び、名づけて北アメリカ合衆國と稱し、七十五年より七ヶ年の久しきに亘り、始めは連戦連敗に終りしが、ワシントンの忍耐なると、諸國の助勢により、コーンウォリスの大勝の後勢次第に有利なるを得て、遂に千七百八十三年、パリに講和を結び以て獨立の承諾を得るに至りしなり。

獨立後の概況 斯くて千八百三年には、フランスよりミシシッピ河の西方ルイジアナの廣原を購ひ、千七百九十二年より一八四六年までには西北部諸州を占領し、千八百十九年にはフロリダ地方をイスパニアより買収し、更に千八百四十五年より四十八年の間に於ては、メキシコよりテキサス及びカリフォルニアを得て、愈々其領土を擴張し、次ぎてイギリスとの間に境界を劃定し、千八百六十一年より六十五年に至るの間、奴隸存廢の問題よりして南北戦争の大亂となりしが遂に北軍の勝利と共に鎮定して、奴隸解放問題も終局を結び、建國の基礎益々鞏固となれり。斯くて千八百六十七年には、ロシアよりアラスカを購ひ、(七百廿萬弗)千八百九十八年には、ハワイを合せ、同年更にキューバの事に關して、イスパニアと戦を交へしが、パリの條約に於て其有に歸し、且つフィリピン・グアム並にポルトリコ(一八九九年)サモア群島の一部等を割讓せしめ、國勢益々として進歩し、正にヨーロッパ諸大國と比肩するに至れり。

位置 北アメリカの中央に位して、東は大西洋に瀕し、西は太平洋に臨み、北はカナダに連り、南はメキシコ及びメキシコ灣に接せり。東西二千五百哩、南北平均千三百哩、面積凡そ三百萬方哩、人口凡そ八千萬あり。行政上分ちて、四十八州一區となし、外にア

ラスカ・ハワイ・フィリピン其他の小島を領有す。

地相 東方にはアパラチア山脈あり。西方にはコルデレラ山系あり。その間一大平野をなす。

(東部地方及びアパラチア山脈) 山脈は北緯三十三度邊より起り、ほぼ海岸に併行して斜に東北に延びセントローレンス河岸に達す、長さ凡そ六百里。幾多の併行せる山脈より成り所により種々の名稱を有すれ共概して三部より成る、中央のアパラチア山脈はその脊梁をなし、古代岩の皺曲より成り、その西部にアパラチア臺地あり、東部にピエドモント臺地あり。南部は幅廣く高度大にしてブルーリッジ・ブラック山脈等あり、そのブラックドームは六千七百呎を超え脈中の最高峯なり。ブルーリッジと併行して西にアレンカニー山脈あり。北に赴くに從ひ高度漸く減じニウイングランド地方に至れば侵削の處愈甚しくピエドモント帯と同じくベネネン(削磨平原)の狀を呈す。

● 河流の太西洋に入るものはピエドモント臺地より海岸平地に移る所多く急湍をなし北部諸川の外航運の便乏しけれども一般に水力の利用に適し工業の動力を供す。

急湍の位置はピエドモント臺地の斜面に位するを以て、これをフォールライン Fall line

Piedmont Black Dome Blue Ridge Appalachians
Allegheny Black Mts.

と稱し動力の便益と下流航運の便あるを以て都市の發達を來たせり。

この山脈は植民當初に在りては海岸と内地との交通上一大障害たりしが、人口の増加・交通機關の發達はこれ等の河谷を利用して運河・鐵道を設けたれば今日に在りては交通上しかく障害たるに至らず。加之山脈は森林に富み、鑛産（鐵石炭石油・ガス等）豊富なれば諸種の産業を發達せしめたり。

●●●●●
海岸平野 は北部に狭く南部に行くに従つて廣く、殊に南部は氣候溫暖地味肥沃なれば棉煙草果實等の農産多し。

●●●●●
海岸（沿岸の部に説明すべし）

《中部廣原》 東西兩高地の間は廣漠たる平野をなしメキシコ灣頭より直ちに北極洋に至る、平野は地層殆んど水平にして、その河流は殆んど老熟^{ベテラニヤイ}の境に入れり。僅かに北部のスペリオル湖岸高地（漂石の堆積より成る）ミズリー臺地北西部のブラックヒル、ミズリー下流のオザルク丘地、テキサスの山地等に地層の皺曲を見るのみ、これ等の山丘は森林地をなし木材を供す。

この廣原は（一）土壤の性質。（二）氣候の如何。（三）土地の高度等に依つて數箇の帯に分つを便

とす。

（一）西部草原地方 凡そ西經百度以西の地にしてロッキーマウンテンよりミシシッピに向ひて緩やかに傾ける波狀的平原にして雨少く草原をなし、人工的灌溉に依るにあらざれば農作を營むべからず。主として牧畜行はる。

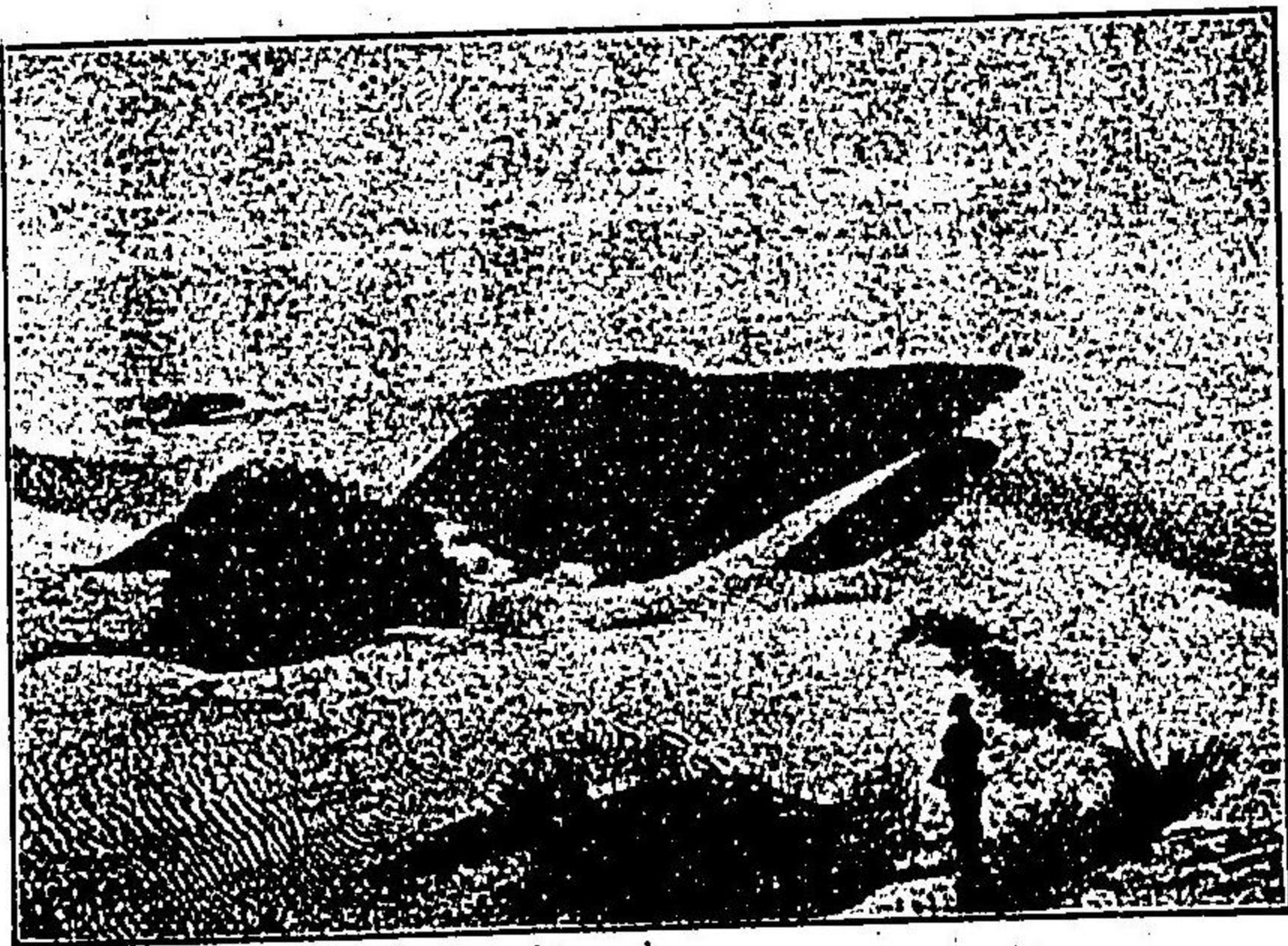
（二）小麦帶 凡そ北緯四十二度以北にしてカナダに連なり、南北ダコタ、ミネソタに互る、（次の玉蜀黍帶にも無論小麦を産す、カンサス・ネブラスカ・オハイオ・インディアナ等の諸州）氣候冬季は沍寒なれども雪多く爲に土地の氷結を防ぎ夏季の水源をなし、夏季は温度高く小麦の生育に適す。

（三）玉蜀黍帶 凡そ四十二度乃至三十七度の間に於て夏季長く且溫暖高く最も玉蜀黍の生育に適しアイオワ・イリノイス・カンサス・ネブラスカ・ミズリー・インディアナ等の諸州はその大産地なり、これと共に小麦・オート・大麥・裸麥・煙草の産多し。

東部アラバマに近き處石炭の産多し。

（四）棉花帶 凡そ三十七度以南の地にして大西洋よりテキサス中部に及びテキサス・デオール・アラバマの諸州はその大産地なり。米作も近來主産の産業たらんとす、

この地大部分は低平なる沖積地にしてミシシッピー下流は屢洪水の患あり。現に四十五年三四月の交にも大洪水ありき。氣候夏季温熱高く冬季温暖なれども時々朔風の襲來あり、棉作は低地には餘り好適ならず、濕氣の過多なるが爲なり。テキサスにては一千尺の高さによく發育すといふ。



西部高原の景

〔西部高原〕 西はシエラネバダ山脈及びカスケード山脈を以てし、東はロッキー山脈を以て其限りとせる所にして、多くは、岩石若くは砂礫を以て成り、一般に千五百米以上の高度にあり。地勢三區に分かる南にコロラド高原、中央にはエリタ高原、北にはコロンビア高原あり。此地至る所鑛物の埋藏に富めるのみならず、コロンビアの如きは牧畜盛にして、地味殊に農耕に適し、果實の栽培極めて多し。

ロッキー山脈 西部臺地の東側をなし、ニウ

Rocky Mountain

メキシコよりカナダを経て、北氷洋に至るの間は、所々豊饒なる溪谷あり。而して南方ワイオミングに至りて、美麗なる高地となり、大陸鐵道之を横斷す。

山脈中には、ブランカ・バイクス・フレモント・グランド・テトン等の高峯ありて、何れも皆四千米以上に達し、最高のもは、殆んど五千米に達するものなり。

イエロー
ストーン公園

イエローストーン公園 ワイオミング州の西北部ロッキー(一部はモンタナ・イダホ二州に及ぶ)山脈中のイエロー、ストーン湖畔にあり。東西五十四哩、南北六十三哩、面積三千三百餘方哩、千八百七十二年(三月)國會の決議を経て、英大なる經費を投じて國民公園となしたるものにして、平均八千尺の高處を有し、マヂソン・エーローストーン・スノー・ク三河の源をなす、山岳は二千乃至四千尺の高を以て高原上に聳え、大小多数の湖水は清澄たる水をたし、峽谷の水激して急湍瀑布をなし、流へては紺碧油の如き深淵を作る、その間歇泉は世界無比にして現に活動せるもの七十餘、水蒸氣を上騰せしむること二百尺に達するもの(ビーハイブガイサー)あり、温泉亦甚多く、白山温泉の如きは丘頂より流下する熱泉階段狀に排列せられたる池塘より池塘に下るを以て、池塘によりその温度を異にし、浴客はその欲する温度の泉に浴することを得べし。地は僻處にして一年の九ヶ月は氷雪に掩はるゝを以て初め人の知る少く、僅かに狩獵者皮商人の往來あるに過ぎざりしが、一八六四年、ランシー氏の探検隊がマヂソン河源に近き下部間の歇泉盆地に達し、一八七〇年ワツシユバーン氏は政府より派遣せられて詳細の探検報告を公にしてより、漸く世人の注目を曳き遂に一八七二年の決議を見るに至れり。公園は合衆國內務省の保管に屬し、その監督は陸軍省の手にある。兵士佇立して風光を保護す。

シエラ、ネバダ山 カリフォルニアにありて、西北より東南に亘れり。長さ凡そ四百五十

アメリカ合衆國 地 相

Sierra Nevada

Yosemite Yellowstone Fremont Blanca
Notional Park Pikes